

英領北ボルネオ要覽
(南洋叢書 第四十三卷)



シンガポールの風景

14. 5-80



1200601088106

南洋協會臺灣支部

始



凡 例

- 一、本書は在倫敦北ボルネオ特許會社本社發行にかゝる "Handbook of the State of British North Borneo" の翻譯である。
- 一、北ボルネオに就いての從來の文獻は、要なれば不簡、簡なれば不要といふ恨があつたが、本原書は要にして簡なりといふ點に於て警て見ざる完備さを有してゐる。
- 一、木材の稿に於て編者は詳細を北ボルネオ林務局報告に委れてゐるが之も近く翻譯する筈である。
- 一、本書は臺灣總督官房調査課に於て閱覽の便を圖り、印刷せるものなれば翻刻の許可を得て印刷し、會員に配布せんとするもので公刊せんとするものではない。

大正十五年五月

南洋協會臺灣支部

英領北ボルネオ要覽 目次

第一章 歴史

..... 1 頁

第二章 地理

..... 30

□ 境界條約

..... 30

□ 地勢

..... 33

□ 港灣及投錨地

..... 33

□ 山岳

..... 37

□ 平原

..... 40

□ 河川

..... 41

第三章 住民

..... 47

□ 國勢調査

..... 47

□ ツスン人

..... 48

□ ムルット人

..... 49

□ 支那人

..... 50

□ 馬來人

..... 51

□ パシヤ人

..... 51

□ 桐	油	70
□ 植物性油		70
□ 抹香樹		71
□ 沼澤產物		72
□ 燕巢及密腺		73
□ カ ッ ナ		75
第六章 木材		
第七章 鑛產		
□ 石	炭	84
□ 石	油	85
□ 金		86
□ 鐵	鑛 其他	86
第八章 農業		
□ 護	護	88
□ 煙草		92
□ 古々椰子		96
□ 阿弗利加油椰子		97
□ 纖維		98

□ イラッソン人	52
□ オラン・スンゲイ人	52
□ クダヤン人	52
□ ビサヤ人	52
□ スーロ人	53
□ 其他の種族	53
第四章 氣候・氣象及衛生狀態	
□ 氣 溫	56
□ 降 雨	56
□ 風	58
□ 病氣	熱病、脚氣、十二指腸蟲病、赤痢、傳染病
第五章 物産及叢林產物	
□ 海 産 物	64
□ 藤	66
□ ガタ・パリーチヤ	67
□ 野生護膜	68
□ 樹脂・ガム及油	69
□ 樟 腦	69

□カボツク	100
□少量物産	101
□米	102
□西	104

第九章 行政

第十章 狩獵及動物

第十一章 主要都市

□シエセルトン	118
□バ	119
□アニューフイート	119
□テ	120
□ダ	120
□サンダカン	121
□ラハッド・ダツ	121
□マ	122
□ラ	123
□オ	127

第十二章 資本家の知り置くべき事項

第十三章 歐洲人の知り置くべき事項

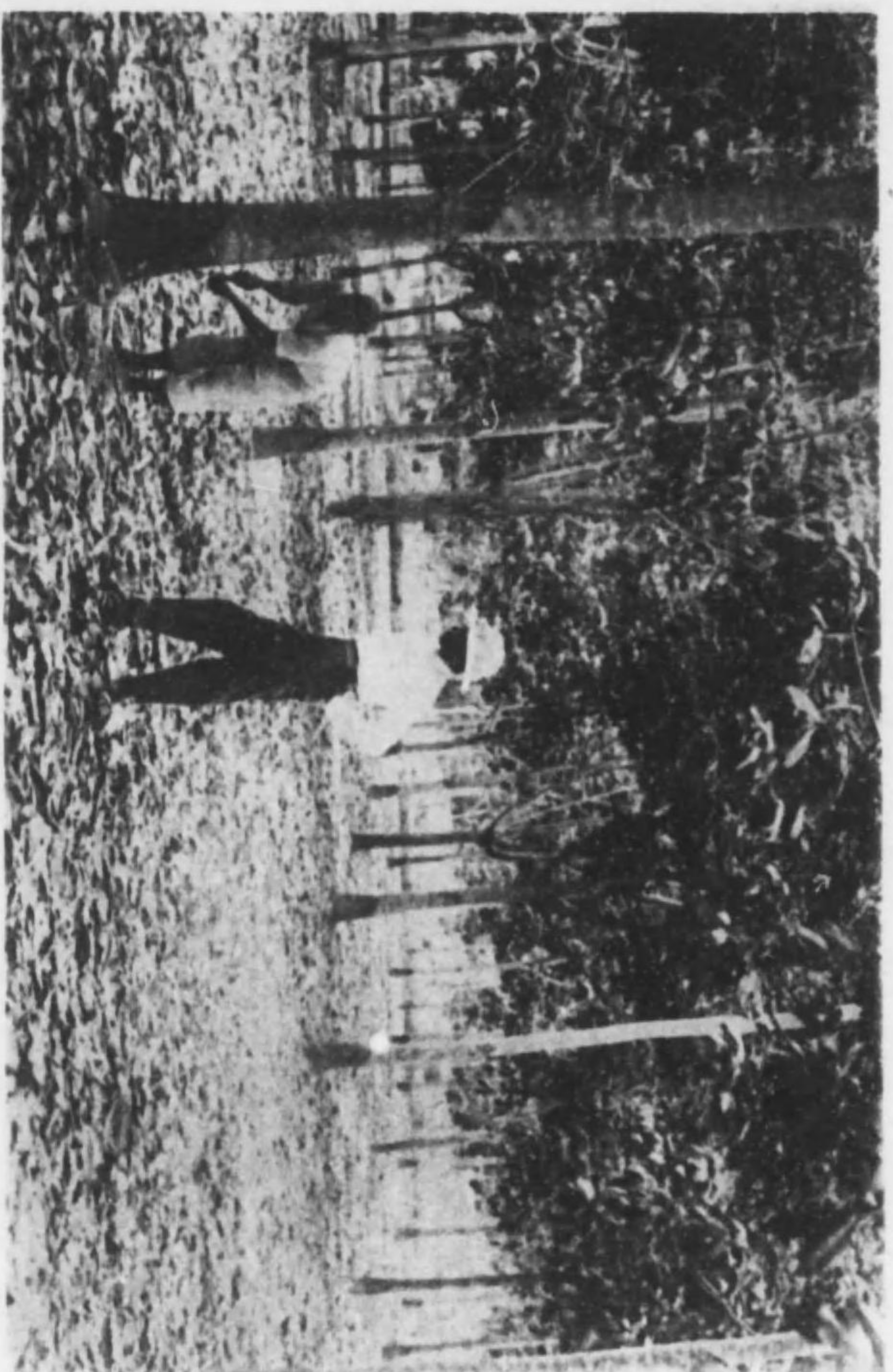
附 録

輸出入貿易表(一九〇〇—一九二四年)	137
一九二三・二四年輸入貿易比較表	138
一九二三・二四年輸出貿易比較表	141
北ボルネオ人口表	144

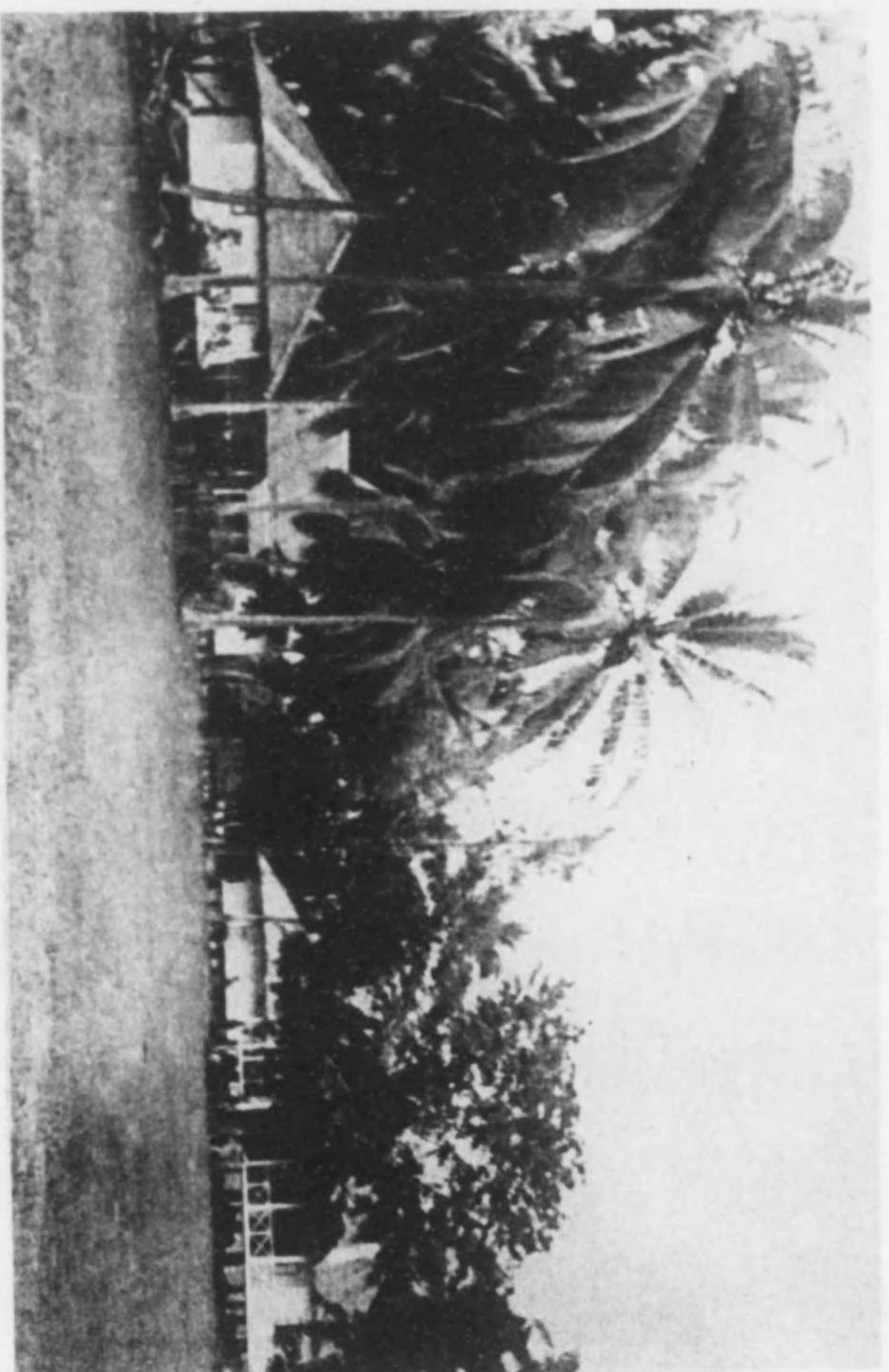
索引

北ボルネオ地圖

英領北ボルネオ要覽目次 (終)



園 護 護 の 近 附 ン カ ガ シ ャ



獄監・所在駐官方地のオランダ

英領北ボルネオ要覽

第一章 歴史

ボルネオに關する、ずつと以前の史實は大部分不詳であると云つて差支へない。然しながら、亞刺比亞人には數世紀以前から知られてゐて、彼等はボルネオを目して寶石、金、及び香料の豊富な地域であるとしてゐたのである。十三、四世紀頃ボルネオの或る地は、千二百年頃、成吉思汗によつて建設された宏大なる蒙古帝國の支配者、忽必烈の侵略を蒙つた形跡がある。ブルネイ及スールー群島の傳説に據れば、當時ボルネオの北部、多分キナバタンガン河(Kinabatangan)の流域に一個の支那人國が建設され、此國はスールー諸島にも支配權を振つてゐたと云ふ。

北方ボルネオに於て、地理學上特徴を形作れるものゝ名に、「Kina」なる接頭語が附いてゐるのは注意すべきことで、或人は、之を支那人の影響を蒙ひつたる證左だとしてゐる。果して然るや否

やは最近問題とせられてゐる所であるが、茲に支那人の影響を受けた事實に就て一言附加するのを適當であると信ずる。

然しながら、前述の事實を問題外としても、支那人の影響を受けた證左は頗る多い。第一に、明かに其製造の源を支那に發したに相違ないと思はれてゐる鑊が、ボルネオ北部原住民族の總べてに使用尊崇されてゐる事實である。猶此の外に證據たるべき事實は枚擧するに違はないが、就中或る種族の農耕方法に於て之を認めることが出来る。或る支那人王族の娘が、ブルネイ第二世王と結婚するため、キナバタンガン河よりブルネイに來た事實があるが、此處に所謂支那人王族とは、多分前述したキナバタンガン附近に於ける支那人國の主權者である、然して、現代ブルネイの王族は、其起原を此配偶に發してゐるのである。斯の如き史實は、スールーにても傳説されて居るが、スールーでは年次を明にして、一三七五年に起つた事だとしてゐる。

爪哇にも其政治的勢力を伸し、絢爛の文化を各處に残したヒンヅー帝國は、其勢をボルネオ迄及ぼしたのは有りそふな事實であり、此は使用の濫觴をヒンヅーに有する器物の發見に依り證據立てられる。ヒンヅー統御の後を繼いで馬來人の來寇があつた。馬來人の起原は不明であるが、蒙古族と南亞細亞先住民族との混合したものであると考へられる。

馬來人が最初其足印を止めたのは、スマトラ島メナンカバウ (Menangkabau) で、同所より現在馬

來半島と稱せられてゐる地へ漸次移住し、其處に幾つかの土王國を建設したのであると思はれる。馬來族は遂に其餘勢を驅つて東部群島のヒンヅー帝國を瓦解せしめ、廣大なる範圍に亙つて同族の強を誇り、ボルネオに於ても數多の土王國を建設したのである。

最初ボルネオ島に來訪せる歐洲人は西班牙人及葡萄牙人であると思はれる。即ちマゼランが比律賓に於て不慮の死を遂げて後、其殘黨は一五二一年ブルネイを訪づれたとの事である。然してピガフエッタ (Pigafetta) は當時のブルネイ市を稱して、重要缺く可からざる都市にして無慮二萬五千の人口を包擁してゐたといつてゐる。

葡萄牙人は一五二六年及一五三〇年の再度ブルネイに至つたと云ふ記録がある。當時葡萄牙人はマラッカに植民の基礎を築き、一六四〇年同所が和蘭人に奪取せられる迄、ボルネオと定期通商を行つてゐたのは疑もない事である。一方葡萄牙人が通商の根據地をブルネイに置いてゐたといふのも可成信すべき説である。其の理由としてブルネイ市と支那澳門間の通商は十八世紀末迄繼續された事實が擧げられるのである。

一五二一年馬尼刺は西班牙人によつて征服されたのであるが、記録に據ると、其日直後ブルネイと關係を結んだ事が確められる。事實、西班牙は當時追放されてゐた馬來サルタンをして其單獨意志でブルネイに君臨せしめたのである。一説に據ると比律賓なる西班牙の植民地をブルネイ海賊が侵

略せる報復として、彼等は兩度に亘つて其遠征隊をブルネイに送り、遂にブルネイ市を灰燼に歸したたのであると云はれてゐる。一方和蘭人は一六〇〇年に始めてブルネイに來り、其よりブルネオに植民を開始したのである。

英人の初めて同島に到つたのは一六六五年の事である。即ちカウレイ(Cowley)とか稱する船長が「ボルネオ北端附近に存在する小島を訪問せり」と言つてゐるのは北ボルネオの事を指すのであらう。又世界航海史上有名なるダムピヤ(Dampier)は一六八六年ボルネオに來航の折、パウリー大尉(Bawry)がボルネオに居たと云つて居る。

航海史上初期に屬する和蘭及英國航海業者にしてボルネオに至りし者は、全部其繁榮に眼を奪はれたのである。一六〇二年和蘭の大政治家オルデン・バルネフェルド(Olden Barnefeld)は壟斷政策に従つて大小の印度貿易會社を打つて一九とし、和蘭國務總會(Statengeneraal)の特許を得たる聯合東印度會社を創立したのである。此れは歐洲通商上一新紀元を革したものである。此の一新紀元を劃さしめた動機とも稱すべきは、歐洲人の嗜好に合ひ然も敏速に行互つた東洋特産香料、特に肉豆蔻及其外皮を充分に得たいといふ欲望に外ならなかつた。一體英國人は保守的であるから、商業上其競争者の例に倣ふ事の頗る緩慢なる民族である。實際英國人が眞面目に東洋物産に注目したのは、葡萄牙商船マザーズ・オヴ・ゴッド(Mothers of God)號が英國沿岸で沈没してからの事である。此

船は千六百噸の積荷をしてダートマスに向ふ所であつたが、沈没後其積荷中に價格十五萬磅の東洋物産を積載してゐる事が發見された。此れに刺戟されて、漸く英國人は其の手で東洋貿易を行ふ様になつたのであり、倫敦、ブリストル、ブリマスの商人は和蘭の獨占に對し、結合して此れに當つたのである。此目的の爲め一會社創設せられ、エリザベス女王の勅許狀が下付されたのである。此れ即ち東印度會社で、印度を其治下にせしめた第一歩であつたのである。

一七七三年に至つて、東印度會社はマルツ灣(Marudu Bay)の北方の島嶼バラムバンガン(Balambangan)に商館を設置した。當時バラムバンガン島及ボルネオ東北部は、アレキサンダー・ダルリムプル(Alexander Dalrymple)がスーロー王の馬尼刺に監禁せられたのを釋放した報償として、王の彼に贈つた地域なのであつた。下つて一七七五年に到り、バラムバンガン島に於ける居留地はスーロー及イラヌン(Ilanun)兩族の襲撃する所となつた。同地に於ける屯營は奇襲によつて彼等の略取する所となり一方住居者は約五十萬磅に餘る財産を放棄して船に依り其難を避けねばならなかつたのである。スーロー及イラヌンの兩族が斯の如き襲撃を行つた理由は、歐洲人が近隣島嶼の土人を殘虐に取扱つたからであると謂はれてゐる。事實、當時の歐羅巴の冒險者と云はれた者は其のやりかたに苛酷な所があつたといふ事は争はれない事實であつた。バラムバンガン島の生存者は、東印度會社が別に商館を設置したブルネイに避難し、偶々其の或る者は西岸海上にあるラブアン(Labuan)

島に到つたのである。一八〇三年に至つて、東印度會社は再びバラムバンガンに商館を設置したが、程なくブルネオの其と共に閉鎖し、ブルネオに於ける其活動を断念したのであつた。

現在のボルネオ島は、古代繁榮の面影を殆ど止めていないが、先人の記録は此の事について多く云ふ所がある。先づブラックマン (Blackman) 氏は一七一四年ボルネオ航海記中に於て、支那との通商が旺盛であつた事を言及し、ジェイ・ハント (J. Hunt) 氏は一八一二年スタムフォード・ラッフルズ卿 (Sir Stamford Raffles) への通信中に次の様な事を云つてゐる。「一五二〇年葡萄牙人が最初ボルネオに來訪せし當時の同島は實に隆盛なものであつた。沿岸地方に在任せる支那人の數は莫大なもので、生産業は旺盛を極め支那との戎克船通商は實に頻繁であつて、現代のボルネオとは全然其面目を異にしてゐた。支那人王族は華麗を盡し、王宮は宏壯を極めたのであつたが、其の榮華の美も今は既に亡びて久しくなつたのである」。

東印度會社がバラムバンガンを放棄してから數年間といふものは、ボルネオにて和蘭人のみが歐洲人として其存在を認められたものであつた。其後漸次、彼等は同島の北部は別として、ボルネオ全島を統御するに至つたのである。然し其征服力には感ずべきものがあるが各地に残した影響は感心するに當らなかつた。就中、彼等の占領せる島嶼中で最も資源に富み且つ人口の稠密であつた東印度諸島に上陸した先驅者の採つた政策は陋劣極はまれるもので、土人の生活及財産の安全を脅か

したのであつた。其の政策上に斯の如く缺陷があつた爲め、土人に基礎を有する農、商業上の繁榮は忽然として消え去り、従つてボルネオも、他の資源に富み繁榮を極めた島嶼と共に荒廢に歸し、住民は海賊或は首狩の風習に親しむ様になつたのである。和蘭統治下にあつた各地では他國船を排斥し、通商は和蘭船に限られてゐたから港の繁榮は大いに禍され、相互貿易及進歩は阻止さるゝに至つた。一方土王族も其國を支持する事を得ず、土民も其欲望を充す事が出来なかつたのである。一八二一年サー・スタムフォード・ラッフルズは此の事實を次の様に叙してゐる。「斯の如き退嬰政策の結果生じた、群島物産取引の破壊は、幾多の罪惡及現在我々の當面に懸つてゐる大問題である海賊の起原となつたのである。從來漁業或は商業に従事したる者が總て其の正當なる職を失ひ、或は生活資料を得る方法を失つたがため自暴自棄に陥り、或は有り餘る精力の使ひ場所として海賊を選び、詭策によつて挽ぎ取られた物を強力或は掠奪によつて回復せんとしたのである」。又前出タムビヤ氏は、土人は各國との通商を大いに懇望してゐたのであるが、和蘭は其統治下にある地域の商業を獨占したばかりでなく隣近國と他國との通商をも妨害したのである、と云つてゐる。

一八四〇年ジェイムス・ブルック (James Brook) がボルネオに上陸せる當時の、北部及西部沿岸地域の状態は荒廢其極に達し、一定の統治者としてなく、唯亂麻の如き有様を呈してゐた。折柄サラワットのラジャ・ムダ・ハジム (Raja Muda Hasim) は國內暴動の鎮壓に腐心しブルックの來訪を機と

し援助を乞ふたのである。ブルックは心進まずも之に援助を與へる事に同意し、其船ロイアリスト (Royalist) の英人乗組員十名及砲二門と共に、彼自身ラジャの軍に加はり、戦線に向つた。數次の戦の後、偶然にもブルックと會見せんとして來れる、暴動の首領株である會長の一人と會見する事となつた。此會見を機縁とし幾多の會長とも會見する機會を得た結果、會長等はブルックがムグ・ハジムに代りラジャに即位するといふ條件で兵を引く事になつた。それでブルックは一八四一年ラジャとしてサラワックの主権者となつたのである。

新ラジャの抱負させる所は種々あつたが、就中、海賊の掃蕩に最も意を用ひたのであつた。當時跋扈せる海賊はボルネオ島の北部附近に居を構へてゐたイラヌン、バラニニ (Balani) バジャオ (Bajan) 及スールーが重なるものであつた。彼等の船は積載量六十噸に及ぶ大型のもので、又延長九十呎にも及び、嚴重に装甲されてあつた。其遊弋區域は又宏大なものであつて、比律賓群島、ボルネオ、セレベス群島、スマトラ、爪哇、馬來半島及時にはベンガル灣に迄及んだのである。然して其根據地は北ボルネオのマルツ灣であつて、東西兩沿岸に跨つて各所に都市を所有してゐた。マルツ灣に於いて海賊の指揮をなせし者をウスマン (Uman) と稱し海賊として勢力を振るつてゐた上に、武器を他所へ供給したり或は奴隸の賣買などをして巨大な利益を得てゐたのである。

ラジャ・ブルック再三の努力は一八四三年に至つて、遂に英國政府をして海賊鎮壓の必要を感せ

しめたのであるが、此の海賊たるや、土民船のみならず多數の歐人所有船、殊に海賊鎮壓の目的を以てボルネオに航行中の官有船デイドウ (Dido) 號等に多大の危害を及ぼしたのである。一八四六年に至つて數隻の軍艦よりなる一艦隊は再びマルツ灣に於けるセリッブ・ウスマンの城寨を撃破するたために派遣されたのであつた。ウスマン一隊は頑強に反抗をなし、討伐隊側には戦死者六名、負傷者十五名生じたが結局所期の目的を達したのである。又北方に於ける無数の島嶼に残在する餘黨を殲滅するためには巡邏兵の派遣があり、ペンダサン (Pendasang) 及テムバスック (Tempasuk) に於ける海賊村は漸次崩壊に歸したのである。

同年即ち一八四六年數多の友村の會長連名して英國の援助を受け、メムバクット河 (Memakut) 流域のハジ・サマンを攻撃せんと乞ひ來りしより英國軍艦は同所に向ひ其城寨を撃破したのであつた。此後暫くして、イラヌン人は北方に於ける巢窟を放棄して、東岸ツンク (Tunk) に逃亡したのである。が一八七二年に至る迄和蘭艦隊は此の掃蕩に意を用ひ漸くにして目的を達した。又一八七四年代に於ては、海賊東海岸地方に横行してゐたから、西班牙政府はスールー群島及タキ・タキ (Taki) (Taki) に根據地を有する海賊船討伐を其驅逐艦に命令したのである。一八七九年には、ツンクにある海賊城寨は官有船ケストレル (Kestrel) に依つて破壊され、勅許會社の設立と共に全海賊全く其後を絶つたのである。

抑々北ボルネオ近代史は英國政府がブルネイ王と條約を締結した一八四六年に始まると云つてよい。條約中に英國政府の希望とする所を「英帝國臣民と極東獨立國間の通商を奨励し、從來通商を妨害せし海賊を剿滅するため」と例擧してゐる。此に關連して海軍根據地として其名があり石炭を産出する爲めに重要視されてゐた、ボルネオ西沿岸のラブアン島は、同時に譚興をされたのであつた。従つて總督其他の官吏は派遣され、ラブアンは皇領植民地となつたのであるが、其後海軍根據地としては何等の發展も見ず又石炭採掘も程なく停止されたのである。

海賊其跡を絶つた後は、通商貿易頓に増加したのである。一八五〇年の新嘉坡フリー・プレス紙 (Singapore Free Press) の記載事項を次に引用するが、當時の状態をよく説明してゐる。「極數年前に於ては英國商船のボルネオ北西岸を航行するものは至極稀であつたが、今や多數が安全に通商して居るのである。以前に於ける難破船は海賊の襲撃を受け、船積品は掠奪され、又船員は奴隸として賣買せられたのであるが、現在では今や船體は保護せられ、船員は食料を供せられ、或は安全地帯に移されたりする。一方物産取引はマルブ及新嘉坡間の海上に於て何等の障礙を受くる事なく圓滑に行はれてゐるが、其途中の洋上は且て海賊に捕獲せらるる怖のあつた所である。土人船數百の乗組員は最早生命財産の危険に曝される事がなくなり、之を思ふと今昔轉々桑滄の感に堪へない」。當時、ラブアンを英國國旗の下に自由港にすれば北ボルネオの無盡藏なる富源を必ずや開發し得

るであらふ、又同島に專任の總督を置けば本土即ち北ボルネオに便宜を與へる事が多からうと云ふのが一般に行はれてゐた説であつた。然しながら實際に、英國國旗の下で之を自由港にしたからといつて所期の目的を達する事は出来なかつた。即ち海賊の侵略を防ぐ必要上、英國國旗を自由に掲揚する特權を得てゐたブルネイ政府が、豫期に反して漸次行政上の勢力を失ひ衰亡に近づいた事實に徴しても明瞭である。名目上ブルネイ王はマルブ灣に到る地域の統治權を有してゐたが、實際其勢力は、たゞ首府の極附近に限られてゐた。又此と同様にネール王の統治地域も名目上だけはマルブ灣より東岸シブク河 (Sibuku) に到る廣大なる地域であつた。

英國に倣つてブルネイ王と條約を締結し、領事を任命した米國は北ボルネオに於て英國と逐鹿する唯一の強國であつた。一八六五年米國領事モーゼズ (Morse) は現在北ボルネオ政府統治下にある地域の大部分を其統治權と共に王より讓與された。然るに領事は後年此の地域及其統治權をアメリカン・トレイディング・カムパニー・オブ・ボルネオ (American Trading Company of Borneo) (ラブアンを去る約六十哩の地域の居留地開拓を目的とせる) に移轉したのである。然るに同社は此目的に副ふ充分なる資本を缺き、又試験的植林及造船に數年間を費し、實際の統治を行はざるに先達つて、會社代表者の死に遭遇せしを以て一切の事業を中止するの已むなきに至つたのである。

一八七二年に至り、故ダグリー・シー・カウイ (W. C. Cowie) 氏管理の下にラブアン・トレイディ

ング・カムパニー(Labuan Trading Company)が東海岸サンダカンに設立せられた。此會社は非常なる好成績を得、設立後三年目に至りてカウイは、當時スールー王膝下の會長等の所有に係るマルヅよりシブクに到る北東岸の地域をスールー王と協同して繼承したのである。

先に米國領事モーゼズの受けたる讓與がブルネイ王に依り今猶正當なる事を認められてゐる事を知つた、アルフレッド・デント及オーバーベック男爵(Alfred Dent and Baron von Overbeck)は一八七五年協同して個人組合を組織したのであつた。一八七七年に至り、ブルネイ政府は獨立會長の所有に係る二、三の小川を除き、西岸キマニス(Kimanis)より東岸シブクに到る地域の永久統治權を新組合に賦與し、其代償として年額一五、〇〇〇弗を受ける事になつたのである。然し相方の同意に依り年金は後年に至り其半額に減少せられた。

既述せる如く、スールー王はブルネイが新組合に割讓せる地の大部分に統治權を有してゐたから組合は年額五、〇〇〇弗を納付するといふ條件で其統治權全部の移轉を受けたのである。同年此組合はアルフレッド・デント會社なる名稱の下に、サンダカン、テムバスック及パパー(Papua)に商館を開設するに至つた。デント氏は單獨にて北ボルネオを訪ひて後本國に歸還したのであるが、斯の如き小説的な冒險に對し多大なる興味が惹起せられたのである。

一八八一年の初め、有限責任北ボルネオ假設組合(British North Borneo Provisional Association)

設立せられ、前述カウイ及デントの受けたる讓與地を其統治權と共に繼承したのである。一八八一年十一月一日に勅許狀の下附を受け、一八八二年五月英領北ボルネオ會社は茲に組織され、最初二王によりて讓與された主權及地域權を繼承すると共に北ボルネオの行政及資源の開発に全力を注ぐに至つたのである。

會社は一八八四年に至つてプタタン(Putatan)河及バダス(Padas)クリアス(Klias)の主要河を含むバダス地方を、チエアララン(Tiaran)及バングワン(Bangawan)河と共に、前同様なる讓與を受けたのである。クアワン(Kawang)河及マンタナニ(Mantanani)島は一八八五年に同會社統治區域に編入せられたが、降つて一八九八年に至り、マツト・サレの反亂の結果として從來ブルネイ王に屬してゐた、バダス河以北のメンカボン(Mengkabong)メンガタル(Mengatal)イナナム(Inanam)アピ・アピ(Api Api)ムムバクワット及クアラ・ラマ(Kuala Luma)土地、海及灣、河の主權及其他の權利の移轉を受けたのである。

斯の如くして、從來離間せる住民の巢窟であり行政上不斷の困難苦惱の地であつた、所謂、被包領は、會社の貴重なる所有となり、密着離れざる一つの領土となつたのである。

會社ヘスールー王が讓與した地域に對し當時比律賓郡島に統治權を握つてゐた西班牙政府は、現在問題となつてゐる地域が以前西班牙皇帝に割讓せられた所であり、従つて王に朝貢するスールー

全群島及地域に宗主権を有してゐると主張して其讓與に對し頑強に反對したのであつた。然し此論争も遂に一八八五年英國、西班牙及獨逸の各代表者が條約の調印し、之により撤回されたのである。其條約は次の如く規定してゐる。「西班牙政府は現在或は過去に於てスールー王に屬せるボルネオ陸地及パラムバンガン・バングエイ(Mangkay)及マラワリ(Malawari)の附近に散在する島嶼及海岸を距る三哩以内の島嶼及現在「英領北ボルネオ」會社の統治區域たる地の主權を茲に放棄する事を英國政府に對して聲明する」。

又和蘭政府は(一)同會社が英國籍である以上一八二四年倫敦條約に據り東印度諸島中の如何なる島嶼と雖も、英蘭混有を避けるといふ規定に違反するものである。(二)シブク河はスールー王より讓與を受けたる地域に含まれ居るものなれば、和蘭は、現在カウイ灣と稱せらるゝ灣の入口に在るパツ・ティナガット(Patu Timaga)に迄及ぶシブク河の北方に迄其境界を有するのである。といふ二つの理由で會社設立に反對したのである。

第一の反對は直ちに落着したが第二の方は數年間係争に係争を重ねたのである。其後暫くして一八八三年に英領北ボルネオ會社はシブク南岸に於て境界を明らかにするために會社旗を設置したのであるが、一方和蘭もパツ・ティナガットに方尖碑を建設して砲艦を派遣し之に對抗したのである。一八九一年に至つて問題は漸く落着し、本書第二章地理の條にて述べる國境條約を締結したのであ

る。

一時サラワック政府も會社に對して幾か非同情的な態度を採つてゐたが、會社がサラワックにラウス(Lawas)地域を讓與してからは次第に友誼的態度を採る様になつたのである。

北ボルネオ會社設立の初期に於ける、諸新聞の論調は樂觀説を説へもしなければ又獎勵するものもなかつた。即ち一八七五年の倫敦タイムズ紙はボルネオ・スールーの讓與を報道して次の如く云つてゐる。「最近受取つたバタヴィヤ紙聞は、英國國籍會社の爲めに勞力を提供する埃太利人オーバベック男爵がボルネオ北岸地方を買収した事に就て大いに論議をしてゐる。同紙は男爵の買収せる地の資源は頗る豊富であると記述してゐる。が然し同紙の主張する所によれば、元來和蘭政府は、先にオヅアーベック男爵へ土地を讓與せる會長に對して宗主権を有してゐるから、土地讓與の無効を此等會長として確認せしめる權利がある。故に結局北ボルネオは蘭領東印度の一部になるであらう」と。

然し、十年後に於ては疑惑、疑念は完全に消滅し去つたのである。即ち一八八八年ストレイト、タイムズ紙(Strait Times)は長論文を掲載して曰く、「數年前迄、各種の議論英領北ボルネオ會社勅許問題に就いて戦はされたのはまだ猶記憶に新らしき所であるが、ボルネオ島は勅許狀の下付により其當時の一般豫想を裏切つて莫大なる利益を享けたのである。英領北ボルネオ會社創立當時に於

て如何なる疑惑疑念があつたにしても會社は速やかに悪名を拭ひ去つたのである。堅忍不拔にして寛容なる精神により行政は行はれたのであるが、今や完全に其存立は報いられたのである。土地下附の申請ある場合に於ては殆ど自由に等しき條件で土地は與へられるのである。又其地への資本労働の流入に關して總べての奨励法講せられ居り、遂には必ずや價値の一般騰貴と共に企業に花咲く時至るであらう」。

今勅許状の下附された當時の事情に附いて多少の考察をする必要がある。最初勅許状の下附問題が議會に提出せられしとき、土地所有權及主權を有する馬來族王の後繼として勅許會社を認むる政策の疑問及不信は盛に討論されたのである。又和蘭及西班牙に於ては其獨占を危ふくする競争者を猜忌する様な考が再び起つた爲め勅許状の下附は多大なる遲滯を餘儀なくされたのである。兩政府は王の英人に對する讓與が彼等の優先權に相反するものなりとて盛に其讓與に壓迫を加へたのである。

西班牙は北ボルネオに正當なる要求ありと主張したのであるが、其の主張は、三年間に亘り、二冊の政府年鑑を埋めるに足る外交上文書應答の後、英國政府に依り處理されたのである。當時外務大臣であつたグランヴィル卿(Lord Granville)は此の外交文書中に英國側の意見を述べてゐるが其の中に重要な二つの點に觸れてゐる事が發見せられるのである。

即ちグランヴィル卿は次の様に云ふ。

「スールー群島の貿易を現在以上妨害せざる事を目的としたマドリッド議定書の効力範圍は、ボルネオ本土に及ばないのである。又スールー群島中以前西班牙の要求せる統治權の範圍は、一八三六年西班牙・スールー間の條約によつて決定されてゐる所であり、之に據れば其統治權はミンダナオ西端よりボルネオ、パラワンに及ぶものであるが、サンダカン及ボルネオ陸地に於て、スールー王に朝貢する其他の地方には及ばないのである」。

「北ボルネオは支那、濠太利、印度及英本國間の英國海運上の要點を扼して居るため、北ボルネオが外國によつて占領される時は英國に不安を與へる事になる。此の理由に據り一八四七年及一八四九年、スールー及ブルネイ王と英國との條約中に、之等は英國政府の承認なしに其所有地域の總れも英國以外の國に讓渡さるべしとの條項を挿入してある」。

更にグランヴィル卿は次の如く言及してゐる。

「茲に此の企業に就いての一般的特徴を見れば、會社に許與された地域は、幾代にも亘つて現在英國が和平及通商條約を締結してゐる、スールー及ブルネイ政府の統治下にあつたのであり、又英國臣民に此地域が讓與されても何等不安定の惹起する所がないのは、英領北ボルネオ會社の設立が何處の人々にも歡迎されてゐるといふ證據である。加之、三箇年間の經驗に依れば北ボルネオの大資

源が理智的に且つ平和裡に開發されつゝある事を示めしてゐる。故に會社は土民には文明の餘澤を蒙らしめ、又英國商業及企業に對し及各國の商業に對しては重要な新土地を提供する様な健全にして且自由な行政を樹立するであらうと思はれる。

商業上から云つても或は政治上から云つても、此地域が英國の手に渡つた重要さについては疑を容れない所である。又大體に於て其當時政府の勅許狀下附については輿論が是認してゐた。

下院に於て大多數の協賛あつたため、上院の採決を必要としなかつた勅許狀下附問題の兩院の討議は或る方面から見て重要な事である。時の外務大臣及グラッドストーン首相は、植民貿易會社に勅許狀を下附するために政府の受くる影響及同時に會社に對して制限拘束が加へられなければならぬ事情を明にされた。

グラッドストーン卿は現在の政策に關係のある、ボルネオの史的及政治的事件を回顧されつゝ、其演説を初められた。

「世界第一とは云へないだらうが、最大島嶼の一に屬するボルネオは無限なる資源を有し、豊富な礦物、植物を含藏してゐるのである。斯るが故に和蘭、西班牙は相互にボルネオを物にせんと虎視眈々として之を睨つてゐたが、遂に一部づつ兩國の領有する所となつた。過去六十年間に於ける外交關係はボルネオを中心として行はれて來た。即ち和蘭は、新嘉坡の南方島嶼のみならずボルネ

オ南岸に迄其勢力を及ぼし此等を其領としたのである。又最近に於て表面に表はれた事實であるが西班牙及和蘭の願望する所が其儘實現するとすれば、其領土は、支那及濠太利間、海峽植民地、ラブアン及サラワック間の我が國重要通商路を除いた、一邊二〇〇〇哩、他邊二五〇〇哩に及ぶ廣莫なる東印度諸島の地域を占める事になる。我が英國は此等兩國と友誼的關係を結ばんとしてゐるのであるが、兩國の商業上の約束は我が國の如く寛大ではないのである。一八七七年、英國及獨逸は西班牙と、スールー群島中ボルネオ島の航海通商の自由を保障する漸定條約を締結したのである。故に英國及獨逸は本規定に反する行爲に對して抗議を申込むの權利を保有してゐたのである。一方和蘭は、ボルネオ及スールー兩王がデントに其土地を讓與せる事實によりて其安全を怖ひやかれ新要求をなすに至つたのである。

此際我々の採るべき方法は三つある。先づ第一の方法は此地を我が國即ち英國に併合するか、第二にデント及其會社に此の儘委任するか、換言すればデント等の自由に委ねるか、最後に避け難き他の外國の屬食に放置するかにある。併し第一及第三の方法は激烈なる反對に遭遇したが、第二の方法には格別反對などはなかつたのである。

ボルネオは世界に於ける最も價値あり且重大なる意義を有する地である。故に若し其の富源が、或る一定數の歐洲人の誠實にして且理智的な監督の下に開發せらるゝとすれば、必ずや之れ以上の

負擔が軍事的にも財政的にも課せられないで、所期の結果が得られるであらうと信ずる。』

カーナグゾン (Carnarvon) 卿は反對黨の席より勅許狀下附に賛成をなし、過去三十年或は四十年間に和蘭がなせる併合を見るに唯莫大なりしといふ以外の言葉を知らないと言はれた。又次いで「彼等の併合せる地は一邊二〇〇〇哩に及び他邊はまだ此れを超えよふとしてゐる。和蘭が其の獲得併合せる地を利用する能力を示めさないとか或は持つていないとか思ふ事は出来ぬ。彼等は着々として其を利用してゐるのである。若し英國以外の國が北ボルネオの統治權を有するに至れば、大なる危険不便の惹起する事は明瞭なる事實であり、又我が國が北ボルネオを占有するに非ざれば他諸外國が之に代はるは疑を容れない。又北ボルネオ近海を通じての貿易が多なる發展を遂げた事も見逃してはならぬ。英國支那間の貿易も唯々顯著なりと云ふべく又支那濠洲間の貿易發展も驚くべきものがある。北ボルネオが和平、或は戦争の場合に於ても重要な位置を占めてゐる事は疑を容れない」と述べられ、結局「故に諸外國の手に北ボルネオを委ねるは大なる誤を來す怖がある」とせられた。又彼は其所有が實に價値あるものだと確信してゐたのである。

英國政府は斯の如き廣大なる地域を外國の鬮食に放置するか、或は英國に併合するか、又は英國政府に無關係であり、何等の制肘を受けてゐない、王の讓與により存在する權能をデント或は其所有會社に行使せしむる事を許與するか、何れを選ぶにしても其前途に多大の困難が存在してゐたとい

てどつたのは臆斷に難からぬ所である。政府は此際殘されてゐる唯一の方法即ち勅許狀下附を下院議員一八七名の中、差六三を以て通過したのである。

斯の如き特種に屬する植民會社に勅許狀を下附するが果して適當なりや及過去、現在に於ける勅許會社のなせる功績如何を講究するために、暫く茲に二、三の例と引いて見る。

過去に於て東印度會社及ホドソン灣會社が英國に貢獻する所のあつたのは衆知の事實である。トムソン (Thomson) 氏が最近西部及東部阿弗利加に於て得た智識と經驗を傾注して書かれた *"Dawning Street versus Chartered Companies in Africa"* は一八八〇年代の當初に於てフォートナイトリ・レグイユに掲載されたのであるが、彼は其中に政府の植民政策の失敗せる後を繼いだ、二つの勅許會社、即ち西部に於けるロイヤル・ナイジャー會社及東部に於けるイムビリアル・イースタン・アフリカ會社が偉大にして驚くべき發展を遂げたこと述べられてゐる。猶彼は英國自身の計算に於て英國政府がなせる結果と、勅許會社によつてなされた結果とを比較して見ると、其間雲泥の差異があると云つてゐるが、彼は見聞の親しかつた西部及東部阿弗利加のみを論じてゐる。且つて英國人は植民企業上に競争者を有してゐなかつたが、其企業は佛蘭西人及獨逸人の活潑なる事業開始によつて西部海岸地方に逐ひつめられ其所にて相争ひ腐ちるべき運命にあつた。佛蘭西は政治上にも商業上にもナイジャーの上部盆地に勢力を扶植してセラ・レオニー (Sierra Leone) に於て要點を扼し

他國の植民を断念せしめたのである。然しながらナショナル・アフリカン・カムパニーの助力がなければ、既に上部地方を失つた様にナイジャールの中部地方をも失ひ獨領に歸して居たであらうと述べてゐる。

トムソン氏は猶言を繼いで、過去多數年間に於て吾人は英國政府監督の下に「無頓著に且つ輕蔑して西部アフリカを取扱ふ政策を採つたが、然し西部アフリカに對する困難が直ちに除かれ或は少い程良結果が得られるのである」といつてゐる。彼は「總べての自然の國家的膨脹を阻止せんとする政策は疑もなく所謂自由政治家輩に依つて踏襲される所である。此等自由政治家は英國歴史を讀んだ事のない者であつて、又大英國の偉大なる秘決を知らない者であるから、總べての外國企業の中止すべき事及我々自身の島から完全に手を引く事を唱道してゐるのである」と云ふ。「然しながら海外に於ける我々の活動がなければ地理上に於ける我が國は如何なる價值を有するか又之がなければ英國の偉大さは何處にあるか」と反問してゐる。而して若し過去に於ける斯の如き誤される管理に對する償ひ、未來に對する償ひは何であつたかと尋ねらるれば、彼は勅許會社は其償ひに出來たものであると答へるであらう、又一方彼は英國政府の行政組織及政策の根本的改造を必要としてゐる。

又彼は「熱帯アフリカに於て、個人或は會社に特許狀を下附するは多少獨占に類するものだ」と云

ふ議論があるが、其の對答として、氣候及土著民の處理上に困難を感じ、又協商、道路建設、行政、開發其他に多額の費用を要するため存在するのであり、斯の如き特種の事業は其の利害を無理に引出さない様な有力な會社によつてなされねばならぬのである。」と指摘してゐる。

イムビノリアル・ブリテイッシュ・イースト・アフリカン會社は第一期の年報中に於て彼等が斯の如き地で事業開始以來まだ五年を出でざるに拘らず誇るに足る事業開發をなせる事をいつてゐるが、トムソン氏は之れに及んで「我々は單に貿易及公益増進の目的のために埠頭、道路及電信線今や建設せられんとし又同國の中心に到る鐵道計畫が本會社によつて企てられてゐるといふ事を知つてゐる。」と言はれてゐる。

最近に至つて、雲煙漲る草昧の地域は半開の地に於て、植民及營利を目的とせる企業を經營する者ある時は、各國政府は擧つて其に勅許狀を下附し大いに獎勵したのである。英國政府による此の政策の最近の實例は發起者中に富豪あり、一門の榮譽を誇るものあり、或は實際的經驗を有するものもある、英領南阿會社に勅許狀を下附した場合が擧げられる。英領北ボルネオ會社に勅許が下附があつた時と同じ様に此會社の場合にも下院では種々な下附反對意見が述べられたのである。英領南阿會社の目的とする所は南方喜望峯州及ザムベジ河間の地域に於て英領東阿會社のなしつゝある事業と同様なるもの經營遂行せんとするのにあつた。同會社に特許狀を下附せんとする提議は英領

北ボルネオ會社の場合と同じく絶對多數を以て通過したのである。特許状の下附により、同社は業務遂行の全責任を保留せられたる結果、英國政府利益のため全責任を以て業務を遂行したのである。

此政策を繼行して、英國政府は商業上或は企業上に重要な意義を有する地域を開拓したのであるが、一方土人會長達は定見なき投機者の餌食となる事を免れられたのである。又英國政府は外寇に對し防備をなす以外に何等の經費及責任を特許會社に賦課しないのである。斯の如き政策はビスマルク公爵の所謂世界に於ける最大なる「植民國英國」に利益を與ふる事になるのである。此結果帝國行政上の責任を免れられたる、英國の商業は、容易に且つ利益あらしめる縮伸自在の商業政策により完全なる自由を享有する事が出来る様になつた。

英領北ボルネオ會社の目的とする所は資本、労働の移入及開化せる政府を同所に設置し其による種々便利を蒙らしめて其富源を開發する事であつた。北ボルネオは種々な例外的な且特種な利益を有してゐるが就中、其土民が少くて行政が容易であり、又労働力の不足を補ふために、支那或は爪哇の人口過剰に苦しめる地にあつて而も氣候に順應せる者を數日にして輸入し得るといふ特點を有してゐる。支那人は一體に勤勉にして労働を厭はざる爲め、喜望峰以東の各地に於て、既に富を成し、豪を致せる者ある状態であり、一方相當な賃銀及安全の得らるゝ地に於ては、無限なる労働力を供給するのである。斯の如き労働力の潤澤なるは、北ボルネオの如き酷熱堪へ得ざる太陽直下に

あつて歐人労働者を得る事の出来ない地には無限の利益なのである。故に北ボルネオに於ける企業は例を西印度に於て見る様な障礙を受けないのである。事實西印度諸島は各地の間に大なる海門を有するため、相當なる賃銀にて連續的に労働者を得る事が困難なのである。又北ボルネオが颱風、地震及火山系の區域外にあるといふのは他に於て見られない非常なる特點といはねばならぬ。

嚴密に云へば香港、新嘉坡の有する特長とは同じてはあるまいが、北ボルネオは大體同様なる特長を有して居り、華々しき將來に包まれ居ると信ずるは相當根據のある事である。香港、新嘉坡は其の領有の當初に於ては、貧弱にして且つ何等の意義のない一寒村であつたが、今や世界航通の中心點となり繁榮を極めてゐるのである。數十年前に於ける香港は無毛の島、或は唯何等見るべきものなき岩塊地にして、住民としては少數なる漁夫、其産出物としても花崗心石あるに過ぎなかつた。然るに現在に於ては支那人數三十八萬人を超ゆる大都會となり、世界各地の船舶圍集して其の繁昌例へなき有様である。新嘉坡及海峽植民地も同様なる歴史を持つてゐるが、其發達は極最近に屬するのである。新嘉坡の貿易總額は一億磅にして斯の如き多額の貿易あるは重に次の様な事情があるからである。第一に地理上絶好なる位置を占めてゐるため、第二に善良なる政府のある爲め、第三に廉價なる支那労働者を潤澤に得る事が出来るためであつた。

加之、北ボルネオが、政治的にも又軍事的にも樞要なる位置を占めてゐるのは、他の東印度諸島

に於て見る事が出来ない所であつて、又政治上及商業上の價值は無限であり、容易に評價を許さないものである。

商人、栽培者其他で北ボルネオを重要視してゐたのは次の事實を見れば明らかなる事である。即ち一九一八年現在北ボルネオに於ける會社数は三十八であつて、其れ等が北ボルネオ會社より下附を受けた總面積は三七三、一〇九英反に及び四、四三〇、〇〇〇磅の資本が重に護謨、煙草の栽培に投せられた。北ボルネオの氣候及土壤は全く煙草の栽培に適し、スマトラ、デリーの最良葉と比敵し得るものが生産された。スマトラ、デリー煙草は從來歐洲市場を支配し、其の栽培業者には莫大なる利益を興へ、和蘭政府には巨額の歳入を興へたのである。一方ボルネオで栽培せられた護謨は常に高値にて賣買されるのである。

最近各強國が領土擴張の希望を懷き、又阿弗利加及太平洋の諸地域が續々併合された事實に關連して起つた所の英國北ボルネオの占領に反對して西班牙及和蘭によつて提起された論争は、會社領有地域に増々其の重大さ及價值を興へたものである。馬來群島中南邊にあるニウ・ギニヤに就てさへも問題が起つた事よりすれば勅許狀及英國國旗によつて外人或は外國の侵略或は飢饉を免かれてゐる英國國籍會社の領有地北ボルネオは益々重大さを増した事となる。然し同國に勅許狀を下附する際にも、又保護國とした場合でも、直ちにその通り行はれたのでなかつた。北ボルネオを完全に

敏速に占領するの必要は利害關係を有する人によつて認められてゐた事であり、之の必要は一八七八年三月ウエストミンスター・パレイス・ホテルで行はれた會合に於て公表されたのである。此は先目的のために設立された會社の意圖を決定する集りであつた。サー・ラサフォード・オルコック(Sir Rutherford Alcock)は推されて議長の席につき、冒頭一言勅許狀下附の遲滯の危険なるを次の如く述べられたのである。「私は茲に商業的見致は扱置いて、國家的見致よりしてボルネオを觀察せんとする。我國が東印度近海に於て有する海上優越權を考ふれば、ボルネオ北部を他國に讓渡す事は不可能であり、又我が國領有地の要點に當つてゐる點より見れば非常なる國家的重大さを有してゐることが明らかになる。更に新嘉坡より香港に到る千四百哩の間に於て、一朝事ある場合には英國領として商船の避難すべき港を我々は有しないし又我々がガヤ灣の如き港を所有してゐる様な敵による通商及商船の蒙むる損害や大なりと思ひを廻らさない譯には行かぬ。

ガヤ灣は宏大なる灣であり、諸君等がラプアンに到る迄に發見する唯一の良港である。若し明日或る國と戦端が開られるとせんか、然して敵軍が現在我々の考慮中の北ボルネオ及其他を占領するとせんか、其れ我々のなすべき仕事は敵軍を同國より追拂ふにあるであらう。故に余の意見としては、同國が差出された際に此を受取り、之を他國の手に委ねたり或は防備を施すに先達つて完全に我が手の下に收めるのが賢明なる方法だと推意するのである。其れ故にこそ諸君が商業上から或

は政治上より考へられるにしても、私は之を獲得するのが最も緊急にして且必要な事と信ずるのである。」

グランヴィール卿が發表せる奮勵的な豫期は餘りに樂觀的ではないと云ふ事が安全に信せられる時が將に至つたのである。「北ボルネオの大資源の和平的且智識的開發」利益を土民に及ぼせる健全にして自由なる行政の施行」及英國商業上のみならず、各國商業上に新らしき且重大なる土地を提供する事によつてなされたる進歩發展は、本書の後半に於て明らかにせらるゝ。グランヴィール卿によつて明にせられた、勅許會社の目的が、會社設立の當初より確乎として遂行された事は明瞭なる事實である。英法と相調和する政府を北ボルネオに設立し又大自然の賦與せる資源を開拓せんとする努力は、無數の會社による投資を誘致したのである。

現在迄になされた結果を計算する際に注意すべき事は、古代よりの文化及産業により蓄積せられたる富を有する地に、唯だ單に營利會社として設立せられた東印度會社と同一視してはならぬ事である。即ち北ボルネオ會社は人跡未踏の處女林を以て蒙はれたる叢林地の開始經營が其の目的であつたからである。既に先人の指摘した様に、北ボルネオは獨立民族の周圍に散在する少數の未開人によつて住まはれていたので、華かなる結果を得る迄には信用の蓄積及資本の吸収を必要としなければならぬのである。北ボルネオの進歩發展は、特殊なる原因があつて俄に繁榮出來した所は別

として、其他の所とは略々比敵し得るのである。北ボルネオは特殊の原因即ち鐵層なせといふ様な利益物を有してゐないが、年々に収入は確實増加し貿易總額も又増加する有様である。

終に臨み一言すべきは、一八八八年北ボルネオ會社が保護國とされ「北ボルネオ國」なる稱號を賦與せられブルネイ及サラワックと同じく内政上の獨立權限を賦與された事である。ブルネイ及サラワックは遂に英國保護領となりラジャ・ブルックが頭を痛めてゐた永年の問題は解決したのである。斯の如くして北ボルネオは國際的に確固たる位置に立ち、一方内政及自由なる商業的活動をなし得るに至つたのである。

第二章 地理

ボルネオ島は濠洲及ニウ・ギニヤに次ぐ世界最大島嶼の一である。南北の延長は八百哩、東西の最廣距離は六百哩に及ぶ。島の大部分は和蘭領である。其西岸に英國人ラジャの治むるサラワックあり、又之に近接しブルネイがある。ブルネイの内政は英國駐在官の補佐に依りて行はれ、政治的には馬來非聯邦州の一を成してゐる。又ブルネイの近くに海峡植民地總督の治下にあるラプアン島がある。本書の目的とする北ボルネオはボルネオ島の頂點を形成してゐるのである。

面積の點から云ふと、北ボルネオは大體に於て愛蘭と同じ位である。北ボルネオはサラワックと境を接する西方ベングクリット(ラワス及メンガロン間)及東方蘭領と境邊するセバティックの中央以北を占めてゐる。

其形は大體ビラミッドの様であり。西岸は支那海によつて洗はれ、東岸はスールー及セレベスの兩海に依つて圍繞されてゐる。

境界條約

英領、蘭領の境界は一八九一年六月二十日の兩國間の協定によつて次の如く定められてゐる。

第一條　ボルネオ島に於ける和蘭領有地と同島に於ける英國保護國との境界はボルネオ島東岸北緯四度十分に初まる。

第二條　此の境界線は北緯四度十分線に沿ひて西方に走り、次でシマンガリス(Sinangaris)河及、和蘭領に在るシマンガリス河を含ましむる爲めに北緯四度二十分を横切る東徑百七十度の點に到るスーダン(Soudan)間を西北西に進む。次で此の境界線は、ボルネオ東海岸及北面海岸に走る河水の分水嶺をなす山岳の頂上に達する迄北緯四度二十分に平行に西方へ走る。然し北緯四度十分の南に於て海に注ぎ測量の結果五哩の半徑内に於て先の境界を横切るシマンガリス或は其他の河川の場合には、其境界線は蘭領内に於ける河川の小部分及屈曲を含ましむるために、蘭領側に境界線を轉せしむることを條件とし、又四度十分以北に於て發出する河川の場合は同様なる讓與を英國側はなすものである。

第三條　第二條にて示めせる山岳の嶺より、ボルネオ西海岸タンジョン・ダツに到る迄、境界線はタンジョン・ダツの北にて北西及西岸に走る河及北緯四度十分の南にて南岸及東岸に走る河川の分水嶺に沿ひて走向する。

第四條　東海岸北緯四度十分より境界線はセバティク島を横斷して此の線に沿ひて東方に走る。而して此の線より北方に位する同島の部分は明らかに英領北ボルネオ會社に屬し、其の南方は和蘭

に属するのである。

英蘭境界は完全に一九一二年に至りて確立せられたのであつた。英領北ボルネオの最北端は北緯七度二十五分にして、最西端は東徑百十五度二十分に在るクリアス岬が此に當る。然して東徑百十九度十六分なるホッグ岬(Hoeg)が最東端になるのである。北ボルネオの面積は附近島嶼を合して三二、〇〇〇平方哩以上になる。本土の海岸線は約八〇〇哩であると測量されてゐる。地理的に且つ要害の點から見て、北ボルネオは香港、新嘉坡の中間に位置してゐるから航海上の要點に當つて居り、又北米の季節風の場合に英海軍省が支那、日本との通商船舶に撰めてゐる航路は西海岸諸港の極く附近を通過してゐる。東岸に於て支那及濠洲間の通商の要路に當る所はサンダカン及カウイ灣として知られてゐる雄大なる入江である。現在此兩港共幾つかの定期航路を有してゐる。

次に示めすは、北ボルネオに於ける重要港なるサンダカンと極東に於ける主要の商港間の距離である。

サンダカンより新嘉坡	一、〇〇〇哩
同 香港	一、二〇〇同
同 馬尼刺	六〇〇同
同 マカッサ	七五〇同
同 ボート・ダーウイン	一、五〇〇同

本州に於ての最南端であるノムバタル(Nompakul)は新嘉坡より僅か七〇〇哩で距だてゝゐるのみである。

地勢

北ボルネオは、大部分海拔四千乃至一萬二千呎の高さを有し、稍峻峻なる山嶽によつて占められてゐる。然し之等山系を横切るものに大溪谷あり平野ある。又沿岸地方は、廣い入江及沼澤を有する沖積層の平野が存在してゐる。

同國山野は密生叢林によつて被はるる所で、多數河川其間を縫つて流れてゐる。

港灣及投錨地

大體に於て、ワレイス(Wallace)の云ひし如く、ボルネオ島の海岸線は出入がないと云つてもよき位である。唯東北端に、即ち海岸が幾分高く又峻峻である所に稍々其存在を認め得るのである。又同島は北方に到るに従つて峽少になつてゐるため、航行に適する河川は唯南方に於て發見せらるるのみである。海岸線の事について詳細を知らんと欲するならば英海軍當局出版になる支那海指針第二卷(China Sea Directory)を参照されんことを望む。茲には此を省き、西海岸より順次東海岸に到る主要投錨地を説明する。

先づ、クリアス半島ノソン(Nosong)岬より數哩距つた海上に、ブラウ・テガ(Pulau Tega)として

知られてゐる小群島があるが、此は何れの各季節風の場合にも適當なる投錨地となるのである。北方に進み、ガヤ灣に到らざる所にディナワン(Dinawan)と云つて水深二十五呎以上の投錨地がある。

ガヤ島は、其南方の水深ある二灣に取つて適當なる防波島となつてゐる。又同島はセパンガー(Sepangar)灣及ガヤ(Gaya)岬と共にガヤ灣といふ投錨地を作る。ガヤ灣の南方にジエツシエルトン(Jeselson)がある。此の兩灣の延長は約七哩であつて、水深は約十三尋ある。其廣さは約四哩であるが、北方に到るに従つて狭少となり、約一三哩の狭さとなる。此灣は兩季節風の吹く間東方に到る總べての船舶を收容廣さを有するに足るのは通商上注目し得る。又ジエツシエルトンは完備せる埠頭を有してゐるが、近き將來に於て、給水設備を完全ならしめ且食料を供給せんとすの計圖の外に増築工事が行はれんとしてゐる。

ガヤの北方アムボン(Ambong)岬とサウンダル(Saundal)灣間に可成の水深を有する三つの灣があるが、西及北風の場合は碇泊に適しない。

ウスカン(Uskan)灣はアムボンの北方三哩の地點にあつて、約二哩の入江をなし、適當なる投錨地であるが、南西の風の場合には不向である。

本土から十二哩距たつてゐるマタニニ(Matani)島は何様な季節風が吹く場合にも適當なる投錨地となる。然し此の島には住民なく、唯季節に應じて燕巢蒐集者の來るのみである。

ホルネオ島の最北端にあると云はれてゐる岬に近接して、マルヅ灣といふのがある。此灣は以前イラヌン海賊の堅固なる城寨のあつた所として有名である。マルヅ灣の南北は二十八哩に及び、其入口は十七哩あるが、南端は九哩位になつてゐる。而して其水深は三乃至二十尋である。此灣の西方、入口より十一哩の所に、重要な政府駐在所なるクダツがある。此處には埠頭の設備あり、船舶を撃留し得ると共に、水を除く其他の必要品の供給を受けられるのである。

マルヅ灣の入口から、十二哩を距てる海上に、パラムバンガン及バンギ(Bangi)の兩大島がある。前者の面積は四十平方哩で、後者は百六十七平方哩である。人は住んでゐないがパラムバンガン島の東沿岸に北港及南港として知られてゐる二つの入江があるが、稀に船舶の碇泊を見るのみで、又全然危険がないと云ふ譯でもない。

バンギ島の南岸に在るミットフォード(Mitford)灣は三出入口を有してゐるが、其中中間のものが最も多く使用せられ、兩季節風には完全に防備されてゐるのである。又政府は試験的に駐在所を此處に設置した事があつたが、程なく廢棄せられた。バンギ島はツスン人が散點的に住居してゐるのみであるが、バジャオ人は海産物を得るために屢々同島に到るのである。

マラワリ(Malawali)水道には無數の島嶼、小島がある。中面積十五平方哩を有するマラワリ島を最大なりとする。其附近には多數の避難所發見せらるるが危険多きを爲め航路標識の設備はしてゐる

が中型の船舶以上は航行が出来ないのである。

バイタン (Taitan)、マーチエーサ (Marchesa) 及ラプク (Labuk) 灣は其灣面積は廣大なものであるが、水深なため大型汽船の避難には適しなす。

北ボルネオ東岸で幾分北に偏した所に、サンダカン灣がある。サンダカンは濠洲のシドニーと屢屢比較せられ世界に於ける有数なる良港とされてゐる。其入口は一哩¹⁰あつて、内に入るに従ひ漸次廣くなり五哩に及ぶ、而して長さは十五哩ある。北ボルネオに於ける最大都市であるサンダカンは灣口より一哩の北方に建設せられてゐる。サンダカンは船舶を撃留し得る棧橋の設置あつて、水及必要の供給をなす事が出来又石炭は特別な棧橋で豊富に供給をするのである。

タンジョン・ウンサン (Tanjong Utsang) の南デント・ハーベン (Dent Haven) は約二哩の廣さを有し、水尋五尋あり南季節風の際には良き避難所となる。ダーネル (Darvel) 灣として知られてゐる廣大なる灣の入口を擁抱してゐるダーネル半島は、サッカー (Sakar) 島の北端と共に、總べての天候に堪へ得る、良い港を形成してゐる。此の内にラハッド・ダツ市 (Lahad Datu) があり、煙草及古々椰子の大集散地として知られてゐる。

シラム (Siam) 港は良好なる避難地であるが、多くの珊瑚礁があるので安全とは云へないのである。ダーベル灣の南隅チンブー・マタ (Timbu Mata) 島の北面に側つて水深の相當有る所がある。ト

ルウサン・トリツチャイ (Trusan Trachai) の南方にシムホルナ (Simporna) なる地方官駐在所がある。

ボルネオ本土及セバティック島の内に、如何なる船舶をも收容し得るカウイ (Cowie) 灣として知られて宏大なる灣がある。其入口は約五哩あつて、幾分の危険はあるが完全なる航路標識の設置があり、一方パツ・チンガット (Batu Tingat) には二十五哩の燈火能力を有する燈臺が設備されてゐる。

カウイ灣は長さ二十四哩あり、石炭供給を要する世界各地船舶の來訪する所である。セバティック島の北部には石炭貯蔵所がある。同港の入口にはタツオ (Tawan) として繁昌せる都市がある。

山岳

一概に云へば、北ボルネオにはマルヅの南端に始まり西方に及ぶ、同國の脊柱とも云ふべき一つの山系がある。此山系の標高は四千乃至二千呎であつて、西海岸地方には其支脈を見る。其中最高山をキナバル (Kinabalu) と言ひ全山洪大なる花崗岩よりなつてゐる。キナバル山は東洋に於ける優美なる山岳の一であつて、海拔一三、四五五呎に及ぶ。然して海岸を去る五十哩の地に位してゐるが、遠隔の地からでも此を望む事が出来るのである。其頂上は閃長花崗岩よりなり、東西に走る十嶺及南方に走る弧立せる峻嶺がある。キナバル山は九千呎位の所から、岩塊累々として垂直に立つてゐるため登攀には非常に困難であり、唯テムバスマックの側から遂行し得るのみである。

キナバル山の東北數哩距つた所に一萬一千呎位の山波があるが、山系とは其中間に大なる裂隙あ

りて全く孤立したものとなつてゐる。此山波は引續き低き山脈に迄及んで居り、此中七千呎のタム

ブユカン山 (Tambuyukan) が最高であるとされてゐる。

此外にキナバルから北面に峻嶮なる山波が出てゐる。

又キナバル山の西方から走り出てゐる小山脈があるが、中、最も高い山は海拔五千呎ある巨大なる懸崖である。又南側から走り出てゐるものは二つある。此中最も重大なる役目を果す物は、東方に走るもので、西海岸沖より望み得る山脈を形成してゐる。

キナバル山

キナバル登攀は屢々歐洲人によつて試みられ、テムバスク側より登りたるものは、自然多少の困難はあつたが別に多大の困難に遭遇しなかつた。又數人の婦人が其頂上を極めた事もある、其中一婦人は次の如くに云つてゐる。「土人はキナバル山に關し種々なる傳説を有してゐる。其頂、霧煙に閉された所は死塊の憩ふ淨土なりとされてゐて、水牛の亡塊はキナバルの頂に咲き充ちてゐる幻の草を食むために、主人に率ひられて來



れてゐて、水牛の亡塊はキナバルの頂に咲き充ちてゐる幻の草を食むために、主人に率ひられて來

る。淨土とも云ふべき頂に昇つた人によつて、山の靈を慰め及聖域に俗人が浸入した其怒を宥める爲めに幾多の式が行はれなければならぬのである。」

同島の最北東端には北西及南東に走る山脈があるが、まだ充分に知られてゐない。又バリウ (Pari) と稱せられる一嶺は高さ四千呎に達すると思はれてゐる。

ラブック及スグット (Sugut) 河間に分水嶺をなす高さ山脈がある。其中最高嶺をメンタポック (Mentapok) 山と稱しハットン (Hatton) 氏は九千呎に及ぶと推察してゐる。

土人のために和蘭領内にて生命を失へる、中部地方最初の探險者名を採りキット (Witte) と名附けられた山脈はセムバコン (Sembakong) に流入する河川によりバガラン (Pagulan) 山系と分離されてゐる。

海岸を去る程遠からざる所、サラワクと北ボルネオとの境界に、新嘉坡より本州に近ける船舶の陸標となるリムバカウ (Limbakau) 山脈がある。リムバカウ山は標高約一萬呎に及び、キナバル山と同様に多數の傳説のある所である。同山は此の近くに住んで居り、其に登攀しやうとしない人の畏懼の的となつてゐる。

シラム或はダーベル灣の脊後に一山波がある。其中三千呎の海拔を有するものが最高であるとされてゐる。マダイ (Madai) 山は同じく此地方に存在してゐる石灰石を以て組成されて居り、屢々空洞中

には燕巢が発見せられるのである。

カウイ灣の北に一山脈がある。其の中心はマゲダレナ(Magdalena)山であつて、其高さは確に五千呎以上であるとされてゐる。又此山脈から一つの山波が出て居りセイント・ルシヤ(Saint Lucia)に至つて最高となつてゐる。

中部ケニンガオ(Keningau)及タムブナン(Tambunan)地方の境界にあるトウルースマデイ(Turust)山は八千呎の標高を有して居り、一方蘭領境界の附近に於ては四千乃至六千呎に達する山脈屢屢発見せられる。

平野

北ボルネオに於て最も廣大なる平野はキナバタンガン(Kinahatangan)河の流域である。同平野の北にはラプック山系あり、西には中部地方より来る山脈あり、又南方はシラム山波によつて境界されてゐる。面積は約四千平方哩であり地味は豊饒にして且肥沃である。多數の河川その平野を貫流して居る。

奥地に在るケニンガオ及タムブナン平野はペガラシ河(Pegalan)によつて貫流されて居る。前者は廣大なる草地にして特別な程肥沃といふ譯でもないが、後者は水稻栽培の土人が多數住居してゐる。ケニンガオ郡にあるスク(Suk)平原は廣大なる面積を有し、地味頗る豊饒であるが、其住民は非常

に少いのである。

沿岸に在る平原の主なるものとしては、バタス河の三角洲、キマニヌ河南方の低地、メンカボン平野及テムバスタク溪谷の廣汎なる草地等が擧げられる。

ラプック河の水源地域はラナオ(Ranao)と稱せらるる大平野であるが、標高約千六百呎の所に在り、又草地にして住民は頗る少い。

河川

當州に於ける河川は無數といつてもよい程多く、河川が唯一の交通路となる所に於ては重大なる意義を有するものである。北ボルネオに於て最大、最重要なる河川は何と云つてもキナバタンガン河である。即ち六呎の船脚を有する船舶は同河のローカン(Lokan)支洗の分岐點、即ち約海岸より百二十哩の點迄遡航し得、小艇船にてはタンクラップ(Tankulap)河迄遡流する事が出来る。同河の海に注ぐ所に幅五十、延長二十哩の三角洲があり、出入口は三つあるが其中砂洲上に可成の深さを有するムミアン(Muniang)と稱せられるものが最も使用せらるる。別にデューハーバースト灣(Dewhurst)も又使用せらるる所である。同河の下流地方の人口は頗る少く、スカン(Sukan)に到る迄は何等記載に價する村らしいものは発見されない。スカンは有名なるゴマントン(Gomanton)穴洞にて採集された燕巢の集散地である。スカンに到る迄の同河流域は低く濕潤であるが、上流に到るに従ひ、下

生は密生する。猶ほ河を遡ればラマツグ(Lamag)とて地方官の駐在せる所がある、此處の地方官はキナバタンガン郡の行政司法等を委任されてゐる。前述せる同河の支流ローカン流域には可成の人間が住んでゐる。ローカン及クワムット(Kwamut)河間に到ると次第に岳陵地となり、所々土人の清野せるを見る外、殆ど叢林を以て蒙はれてゐる。クワムット河は驚くべき延長を有する川であるが急流が多くて航行に適せず、小型の舟筏或は短距離の航行を見るのみである。クワムットを遡行し、多くの急流を過ぎればペナンガ(Penangah)に到る。同所は小さな商業都市であつて、北ボルネオの中心にあたる。

ペナンガを猶奥地に遡れば、同河はメリアン(Melian)メリカッブ(Melikap)及ムンクアギー(Mung-Kwigo)の三支流に分たれる。此等支流流域はムルット族テンガラ地方民の住居する所であるが、頗る分散的であつて且數も多くない。

ラプツク河はサンダカン半島の北方にて海に注いでゐる。其の源はラナオ平原附近の山脈であつて、密林の間を流れマングローブ簇生沼澤地を通り海に注ぐ。

其支流の重なるものはツングッド(Tungud)であつて、海岸を距る十五哩の所で本流と合してゐる。滿干潮の影響は此處にて終り、此れより一哩上流にあるタンズー・バツ(Tandu Batu)は解船航行の制限點である。カビバガン(Kalibugang)支流の本流に合する所にタムピヤス(Tampias)と云つて稍

稍重要な村落があるが、ラプツク上流地域には住民頗る稀である。

ラプツク河の北に、非常な重大さを有するスグット(Sigit)河がある、其源はキナバル山附近の山脈に發し、上流地方は急流が多い。小舟の航行は七十哩迄可能であるが、解船は約三十哩迄遡航し得る。

マルツ灣に注ぐ河はベングゴカ(Bengkoka)ボンゴン(Bongon)及マルツ(Marudu)の三とする。此中ベングゴカ河は最も多く利用せらるる所である。而し同河は水深の浅い砂洲を有して居るため、小さな舟筏の航行しか出来ないが、植林上重大意義を有する豊饒なる地域を貫流してゐるのである。

ボンゴン河は解船の航行に適せずして、急流及俄かの汎濫ある爲め土人舟筏の外使用されない。此の河畔にある政府駐在所タイムバン・バツ(Timbang Batu)は海岸を距る十一哩の所に在る。

西海岸地方には無数の河川があるが、通常延長は短くして稀に遡航し得るのみであり、又一方其の多數は鹹水入江と識別し難いのである。

ラムバスクク河は草生地帯二十哩の間を貫流して居り、其源をキナバル山に發してゐる。其河畔コタバルツド(Kotahelud)には駐在所がある。

チュアラン河は豊饒にして開墾せられ居る豁達なる平野を貫流する。北ケツベル郡の駐在所は河口を去る三哩の地點チュアランに有る。

ジエシエルトンの南ブタタン河は迂曲せる河川にして、豊饒なる土人耕作地を流れてゐる。河口の附近に政府駐在所があり、河を遡ればタムブナン近くの山岳及平原に住んでゐる民族が海産物と交換する Tomu (餘合、寄合の意)なる所がある。

ババー河は三十哩邊迄通航は出来るが然し其河口には交通上の障礙になる砂洲がある。其の源はタムブナンより程遠からざるクロッカー (Crocker) 山脈に發する。其の下流地域は人口稠密にして北ボルネオ中最要なる米作地である。

バダス河は西海岸地方に於ける最長のものにして又最も重大なるものである。同河は肥沃なる地方を貫流し、海を距る六十哩ブーフオート (Bunfort) に到る迄小解船にて通航し得る。其河口には鹹水水道が通じマングローブ及ニツパ椰子の繁茂する三角洲がある。ブーフオートに至れば平原は險峻なる山となり航行は阻止せられ、如何なる小舟と雖もラナオに到る事が出来なくなる。ラナオを猶遡れば危険なる急流及瀑布がペノタール (Penohal) 迄連續して存在するが、此を數哩行けば流は緩かとなりトマニ (Tomani) に到る迄土人舟筏によれば通航し得る。所がトマニを過ぎて數哩行けば航行の出来ない様な急流瀑布ベマタン (Penatung) 地方迄及んでゐるが、同所に到れば再び土人舟の航行が出来る様になる。此河の源は英、蘭領ボルネオ及サラワックの境界に跨がる山脈である。バダス河の重なる支流はベガラン河であつて、大なる延長を有しキナバル山に其源を發する。同支流



パダス河

はタムブナム及ケニンガオ平原を通りペノタール溪谷の上流ラノムに於てバダス河と合する。土人の傳説に依れば、之等の溪谷以上の地は、昔大きな湖のあつた所であるが、ペノタールに在る山脈が破裂したため現今の様になつたといふ。

クリアス河はメムバクル (Mempakul) 附近メナムブツク (Menumbuk) にて海に注ぎ、コタ (Kota) (三) に到る迄航行なし得るのである。其源はブーフオート・メンバクツト間の沼澤地であつて、其沿岸には重要な西穀椰子の植林が行はれてゐる。

コタよりクワラ・ペンユー (Kuala Penyu) 海口間にはツングリアン (Tunggulian) と稱せらるる小海峡ありて満潮の際には小舟の航行が出来

る。然して海に注ぐ附近に於ては宛然一つの湖を成してゐる。

同國南東の部分には非常に重要さを有する幾つかの河川がある。セガマ(Segama)河口はキナバタンガン河の河口を距る約十四哩の所に在る。小艇船にては約六十哩を遡航し得、又土人小舟にては從來瀧のある所迄即ち從來二百哩の地點迄遡行した例がある。此の河に沿つて、北ボルネオの中で最も繁榮を極めてゐる煙草園がある。又此附近に於て數年前金が發見せられたので多大の期待があつたのであるが、此豫期は今になつても實現されなす。

數河がカウイ灣に注いでゐる。此中最も必要さを有するものはカラバカン(Kalabakan)及スルドン(Surudong)の兩河である。カラバカン河は數哩浮船で航行し得るが、上流地方は急流に充たされてゐる。此河は沿岸に沼ひ價値のある木材を含む森林があるため有名である。

スルドン河は數哩だけ航行し得るが、スルドン村の上流は急流が多い。ブキット・アパス(Bukit Apas)の下流に英蘭領の境界をなす山岳があるが全く人も通れない様な溪谷をなして居る。

數年前或る有名な瑞西探險家及アルプス登山家が此の溪谷を通過せんとしたが失敗に歸した。スルドンの支流をなすサスイは此溪谷の上流に於て本流と合し又少しく遡航し得る。然し或る場所に於ては數哩に狭まり、約二百呎の瀧をなす。猶此の上流に至つては叢林産物蒐集者を除き全く未知の世界に屬してゐるのである。

シブク(Sibuku)及セムバン(Sebakong)河は其上流のみ北ボルネオに屬してゐる。

第三章 住民

法律命令の實施以來、北ボルネオの人口は年々増加の趨勢を辿つてゐるが、未だ頗る稀薄であつて、東海岸及中部地方の大部分は未開なる森林を以て蒙はれてゐる。

國勢調査

一九一一年の國勢調査の結果、北ボルネオ總人口は二〇八、一八三人(内歐人四百人を含む)なりと發表されたが、遠隔地方の人口については調査漏れがあつた様である。

一九二一年に施行された國勢調査は總人口二五七、三四四人であるとしてゐるが、豫想數を非常に超過してゐるのである。實數が豫想數を超過した原因は遠隔地方の土人出生數が判明しなかつたからである。一體土人は出生に對して、特に關係のある者を除いて何等興味を有してゐないから、届出を怠るのであらうが、死亡に對しては全村の公知及祭祀を必要とするから届出をするのである。人種學上ボルネオ土人は種々問題とされてゐる。全土を被つてゐる密林があり、又其の爲め交通が容易でないから、同一根元より出でた種族が非常に其習慣及言語を異にしたものと一般に信じられてゐる。

國勢調査に據ると、ヅスン人が大多數を占め北ボルネオ全人口の三分の一以上を占めてゐる。次にはムルット、支那人及びジャオ人の順となる。

ヅスン人(Dusun)

ヅスンとは馬來語にて「村或は小森の人」といふ意味であるが、元來馬來人が北ボルネオ土人の大部分を指すに用ひたのである。疑もなく、土民は同一眷屬に屬するのであるが、ヅスン人なる名稱は北ボルネオに於て、漠然としてはゐるが一般に用ひられてゐる。又同一種族中にも多數の細別があり、又彼等自身の呼稱も各々異なつてゐる。

大體に於て彼等は平和的な従法的な、且農業的本能の強い種族であり、北ボルネオの農耕者と目されてゐる。

ヅスン人は北ボルネオの各所に於て發見せられるが、就中、北及西海岸地方を其住居地として居り、農耕法は其他の土民族と比べて較段優れるものである。從來彼等は、嘗て北ボルネオに大舉移住せる支那人の後繼なりと信じられてゐたが、實際はさうでなかつたらしい。古代、支那とボルネオ間に於て通商の大規模に行はれてゐた當時、支那人がボルネオの女と結婚したといふ事實があるから前述の如く信せしむる原因となつたのであらう。事實現在に於ても商店所有者、市場向の菜園所有者、職工の如き者は土人女と結婚し、支那人の血を次第に浸漸せしめつゝあるが、支那人の言語及

習慣は一般に擴がつてゐない。



ヅスン人住居地、特にブンヅ(Bundu)及クリアス地方の或る所では、種々の支那習慣がある。然して彼等の採用してゐる農耕法は其他の種族と比べて數等優さつてゐるが、之は支那人の影響を受けたものである。

ムルット人(Murut)

大體、ムルット人は奥地山岳地方に住んでゐて、ネグリート型をしてゐる。其體軀は倭少であつて、民度も又低く、又不行跡の傾向がある。即ち小兒に到る迄、米或はタバコカより製したる強烈なる酒を痛飲するのである。

狩獵にかけては優秀なる技術を有し、彼等は叢林より彼等の蒐集したる産物を交換して其生活の資

料を或る程度迄得てゐる。

又彼等は彼等自身を種々な名で呼んでゐる。ムルツトなる名稱は彼等自身を呼ぶ場合には用ひられない。彼等はヅスン人より低級なるものであつて遠隔の地に住むムルツト族が「首狩」の風習を止めたのも極最近の事に屬するのである。

ムルツト人農耕の方法はヅスン人より劣つて居り、一般に定住性を有して居らない。即ち山岳ムルツト人は屢々其住居を變じ、中には全く遊牧性を有してゐるものもある。

ムルツト人とヅスン人とは區別するに相當困難を感じる。言語は多くの點に於て相類似し又習慣の大部分も同一である。兩族共既に述べた故に饑について同様なる尊敬をなして居り、夢及縁起を非常に信じる。又ヅスン人中には基督者を信奉してゐる者もあるが、兩族共無宗教民族だと云つて差支へない。

支那人

其數三萬を起える支那人は、商業、市場向菜園の栽培及職工の如き職に従事してゐる。支那人の店は頗る不利だと思はれる様な所迄發見せられ、秩序の確立しなかつた以前に於ても、其商人は屢屢危険極まる地域を旅行したのである。

支那人は、利益ありと認めたる場合は、身を碎いても働くといふ種族で、彼等の要求する賃銀は

高いが、彼等の品性は卒直であると思はれてゐる。支那人は北ボルネオ無宗教民と結婚し雜居し、無宗教民によつて尊敬される。北ボルネオには現在新嘉坡及サラワックに於けるが如き支那人の町と比敵する大社會はないが、次第に此の傾向があり、永久的な栽培事業に従事するものだと思はれる。農園労働者の大部分は支那人であつて、普通、上に述べた型の支那人と異なつて居り又永久的な性質を帯びてゐるか否やは疑はれてゐる。

馬來人 (Malay Tribes)

北ボルネオに於て眞實の馬來人は殆んど居ないが、馬來に起原を有する民族は住居してゐる。彼等は普通の場合極めて伶俐であり且敏活であるが、外界の刺戟がなければ文化の光を仰がない様な民族である。馬來人は海岸地方に散在して回々教を信奉してゐるが、此の宗教特有の熱意もなければ嚴格さもない。

バシヤオ人 (Bajaus)

バシヤオ人は全人口の十分の一以上を占めてゐる。住居地方は海岸であつて、漁業により生計を資持し、又家族の多數は舟を住家と心得てゐる。昔は北ボルネオ及其近隣の島嶼に於て海賊をしてゐたもので、ジ・ホールから渡來したものである。且てバシヤオ人は不法で且驕傲であつたため、其蹂躪を受けた東海岸民及其近隣の民族のみならず、遠隔の地にあるもの迄が其の名を聞いて戦の

いてゐたのである。之は海峽植民地、蘭領ボルネオ及爪哇の年代史を見れば明らか事である。現在では此の慮は少なくなり、平和に農作に親しんでゐるが時々其掠奪本能はまた強奪といふ形になつて表はれるのである。

イラヌ人 (Iranis)

ボルネオに於て古代海賊中其覇權を握つてゐたイラヌ民族は現在では殆ど勢力なく、國勢調査に據れば二千人に満たなかつた。然して其居住區域も同國北部に限られてゐる。

オラン・スンゲイ人 (Orang Sungei)

オラン・スンゲイ人(河住人)はキナバタンガン河及近隣の地にて發見せられ、其數約一萬人である。然し其起原は不明であり、彼等の中或る者は無宗教であるが、或る者は回々教を信奉する。

ケダヤン人 (Kadayans)

ケダヤン人はデント及クラーク州に居住してゐる者であつて、回々教を信奉し、専心に農業に従事してゐる。彼等は昔、ブルネイ王の身を守護するためにスマトラより渡來せる者の後繼であると云はれてゐる。然し彼等は其他の回々教徒族と全く其外形を異にし、極平和なる性質を有する者である。

ピサヤ人 (Besaiyas)

ピサヤ人はバダス河附近に住居し、曖昧な回々教信奉者である。其起原はムルット族にして言語も又大體同じなのである。水田を耕作し回教椰子を栽培すれども、他種族間には蛇蝎の如く忌み嫌はれてゐる。其身長は特に低く、生活は不潔きはまるのである。

スールー人 (Sulu)

北ボルネオに居住してゐるスールー群島民は約五千であつて、其大部分はサンダカン及蘭領境界間の沿岸地方に發見せられる。其職業は重に漁業であるが、中には土地に落着いてコ、ナット栽培を行つてゐる者もある。然しながら、彼等が北ボルネオで受けてゐる困難は、以前米國人或は西班牙人の爲め蒙つた困難に比すると比較にならないのである。

其他の種族

以上大體重なる民族に就いて述べたのであるが、次に取残されてゐる種族に就て述べ様と思ふ。セレベスより移住したブギ(Bugis)人は馬來族の一であつて、温順にして且口が巧みである。山人と呼ばれてゐるチドン(Tidong)人は重に蘭領境内に住んで居るのであるが、北ボルネオではカウイ灣近くに發見せられる。サラワックより來住したダヤック(Dayak)人は森林事業を害し、北ボルネオ在住民族よりも幾分驕傲である。又此外ブルネイより來つたツドン(Tudong)人がある。爪哇人は一般に農園労働者として使用される。以上で大體を述べた譯になるが其他の者は擧げる價値のないも

のと心得へられたい。或る時珍奇なる鐵刀木製の棺がキナバタンガン河の流域で發見せられた。此棺の史實については其附近居住民族間でも知られて居らない點より見ると、今日最早消滅して現存して居ないが、或る種族民が住居してゐたものと思はれる。

北ボルネオで話されてゐる言語は多數であるが最近一年間サンダカン法廷で話された言葉は三十二に及んだ。馬來語は北ボルネオの各所で了解されるが奥地地方では此を知る者少いのである。

上述の事實に依つて見ると、北ボルネオの重なる住民はズスン人であると云ふが解かるが、現在に於ては、各種族互に混合し、非地方的な民族が出上りつゝある。

過去に於ては、境遇の悪かつたため及適當なる制限のなかつたため土人を惡習慣に染らしたのであるが、今では大體に於て惡習慣は放棄され、土民族は繁榮及増加を來さうとしてゐるのである。即ち彼等の消滅を見る恐がない様になつたのである。土人は一體に多産であるが、熱帯各地に於てよく見られる様に幼児の死亡率は不幸にも頗る高い。之は適當なる食物がなく、又不注意に原因するのであらう。英國占領當時に於て醫務當局は、土人幼児の死亡率の事を述べてゐるが、生後二十四時間で死亡する者は五分の一を占め又一週間以内に死亡するものも頗る多く、結局一年以内で死亡する者は出生数の半分に及んでゐると云つてゐる。

政府は全力を盡して土人に育兒法を教へたり、又は或る地方では適當なる忠告及取扱法を與へる

ために巡回助手を派遣してゐる。斯の如く良好な衛生状態及有効なる醫務當局の監督があれば、土人人口は大なる増加を來たす事は明瞭なる事實である。又土人も其小供の幸福に意を注ぐに到り醫務及行政官は次第に彼等の善良なる注意者及醫務になりつゝある。

現在の如く土人の數が少いのは種々な原因はあらうが、就中以前無政府状態であつたため及天然痘或はコレラの襲來を受けたためであらう。コレラ及天然痘の同國を襲つた事實は土人傳説は之を證明してゐる。

第四章 氣候・氣象及衛生狀態

英領北ボルネオの氣候は四時變化なく又寒暑の差が甚しくないのを以て特徴としてゐる。氣温、降雨、風等自然現象は熱帶地の割合に、非常に温和であり、温帶の如き現象有様を呈してゐる。

氣温

沿岸地方の温度は六十一度乃至九十四度の間を上下する。氣象表を一覽すると、一年中を通しての各季の温度差は僅かなものであるといふ事を知り得る。最高最低寒暖計による平均最低温度は雨期に於て見られる。雨期は毎年少しづつの相異はあるが、普通十二月及一月である。日中に於ける平均最高温度の現はれるのは一般に八月及九月である。普通の場合最低實際温度は夕暮或は宵の口の狂風の際に現はれるが最低平均温度は午前二時頃記録せられる。奥他地方の山岳に於ては、氣温が前に述べたより降る事があり、又キナバル山に於ては氷結點に達する事がある。日中に於ては清澄なる大氣及充分な蒸發があるため、重苦しい様な感じを受ける事がなく、又、夜中に於ては毛布が一般に使用せられる有様である。

降雨

過去十年間に於て沿岸地方年降雨量は五一・三三吋乃至一七八・〇六吋であつて平均八八・三六吋である。雨期即ち十一月、十二月、一月或は十月、二月の候に至れば北東季節風が吹く。雨期に於ては一年總雨量の大部分が灰色の空より降るが、都合よく日夜に分かたれてゐる。然し雨期といつても英國などで云ふ「Truculent Rain」とは大部趣を異にし二十四時間以上も續けて降る事は至極稀れである。最雨期とされてゐる時分でも數日間雨が降らない事がある。

乾燥期は雨期に續いて來り、三、四月及五月全體及二月の一部に亘る。此時期に於ける雨は夜中及早朝の驟雨のみである。又重大なる被害を及ぼす様な早魃は至極稀であつて、一八八五年のボルネオ新嘉坡に亘つての長期早魃に際しても二箇月内に一・五吋の降雨があつたのである。

乾燥期に次で來るのは中降雨期であり、一般に六月に初まるのである。此期間の第一部分は第二雨期とも呼ばれるもので、後の期間即ち次の雨期の初まる迄は第二乾燥期と稱せられてゐる。

此期間に於ける降雨は主にスコールの如き狀を呈し、重に午後、夕方に現はれるのであるが、此の期間に擾られてゐる譯ではない。然して重大な損害を及ぼす様な降雨は此の時に惹起するのである。例へば一八八四年の如きは四十分間に二吋以上の降雨を來したのである。

同國に於ける水の供給は降雨と至大なる關係を有してゐるものであるから、以下少しく述べる事にする。降雨は湖或は小池の如き適當なる貯水池に貯藏されなければかりでなく、地表を洗ひ去り或

は多孔質の土壤中に吸収され直ちに其跡を失ふのである。斯の如き状態であるから新鮮なる水は噴水、井戸、或は人々貯水池の如きものから得られるばかりである。が然し普通の場合に於ては土壤が頗る吸収性に富んで居り、濕氣をたゞへてゐるから供水問題については何等困難を感じない。又終に夜中河川附近に現はれ、太陽の強き光線を受けされば四散せざる濃霧のあると云ふ事を附言して置く。

風

北ボルネオの季節風は北東及南西の二つある。北東季節風は十月の中旬より四月の中旬に及ぶ。此の期間の季節風は堅實に且相當の強さを以て北東より吹き來るのである。又此期間に於て特に十二月及一月に於て、普通の場合には三日或は九日に亘る可成の強さの強風がある。平日午前十一時頃より軟風起り來り、午後に於て最高に達し、夜に入りて消滅する。其に代り靜風來るのである。其季節風の初期及終期に於ける季節風は強からず且確實ならず、陸軟風午前遅く迄續くのである。南西季節風は四月の中旬に初まり十月の中旬に終る。此は北東季節風の如く強からず、早朝に於ては顯著なる陸軟風を感ずるのである。又一方強風も前者の如く烈しからず且時間も短いのである。

然し午後、夕方約二、三時間に亘つてスコール襲來する事が屢々ある。時には新強風の如き力を

加へて吹く事がある。

北ボルネオ特種の自然現象については何等取立て、云ふ様な事はない。が旋風、颱風及地震のな事などが注意すべき事で、又アパス河畔タワオ附近で温泉は發見せられるが最近に於て火山活動のあつた形跡もない。非常なる電火を伴ふ驟雨は七月乃至九月の候に屢々ある。屋氣樓は小さな範圍ではあるが午後には現はれ又燐光は特にサンダカン灣で大範圍に亘つて現出する。

北ボルネオの氣候が衛生に適するや否やに關する一般の意見は、其他の熱帯地と比較して良好なりと云ふのに一致してゐる。病氣は一般に弱性であつて、適當なる處理をすれば充分に根絶する事が出来るのである。氣候の健康に及ぼす影響に就いては、一概に結論を下す事は困難である。又全體的に一年の何の季節が最も不健康であるかといふ事を云ふのも難かしい。或地方に於ては南西季節風の吹くときは最も不健康である事がある。即ちクダツ及南東岸が此の例である。同所に於ては北東季節風の時は殆ど熱病と云ふべきものはないが、此の季節風の吹く時になると若干強壯な熱病が流行するのである。他に氣候の及ぼす害は次の通りである。(一)或る地方では乾燥期の間に水量の減退及水質の悪化を來す。(二)旱魃に續く最初の降雨に於て、河川より供水を受け居る地方に於ては水質の不良なるを見る。(三)大河川の附近にあつて毎年汎濫を蒙る地方では、其附近の住民間に、熱病及從來其地になかつた病氣を持來する可能性を増す事。(四)密なる河霧は熱發及喘息の

發生を増加する傾向がある。此外には何等明確な事實はないと云つてもよいが、唯季節風の變換期に於て特に呼吸器系病の發生を見る事がある。又印度に於て所謂コールド・シーズンと呼ばれてゐる様な不健康な季節は北ボルネオに存在してゐないといふ事が云へる。

病氣―熱病

マラリヤは最も流行を極めてゐて、又熱病は種々なものが發見せらるゝが、此の中準間歇熱が最も多い。斯の如き疾病に對する防疫事業及小池、沼澤の排水は豫防上大いに力があつたのである。

脚氣

脚氣は可成農園に於て見られる。然して此の病氣は新鮮なる野菜を食する事の少きため及び白米を過食する爲めに起るのである。此の病氣は一般に傳染病の形にて出現するが流行區域は普通其の發生した民族及地方に限られてゐる。脚氣には浮腫性と麻痺性とあり、後者は頗る危険だとされてゐる。従前より、政府は苦力の傭主をして半熟、半搗の米の使用及野菜の充分なる供給を奨励し來り著々効果を收めてゐる。

十二指腸蟲病

十二指腸蟲病は北ボルネオ農園苦力間に蔓延してゐるのである。少くとも農園の苦力の半數は此に犯されて居り、猛烈な場合には勞働する事が出來ないのである。此の病氣は爪哇より渡來せる苦

力により持來されたのであると思はれてゐる。本病は適當に處理せらるれば普通の場合危険ではないのであるが貧血を來し他の病にかゝる素因が多くなる。

ロククフエラー財團は東方諸國より此の病氣を根絶する事に非常なる興味を有し、北ボルネオに於ても之を剷滅するために大規模な方法を採用するといふ事を發表した。同財團によつて任命された専門家は既に到着したのである。

赤痢

本病は稀であつて、發生した場合には適當なる處理によつて回復する事が出来る。

傳染病

從來屢々、天然痘、虎列刺は同國に發生したのである。何等苦痛なしに受ける事の出来る種痘法が同國に採用されてから後は、先に大害を及ぼし全村或は一地方の人民をも剷滅に歸した、天然痘は餘り恐れられなくなつたのである。土人は英人來國以前の天然痘は同國住民の半數をさへ犯したと云つてゐる。虎列刺は至極稀であつて又普通に大被害を及ぼさないが、一八八二年の流行の際には千人以上の犠牲者を出したと云ふ。近年に至つて虎列刺は時々襲來するが、其進路は直ちに防止されるのである。最近の流行は一九一三年東海岸の其れであつて、當時の醫務局長官は死亡一五〇人にして全患者に對する死亡率は七〇%なりと報道してゐる。

此後、斯の如き疾病の同國に輸入せらるゝ事を防ぐために、檢疫法が施行され且嚴守されてゐる。歐洲人に採つては、北ボルネオの氣候は幾分衰弱の原因となるが、適當なる注意をする時は、危険を免ぬかれる事が出来る。歐洲人にして風土病に倒れる者は殆どなく、又之はユーラシヤ人も同様であるが、ユーラシヤ人は熱病にはかゝり易いのである。

全體に於て、印度人は氣候によく抵抗する事が出来、彼等の中には死亡者は殆どないのである。初めて北ボルネオに移住し、氣候に順應せざるに先達ち叢林中で働らかなければならぬ支那人は頗る病氣にかゝり易いが、一度其氣候に慣るれば、其の影響を受ける事は少くなるのである。

土人の罹る疫病は主に熱病、瘧疾質斯、輪癩及脾臟病等であつて、稀に肺結核に苦しむのである。健康上の注意事項は各熱帯地と同様であるが、茲に簡単に述べて置く。最も重要なるは節制であり、食物飲料を定量にし、清潔を旨とし、過度にわたらざる適當なる運動をなし及冷氣を避けることである。

不必要なときに戶外に出づるを避け又聊か不快を感じたるときは直ちに注意する事が必要である。家屋は叢林及沼澤より可成距てるを可とすべく高地に建つるをよしとする。給水については綿密なる注意をしなければならず又飲料用に供する前には必ず煮沸する事を必要とされてゐる。

官立病院はジエシエルトン・サンダカン・ブユーフォート・グダツ・及タワオに設立されてゐる。加

之、各農園は設備の整へる自家用病院を有してゐる。歐洲人の爲めにはサンダカン・ジエシエルトンの官立病院に病室の設があり、ジエシエルトンには駐在看護人がゐる。又地方官の命令があれば何人と雖も官立病院に入院治療を受ける事が出来るのである。

現在に至る迄、療養所設立について、種々の候補地はあつたが、實現の運びに到らない。奥地地方へ旅行すると氣候上の大變化を受ける事があるが、新嘉坡或は香港への海上は病氣快復上に與つて大いに力があるのである。最近に到つて爪哇、濠洲への旅行は非常に容易となつたのである。

第五章 物産及叢林産物

北ボルネオ及其沿海は頗る資源に富んでゐるが、多くは未だ開發利用されてゐないのである。元來、北ボルネオ土民は性懶惰であるから、英國人の來住以前の同國は混亂を極め、或る有力なる近隣國の求財心を刺戟しなければ、其富源の開發は望まれなかつたのである。斯の如き状態であつたから、土人は其直接の欲望を滿たす慣習に馴致され、加之、天來の不精は、明日の事を考へない様な惡慣習に漸染せしめたのである。

貿易は重に支那人の手に依つて行はれ、多くの支那人は繁榮なる商業を行つてゐるのである。北ボルネオの貿易の大部分は新嘉坡間で行はれてゐるが、東海岸及香港間で行はれてゐるのも見逃す事の出来ぬものである。

海産物

海産物は頗る種類が多い。沿海地方には英本國にて發見せられる鱈、鰻、鯖の外に本國にて發見せられざる優秀なる魚族多數棲息し非常なる美膳を提供するのである。漁業は土人及支那人の多數に職を興へてゐるが、土人は大多數地方市場販賣に、支那人は輸出用鹽漬、乾物製造に従事してゐる。

漁業の前途は非常に有望なりと云ふ事が出来る。といふのは乾魚に對する亞細亞諸國の需要は年々増加と見てゐるからである。

沿岸地方の土人及小舟を家屋とせるバジャオ人は沿岸地方で、多量に發見せられる不氣味な海鼠を時々採集するのであるが、之は乾して支那に輸出せられる。支那では此れをスープ原料とするのである。

有名なる鳥貝及蛤も亦發見せられ支那市場へ賣出される。食用海草、寒天草も各所にて發見せられる。寒天草は歐人の寒天原料に使用せられるのである。又例外的な程大形の牡蠣を産出する事があり、眞珠母貝も採集され非常なる利益を見て販賣せられる。

眞珠はサンダカン市場では屢々發見せられるが、他の地方では稀である。然しながら種眞珠床は各所に存在するのである。牡蠣の中に發見せられ北ボルネオでは *Tridacna* と稱せられる小眞珠は粉にして、支那人により薬用として用ひられる。然して個々で用ひられる程充分に大きなのは至極稀である。

蠟魚は可成の程度でボルネオ沿海で發見せられる。又其外皮及卵も可成の貿易がある。鮫の鰭及尾は漁夫の採集する所で、此に就いても可成の市場があり、支那人の使用する所である。

美味なる牡蠣又各所で護られる。牡蠣の中岩に固着してゐるものは食用に供せられるが、マング

ロープの根とか、他の海藻の如きものに附いてゐるものは非常なる腸痛を來す事があるから避けねばならぬ。然しながら牡蠣の死したるときは無毒であると云はれてゐる。

木材を除く叢林物産は北ボルネオ輸出品中の大宗である。叢林物産とは木材を除く總べての林産物を指すのであるが、木林に就いては章を改めて詳述する。叢林物産は普通の場合に於て土人の蒐集する所であつて、支那人によつて販賣せられるが、北ボルネオで消費せられるのは極少量である。

籐

蒐集せらるゝ籐の量は頗る多く、廣汎なる區域に亘つて豊富に繁茂してゐる。籐は省籐屬に屬し刺を有する纏攀植物である。發芽前後に於ては直立してゐるが、數呎の高さに達すれば支柱を必要とせられる。此は鉤狀の刺を有する長き緞匍枝の助けを得て支柱にまきつき成長する。又非常なる長さをも有するものであつて、往々二百呎に及ぶ事があり、現今植物界にて知られてゐる最長植物である。使用せられるのは長い柔軟性に富んだ莖であつて或る種の籐は全體漏なく使用せられる。然し此の種は前述の如き大型のものでなくて、重に家具製造用に供せられる。籐は其光澤弾力性及強力の程度により、使用せられる方面が異なる。籐製作業は元來東洋にのみ行はれてゐたのであるが近年に到つて歐米の或る地に於ても行はれるに到つた。

籐は森林の中に廣く分布されてゐて、其成長も速かなのである。又明らかに確實なる繁茂力を有してゐる。其種類は頗る多いが、北ボルネオにて使用されてゐるのは中八種である。

ガタ・パーチャ

赤鐵科に屬するものでは汁液を出すものがあつて、之を固結すればガタ・パーチャと云はれるものとなる。之の液汁を得るために木は伐採せられる。此の爲め採液者は年々奥地に向はなければならぬから蒐集せられる量は、漸減する有様である。其採液方法については北ボルネオ・ヘラルド (North Borneo Herald) に次の如く掲載されてあつた。

「採液者は小さな木は其樹皮が薄いから充分にガタ・パーチャの採取出來ないと思つてゐるから、直徑約六吋以上のガタ樹を切り倒すのみである。従つて採液者は採液が非常に容易であるため絶える事なく又一回の充分なる收穫を得るのみで満足し、未來の供給を其れから得様とする様な者はない。採液者は十七吋の距離を置いて木理に到る迄樹皮を傷付け、其の下に液汁受けの竹片を置く。ガタ・パーチャの最も顯著な性質であり護膜と區別せられる特徴は、其れを熱湯中に入れる時には軟くなり且塑性性に富み、冷却後に於ても良く形體を保つ事である。冷却後に於ては再び固くなるが矢張容易に破碎されない。一方護膜は熱湯の中でも軟らかにならず又最初の弾力を有して居るのである。」

ガタ・パーチャは熱及電氣の不良導體であるから、海底電線被包用、外科器具の把手及齒科用に用ひれてゐる。

満足なるガタ・パーチャ代用品はまだ発見されないし、土人は採液する際にガタ樹を伐り倒すのであるから近き將來に其の植林を必要とされてゐる。馬來聯邦州では試験植林が着手され、満足なる結果を得た。

北ボルネオより最も多量に輸出されたのは一九〇一年であつて、同年中に價格二二四、四二八弗のものを輸出した。が然し此の輸出高は逐年減少し一九一八年の輸出高は僅か四、八〇〇弗に過ぎなかつたのである。

野生護謨

北ボルネオには護謨を含む數種の樹木及蔓草がある。其中或る蔓草は何處でも繁榮して居り、土人は之れより栽培護謨には比敵すべくもないが、土産護謨を採取し、可成の値段で販賣するのである。栽培護謨は土産護謨より品質は優良であり且統一されてゐるが、或る工業では特殊の護謨を必要とするから、其と混合せしむるため森林護謨は可成の需要がある。

北ボルネオの護謨樹の種類は十一あつて、其中では非常に惡質な護謨を生産するものがあり又餘り悪くて採液に適しないものがある。

輸出の最も旺盛であつた年は一九〇四年であつて十萬弗以上のものを輸出したのである。

樹脂・ガム及油

各種の樹木より滲出するガム或は樹脂はボルネオにてダマールと稱せらるゝものであつて、奥地種族の多數の男女及小兒は樹下の地面より此を採取してゐるのである。

ガムには種類があつて其中マタ・クチン(Mata Kuching)と稱せらるゝものは高價にて取引せらるゝが、多くは無價値で唯土人が光澤用に用ひるのみである。其の重なる用途はヴァニス及乾性油の製造に供せられるのである。

其の輸出額の最高年は一九一二年であつて價格十六萬弗に及んだのである。

樟腦

ボルネオ樟腦は結晶性樟腦であつてボルネオにてKaporと稱せられる Dryobalanops Aromatica 或は Dryobalanops 種の樹木の小洞より屢々発見せられる。此の樟腦は非常な價値を有するものであつて、支那人は之を香料或は醫藥用として珍重する。此の木は森林中でよく見つげられる所であるが、樟腦の出来るのは或一定の年限に達した木に限られてゐる。然し樟腦の小片は樹齡に拘らず何れの木にも発見せられる。

樟腦の採集に就いては土人間に頗る迷信が多いが、之は奥地地方の土人にのみに限られてゐる。

最初樟腦は油の形で存在してゐるものである。此の油は非常に高價なものであつて Kayan patch oil として有名であるが英國では之を Cadiapat と稱へてゐる。

樟腦輸出の最も旺盛であつたのは一九一五年であつて、此年には五萬弗以上のものを輸出してゐる。

桐油

Dipterocarpaceae の一種はボルネオにて Minyak Krui と稱せられる粘質油を産出する。此の油は燈火用、船塢填用、及醫藥用として用ひられる。或る所では、樹幹のコップ状をなせる所を掘り出して液が流出する所を採取する。流出が少なくなれば、火を點する。すると又多量に流れ出るのである。其他の木で桐油の採取せられるものはあるが多量の採取は出来ないものである。

植物性油

植物性油或は脂は數種の森林樹木の果實或は種子より採取される。土人は之を料理用のみならず Tengkwang と稱し燈火用及塗擦用に供する。此の油脂は惡臭を發する事なくして、多年の貯藏に堪ふるが故に頗る價值がある。

抹香樹

或る種類の木は燃やすときに、非常なる香氣を放つ部分を有するのである。此の木は抹香樹とし

て知られ宗教的儀式に使用せられてゐる。北ボルネオで最も有名なのは Gumi と稱せられるもので屢々 Conyocline 屬の木から産出される。之の屬は軟い、薄い色を有する木理を有してゐるが、小さな黒色心材を形成するのである。然し常に發見せられると云ふ譯ではないから發見されると、頗る珍重されるのである。別に少しく下級に屬するが Laka と稱ばれる抹香がある。之は Leguminosae 科の或る木の根から得られるのである。

沼澤産物

海岸地方の廣汎なる範圍に亘つて點綴する巨大なマングローヴ及ニツバ椰子沼澤は非常に有用な物産を包蔵する。小型から中型迄のマングローヴを總稱して云ふ Bakis は燃料に供せられ、或は小片にして香港市場に送付せられる。單寧酸を多量に藏有してゐる樹皮は染料として價值があり鞣皮用に供せられる。

ニツバ椰子は鹽水地域に繁茂し、マングローヴ林及陸地の間に介在してゐる。北ボルネオに於けるニツバ繁茂全面積は未だ計算されてゐないが、十中の八九、三十萬英反を超えと思はれてゐる。之の椰子の密生し且廣汎な範圍に亘つてゐる地域は、ラプック河及サンダカンよりタムビサン (Tambunan) に到る北東沿岸地方である。又東岸ダーベル灣及カウイ灣、西岸バダス河附近に於ても發見せられる。適當なる管理をすればニツバ椰子沼澤一英反より年四千ギャロンの汁液が採取せらるゝ

と推測される。若しアルコールの含有量が七・五物とすれば英反當三百ギャロンのアルコールが出来る事になる。既述の數字は比律賓よりの最近の報道によつたもので、比律賓ではニッパ椰子からアルコールを製造するのは古來から行はれてゐた。

ニッパ椰子の葉は十二呎或は以上に及び、羊齒の葉に類似してゐる。

其葉の用途は種々あるが、就中、家屋葺草に供せられ、多数の婦人小兒に其職を興へるのである。又庭も此れより製造せられ、若葉は土人煙草被包用に用ひられる。果實は食用に供せられ、莖及地下根を燃焼する時は鹽が得られるのである。

ニッパ椰子繁茂区域の上流、淡水の地域にはニボン椰子が発見せられる。莖は其儘に家屋の支柱、一時的の建物或は橋梁用に用ひられる。其裂片は床板或は筏組立に使用せられる。

燕巢及蜜臘

林産物の中に燕巢及蜜臘の事に就いて少しく述べ様と思ふ。

小さな雨燕の巢は土人によりスープを作るに用ひられ、白いものは非常なる價格を有する。雨燕鳥は石灰穴洞の高所、稀には數百呎の高所に膠質巢を作るのである。故に燕巢採集事業は非常に困難な且危険な仕事であり、慘事が時々出來するのである。

森林高木の枝に發見せられる蜜臘は頗る多量であつて其採取事業は北ボルネオの重要な産業で

ある。密蜂が其の巢を作るために選ぶ木は *Mengaris* 或は *Tapanu* であつて、蜜臘の採集業は困難且危険極まるものである。蜂は巢を高所に作るから其れを採取するためには粗糲な梯子を造らねばならぬのである。

最も輸出の旺盛であつたのは一九〇五年であつて蜜臘の輸出は二萬六千弗に及んだ。

カッチ

鞣皮材料の原料はマングローヴ沼澤樹木の樹皮であり、最も著名で且有用なるは *Bakan* 及 *Tengah* である。此の木は非常に高率な單寧を含有し、單寧引出原料に専ら用ひらる。其單寧を取引上カッチと稱する。

カッチは初め印度及緬甸に在る *Ancin* *Catechu* 木を原料として製造されたものであつたが、後年に至つて或るマングローヴ沼澤林中の木から同質の物が引出されるに到つた。マングローヴ沼澤は廣大にして且樹質が一定してゐるから大規模工場設立に非常に便宜であり従來製造されてゐた物より統一されたものが出來るのである。

北ボルネオに於てはバカオ・シンヂケイト (*Bakan Syndicate*) が一八九二年以來サンダカンよりカッチ輸出業を初め、現今に於て、カッチは他の農林産物中此に追従するものなきに至つたのである。一九一六年は輸出高の記録を作り五十萬弗に及んだ。

一八九七年に他の會社がマルヅ灣に於て設立されたが程なくして消滅した。一九一八年カッチの輸出量は船積の便がなかつた爲め一、六一二噸に減少したが、平時ならば其繁榮を見る見込は充分にある。

現在に至る迄バカオ・シンヂケートは其活動範圍を北及東沿岸地方に限つてゐる。

ブルネイのザ・アイルランド・トレイディング・カムパニーはクリアス三角州の讓與を受け同所にて事業を經營してゐる。

第六章 木 材

廣大なる北ボルネオ處女林の中、沿岸を去る二十哩の地點に有る商業林(Commercial Forest)は二百萬英反を超ゆるものであると林務當局は計算してゐる。此地帯に於ては、英反當二千立方呎以上の伐材をなし得る五萬英反に餘る地域所々に散在して居り、カウイ灣地域特にスルドン溪谷の或る所では英反當三千立方呎以上の伐材をなし得るのである。従つて北ボルネオは、市場需要が直ちに惹起する様な木材が、英反當二千立方呎づつ採取せられる森林を以て被はれてゐると云ふ事が出来る。

香港は北ボルネオ木材の主要市場であつて、殆ど丸太の儘で送り出されるのである。Serayah(ボルネオ杉)材は最も需要が旺盛であるが、斯くあるが當然である程、北ボルネオに於て最も多量に生産せられる。Kruin, Kapor, Selangan Batu 及 Biliian の需要も頗る多し、此島在住の米國専門家フォックスワージー(Foxworthy)博士は次の如く云つてゐる。即ち「北ボルネオの木材は現在に到る迄は絶滅に歸する程多量に輸出されて居らないが、充分に研究された結果、將來は東海岸地方から從來の三倍に當る十七萬六千英反の地域より伐切する事及斯くする事によつて何等の慮なしに數

年間現存する森林の伐切をなし続ける事が出来る」と云つてゐる。加之、十億立方呎以上の木材供給をなし得る見込みありと豫期されてゐる。

香港は耐久木材 Billian, Selangan Batu, Kruiin 及 Kapor の需要を確實に有するばかりでなく、又小建築用及家具用として Serayah に對する需要を増すものと期待されてゐる。從來濠洲はボルネオ木材の好市場であつた事があつたが、船便の杜絶したため不振に陥つた。然し將來に於て運送の便があれば回復する事と思はれる。

倫敦へはボルネオ杉と稱せられる Serayah が船送されてゐるが、將來に於ても益々増加する事であらう。又 Kapor 及 Argillo wood と稱せられる Selangan Batu も少量輸出せられ砲幅として使用せられる。

熱帯にて使用せられる木材は温帯の木材よりも耐久性を必要とするのである。連續的な高温及濕氣は有機物の發生を來し、従つて木質部を腐植せしめる。他に木材を襲ふ動物が多數ある。温帯地方の木材は若し東方に向け曬されてゐるなれば直ちに、腐蝕する。然しボルネオに於ては充分に耐久性があるわけではないが、温帯の氣候に堪へ得る木が頗る多い。

次の表は經驗によつたものであるが使用の方面によつて分類した。

鹽水に堪へ得る木材

木材はふなくひむしの好く所であるから、其耐久性を試みるためには杭材として使用するのが最上の方法である。現今に於てはふなくひむしの侵害を蒙むらない木があるや否やは疑はれてゐる所である。杭材として最も適當なるは Billian, Angriting (Grining), Bangkawang. 一名 Manglias, Dungun 及 Perapat であつて Aru, Oba, Pakau, Tengah, Selangan Batu, Rasak, Nibong, Kayu. Dusun も同様適當だとされてゐる。

船舶・ボート造船材

龍骨用—Dungun, Penaga, Selangan Batu, Angriting.

外は板用—Kapor, Selangan Batu, Kruiin, Oba Sulu.

肋材及肘材用—Penaga, Dungun, Miraban, Tengah.

櫓及圓材用—Bentangor.

土地と接觸する際に用ひらるゝ木材

此の目的に供せられる木材は腐敗及白蟻の浸害に耐へ得るものでなければならぬ。而して次のものが最適であると思はれてゐる。

Billian, Miraban, Nungun, Selangan Batu, Sasak, Kapor, Angriting

Selangan Batu は此の目的には最も適合してゐる木材であつて、然も多量に得られる。

橋梁及埠頭建設用材

橋梁用—Dungun, Mirabau, Perapat, Selangan Batu, Oba, Kapor, Krui, Aru, Kambang, Billian,

Angring

橋桁用—Mirabau, Parapat, Billian, Angring Kapor, Krui, Oba, Kambang

家屋建築材料

床板用—Selangan Batu, Krui, Sapetir, Mirabau, Perapat, Rangu, Oba, Kambang, Oba Sulu,

Kayu Pangiran

壁板用—Serayah 及其他の木材

戸及窓材料—Mirabau, Rasak, Perapat, Sapetir, Bintang, Rangu, Oba Sulu, Kambang, Nyatoh,

Krui, Kapor, Kayu Pengiran, Sariah, Gagil, Selangan Kacha, Selangan Kuning, Miamot, Nirih,

Selangan Batu.

家具用材料

部屋造作用に適するものは次の物である。Sapetir, Mengaris, Rengas, Sariah, Gagil, Selangan Ku-

ning, Selangan Kacha, Pulai, Jelotong, Oba Nyatoh, Madang.

次に主要なる木材に就いて少しく述べる。

Serayah(ボルネオ杉)は軟く且軽い木質を有して居り同國に於ては屢々見受けられる所である。其形體には種々あるが普通直径が五呎迄位あり又長さ八十呎のものも得られるのである。赤斑點を有し杉の如き香を有する。北ボルネオに於ての此の種類は五十有餘あつて、いずれも Shorea 屬に屬する。一立方呎の重量は二十五乃至四十封度あつて水に浮く。木理は非常に麗しく細工は仕易い。此の種のあるものは多量に樹脂を産出する。

Krui—は相當固い木質を有し Dipterocarpus 屬の十五乃至二十の種から製材せられる。重さは可成であつて燃れたる木理を有し暗赤色で、且多量の油脂を含有してゐる。本木は北ボルネオに於ては先の Serayah に次で多量に見受けらるゝ所であつて、東海岸森林の十一物を示めてゐる。一立方呎當重量は四十封度乃至五十五封度であり、直径五呎高さ八十呎を有するものがある。生木の時に於ては半數以上水中に沈むものだと云はれてゐる。Krui は強く且堅い木質を有してゐるが土地と接觸せしむるには適しない。而しながら適當な塗布料を施すときは頗る耐久性に富むのである。フックスワージー氏は此の木が多く廉價で且大きなものが得られるとといふ事を指摘されたが、實際斯の如き理由があるから、他日北ボルネオの建築材料は全部之が占めるであらう。

Urut Mala は—Parashorea 屬に屬する數種のものから出来る。Urut Mala は同國に豊富に有する所であつて木質部は薄灰或は桃色を呈してゐる。可成廣く分布されてゐて東海岸地方森林の九物を占

める。一立方呎當三十五乃至四十封度であつて、其丸太は水中にて浮揚する。丸太の直径が五呎位のもの及五十呎の長さのものは屢々發見せられる。此の木材は耐久性を有してゐないから、土地接觸の場合には用ふ事は出来ぬ。

Camphor—Camphor は Dryobalanops 屬の二三種より生産される。木質は可成堅く且つ重い。木理は眞直にして褐赤色を呈し、生木は樟腦の様な臭を有し液林と心材とは明瞭に區別されてゐる。立方呎當重量は四十乃至五十封度であり、生丸太の五十磅以上は水に沈む。建築材料としては種々の目的に供せられるが、但し水及土地と接觸する場合は腐敗し易い。供給は頗る豊富である。腦油及結晶樟腦は此の木から得られるのであつて藥用に用ひられる。

Selangor Kaeha—は北ボルネオの最大木より生産される。木質は薄黄色にして、軟く、可成の重量を有し、木理は眞直である。此の木は頗る廣い範圍に亘つて同國中に分布されて居る。一立方呎の重量は約三十九封度であつて水中にては浮揚する。用途としては家屋、家具の材料となる。

Ola Sulu—此木は暗赤色にして木理は細く、相當に固く且重い。心材は木理が非常に細いから家具欄間及建築材料に用ひられる。之はマホガニーの代用品となるが、不幸にも北ボルネオには非常に少いのである。此樹は染料に用ひられる。一立方呎の重量は四十乃至四十五封度であつて水中にては浮揚する。

堅木 (Very hard wood)—可成多く北ボルネオで發見せられる堅木は Billian 及 Selangan Batu である。

Billian (ボルネオ鐵刀木)—は暗褐色を呈し頗る重く且堅く、非常に耐久性に富む。此の木は大氣に曝さるゝ期間が長くなるに従つて次第に黒化する。一立方呎當重量は六十乃至七十封度であつて水中にては沈む。豊富なる點に於て東海岸中第五位に屬し其の六物を占めてゐる。直径二呎乃至三呎長さ百呎のものは屢々發見されるが、稀には此れ以上のものもある。之は直径十二吋の丸太に到る迄非常に有効に使用せられる。猶、非常なる耐久性及強力を有し、濕氣及温度の變化に堪へる事が出来るからボルネオに於ては最も著名にして且價格ある木材とされてゐる。又ふなくひひし及昆蟲の襲來には充分に堪へる事が出来、從來知られてゐる中に於ては最も堅い木であつて、頗る條件の悪い所に置かれても振曲する様な事はないのである。

Selangan Batu—は Shorea Hopoa 及 Isoptera Borneensis 屬の數種より産出される。非常に堅く且重く、伐採された瞬間に於ては黄褐色を有してゐるが、大氣に曝されると横断面は急激にさらさら光りながら黒變する。性質は非常に強く、屈曲性に富み且耐久力があり、烈ける時は長い裂片となる。廣汎に分布されてゐて東海岸地方では森林の五物を占めてゐる。一立方呎當重量は五十二乃至六十五封度であつて水中に沈む。直径五呎長さ五十呎のものは屢々得られる。

Mirahou—は東海岸に於て其の豊富なる程度は二十四番に位し木質は頗る堅く且重い。木理は粗雑であつて硫黄色を呈す。主として平地に繁茂す。一立方呎の重さは四十八封度乃至七十五封度であつて丸太は水中に没する。直径五呎、長さ五十呎のものは屢々得られる。之は頗る強く且耐久性に富み昆蟲の害を蒙むる事はないが、鹹水に接觸して使用する際には不適當である。

Angring—は堅く、重く、暗灰色を呈し、木理は細い。一立方呎の重量は五十封度で水中にては沈む。マングローヴ林にて屢々見受けられるゝ所であるが、土人は充分に成長せざるに先達つて伐採するを得策なりとしてゐる。然しながら直径二呎長さ三十呎位のものには充分に得られるのである。如何なる荒天の下に於ても其性質を變せず耐久力はピリアンに次ぐものとされてゐる。

Kayu Dusun—は頗る重く且堅く又暗褐色の美しい木理を有してゐる。東海岸地方では屢々見受けられる所であつて耐久性に富んでゐる。一立方呎當八十六封度の重量を有し水中にては沈む。直径一呎半以上のものは稀であつて又長さは八十呎乃至百呎である。

Mangaris—は前出 Kayu Dusun と同様頗る重く且堅い。其木理は粗雑であり、暗赤色を呈してゐて乾燥するに従つて堅くなる。東海岸地で豊富なる點では第八番目に位し、Tapang と稱せらるゝ事がある。又森林中では最大木の一に屬す。之は格別耐久性は有して居らず、燃焼も速かである。

以上述べたのは北ボルネオ森林に附いての概略であるが、之に依て見ると商業的可能性は頗る多いと云ふ事が出来る。一九一四年林務局の設立以來、森林資源に就いて種々重要な事項が究明された。従來伐採は二歐人經營會社及一支那人經營會社によつて行はれてゐたが、一九二〇年各國資本三十萬磅を有する英領ボルネオ木材會社(British Borneo Timber Company)は大規模に北ボルネオ森林を開墾する目的を以て新式製材機具を設置し、事業を開始したのである。

北ボルネオ木材に就て詳細及其の主要用途を知りたい人は、先のフックスワージ博士の記述に係り政府によつて出版されたパンフレッドを参照されたい。本章及前章の記述中、同博士著林務局報告第一號から借用した點が少なくない。

第七章 鑛 産

ボルネオ島の鑛産としては従來金、金剛石、銀、鉛、錫、銅、安質母尼、朱砂、石炭、鐵及石油などが挙げられてゐたが、現在では其島北部に廣汎な地域に亘り石炭、鐵、金及石炭の存在する事が知られてゐる。

石 炭

石炭層は西海岸ウエストン(Weston)附近のナルヤン(Nalyan)、マルツ、サンダカン兩灣岸及カウイ灣背後に發見せられる。カウイ灣奥地スルドン河の石炭は數十年前に於て既に開發せられた所であり、現在に到る迄數年間カウイ灣石炭會社(Cowie Harbour Coal Company)はシリムボボン(Silimpou)河畔で事業を經營してゐる。此會社は北ボルネオで石炭採掘をしてゐる唯一の會社であるが、經營上數次の難關を突破し現在にては確固たる基礎に立つてゐる。即ち最新式の機械が充分なる管理の下に取付けられ、年産額八五、五四四噸に及ぶ。同所の石炭は優良なる品質を有し日本海軍の用命を蒙つてゐる。採掘場はシリムボボン河數哩上流の密林中にあつて、採掘せられたる石炭は運送船航行に充分なる水深を有する所迄鐵道によつて運送せらるゝ。次でセバティック島貯

藏場迄送られ、同處にて大洋航海船に積込む。將來に於てはカウイ灣西岸の岬迄鐵道を延長し、以てセバティック島の現在貯藏場に代る計畫がある。

同所石炭の大部分はサンダカンに送られ、香港、新嘉坡より濠洲、爪哇及比律賓方面に航行する船舶に供給せられる。

シリムボボンに於ける石炭の埋藏量は八百萬噸なりと計算されて居り又同灣の支流スルドン河の上流地域には大なる炭層が存在してゐる。一九一八年サンダカンに於て石炭を大洋航路船に供給せる量は二六、七四五噸に及んだが、サンダカン及セバティックに斯の如き石炭供給の便がなければ大洋航路船の北ボルネオ經由はあつたと思はれる。カウイ灣の石炭は一四度一三の火熱、七、六八の灰及六〇の骸骨を生じ、スエズ以東に於て發掘せられる石炭中最良のものとされて居り印度及日本の石炭より遙に優れたるものとされてゐる。

石 油

石油の存在を示す徴候は同國各所で見られる所であるが、殊にクリアス半島、クダツ(Kudat)附近及カウイ灣で發見された。然し發掘權は英領ボルネオ石油シンジケート(British Borneo Petroleum Syndicate)の一手に屬する。深穿孔はキマニス半島の採掘權を有する同シンジケートに依て行はれた結果、頗る上級に屬するものが發見されたが、事業を擴張するに充分なる量は得られなかつた。或

る日本の有力なる會社が現在(一九二二年四月)先のシンジケートと契約を締結し、此の附近の石油層を探險してゐる。

金

金は東海岸、詳しく云へばダーメル灣附近に於て、沖積層中砂金の形で發見されたが其の形跡は全國到る所に在る。金の存在は早く一八一二年頃より知られて居り、一八九八年にはセガマ河に於て浚渫事業が行はれた。然し此等の會社も久しからずして事業を放棄し、現在に於ては大規模に採金事業は行はれて居らない。

鐵鑛其他

東海岸ラブツク地方に於ては鐵鑛の大埋藏地があり、又キャンバレイのものと同質なるブリュー・クラウンドが發見されたが、より以上の調査は行はれない。錫も又西海岸及奥地地方に存在すると云ふ事である。

多数年間、北ボルネオの鑛物探掘權は英國開發會社(British Exploration Company)に全部賦與されてゐた。マルツ灣の滿願探掘事業には全然失敗し、此會社のなせる事業は殆どないと云つて差支へない位である。最近同社の探掘權は勅許會社に回收された。然し若し同國內を充分に調査すれば收支の償ふ鑛物の發見は必ずあるだらうと豫期され且信じられてゐる。

第八章 農 業

農業は北ボルネオ産業中第一位に押さるべきものである。直接間接に農業は北ボルネオ住民全體に——と云つても少數なものであるが——生活の資料を與へ又政府の收入に獻與する所大なのである。現在の北ボルネオの發達は最近の農業發展に依るものだと云はれてゐる。

北ボルネオの農業上の發展は、其他の熱帯各地の例に於けるが如く、外來種の輸入に因るものである。外來種の輸入が必然的に北ボルネオ農業の發展を來すといふ事は勅許會社設立の當初より豫想されてゐたのであり、從て各種作物の試験的栽培は奧地テノム(Tanom)及東海岸シラムの兩地に於て行はれたのである。同國の氣候土壤は大多數の作物栽培に完全に適合してゐるから、栽培上には何等困難を感じなかつた。が然し産業上の基礎を築かんとする際に、新産業國は、競争上にハンディキャップを課せられるのである。即ち競争場裡の相手國は既に確立せる産業を有し、又商品に對する急激なる需要惹起せる結果競争の立消えになる様な場合が至極稀であるからである。

幸にも北ボルネオが歐洲人の領有に歸してからは此の二つのハンディキャップが取去られる様な事件が起つた。即ち第一に一八八〇年代に葉捲煙草栽培上に好景色が到來し、第二に本世紀の當初

より栽培護謨業のブームが来つたのである。多数年間煙草は北ボルネオに於ける主要農産物であつたが、十年前頃より其地位を護謨に譲つたのである。其故此處には護謨を筆頭に記述を初める。

護 謨

ペピヤ・ブラジルエンシスが世界各地に栽培せらるゝに到つた経路は實に興味深々たるものがある。約二十五年以前迄、商業上の護謨は全然叢林樹木及蔓草から得られてゐた。然し此等からの供給は需要を充分に満たす事が出来なかつたのは當然であつたから、キュー植物園(Kew Garden)の理事サー・ジョセフ・フーカー(Sir Joseph Hooker)は Hevea Brasiliensis 種の種を得るために伯刺西爾へ遠征隊を送る事を印度政府へ提議したのである。彼は遠眼を以て、此の種の栽培を行ふときは最も利益ある結果を得る事が出来ると思つたのである。第一回の試は失敗に歸したが、一八七八年に至つてウィクハム(Wickham)氏は伯刺西爾政府の監視の目を避けて多数の種子を持來したのである。

此の種子よりキュー植物園に於て成長した樹木は錫蘭及新嘉坡に送られた。苗の時より其栽培の任に當つたリッドレー(Ridley)は、總べての人が最初此の木から利益を見て護謨を採取することを嘲笑したと述べてゐる。然しながら試験的栽培は依然として繼續され、遂に一八九八年に至つて珈琲價格は下落し、護謨の需要が増加したため、馬來半島に於ける栽培者は護謨に其注意を轉ずるに至惹起したのである。

北ボルネオに始めて護謨が栽培せられたのは一八八二年であつて、新嘉坡植物園より送られて來たものである。又一八八七年錫蘭より種子が送られたと云ふ記録がある。然し此等早世の事實については確める事は出来ない。北ボルネオに於ては馬來其他の近隣國同様な熱意を以て此の栽培物を歓迎したといふ事は殆ど豫期する事が出来なかつたのであり、商業的規模で護謨栽培の開始せられたのは漸く一八九二年であつて、同年ウエイド商會(Messrs Wado)とラプンク河ボンギャ(Bongaya)に於て Mortgage Investment and Contract Corporation, Ltd. のために護謨栽培を開始した。商會は約二百英反の地域を焼拂ひ、英領北ボヘラルドに據ると唯七十五英反のみの植付をしたといふ事であり、同農園は一九〇一年に至つて賣買廣告が出された。一九〇〇年には錫蘭より持來された種子が政府の手によりラノムに於て栽培され、一九〇五年の末或は一九〇六年の始めに於て政府はエフ・イー・リーズ(F. E. Leese)氏に委託して此等の木の一部分の採取を開始した。此の植林地が現在ペノター農園(Penotal Estate)と呼ばれてゐる物の起原となつたのである。

一九〇五年に至つて護謨栽培は一般に商業上有望なる企業なる事が確められ、北ボルネオに於け

る廣亘なる地域も其栽培に使用せらるゝに至つた。同國産業の急速なる發展は資源開發上に必要な資本吸收の機會を與へたが政府の慧眼は此の機會を見逃さなかつたのである。當時北ボルネオの存在は比較的に世界一般に知られてゐなかつたから、投資者を吸收するために政府は特別の誘致條件を賦與したのである。其一つは、政府は五十年間輸出税の賦課を中止する事であり、第二には無生産期に於ての配當保證であつた。此の條件の下に設立された會社は十二あつて、其の端をなしたのは一九〇五年であり、一九一〇年に至るブームの時迄引繼いで設立された。全然勅許會社は其企業權を獨占しなかつた、即ち北ボルネオの大面積を所有してゐる北ボルネオ商事會社 (North Borneo Trading Company) は四つの從屬會社を設立し又各種の煙草會社は其面積の一部を護謨栽培に使用するに至つた。

(一)之の護謨は一九一七年六月一日以前に讓渡された護謨栽培地へ適用さるゝのみである。

北ボルネオ護謨栽培の發展は次の表を見れば明瞭になる。

年次	栽培面積	輸出量	年次	栽培面積	輸出量
一九〇七	三三三六	四七五	一九一四	三〇八五	一七二八四
一九〇八	五二四七	九六六	一九一五	三二〇六	二二五三三
一九〇九	六八六六	一六三三	一九一六	三三三六	二七五三三

年次	栽培面積	輸出量	年次	栽培面積	輸出量
一九一〇	一四七五五	五四六二	一九一七	三三〇七	五四七四七
一九一一	二五〇六四	一四八七五	一九一八	四〇九六	五八〇八七
一九一二	二九〇三五	二二〇九〇	一九一九	四七七九	八八三三三
一九一三	三〇一五六	一〇一七六			

一九一九年末に於ては二九、九七〇英反の地域が採液された。護謨栽培の行はれてゐる地域的大部分は二十三會社の所有に屬し、全資本額は三、五〇〇、〇〇〇磅に及ぶ。會社の大部分は英人の所有する所であつて、支那人及日本人は小面積を所有してゐるに過ぎない。其外北ボルネオ在住の商人、土人に屬してゐる小栽培地が多數ある。

護謨農園に於て使用せられる労働者は主に支那人及爪哇人であるが、最近に於て土人を使用する傾向がある。一九一八年に於て大農園に使用されてゐる苦力は一四、六七四人であつて、其中四十七名は支那人、二十六名は爪哇人、二十七名は土人である。

北ボルネオは今や護謨栽培に成功せる熱帶國の一として確固たる地位を保有するに至つた。其氣候は世界に於ける各國の氣候と同様栽培に適する。東海岸及奥地地方に於ては猶未開發の所があつて、利用の價値ある地域は充分にあり、此兩地域共近き將來に於て道路建設が初められる筈である。完成迄の東海岸に於ける交通は水運を利用する事が出来る。勿論撰擇上の判斷は何れの場合にも重

要な事であるが護謨の場合にも必要條件である。故に若し適當なる撰擇判斷があるならば探液は馬來、スマトラに於けるが如く早く且充分にせらるる事が出来るのである。現在同國に於ける健康状態は歐洲人及労働者共好良である。英領北ボルネオは英國保護の下に安定せる政府を有し上述せるが如き利益を有してゐるから、疑も無く、護謨生産國として有望なる將來を有して居ると云ふ事が出来る。

煙 草

歐洲人によつて煙草栽培が始められたのは一八八三年頃である。此に先達つ數年前の事であるがスマトラの或る地方は葉捲の上捲葉栽培に頗る適當して居ると云ふ事が發見され、其以來は現在デリ(Deli)の繁榮を致したる大規模な且利益のある産業が建設されたのである。

一般向に且スマトラで得られるより容易な條件で葉捲を得たいといふ欲望は栽培者をして北ボルネオを踏査するに至らしめたのである。氣候も又土壤も非常に優秀であるから、或る會社はサンダカン灣で事業を開始し、其生産品は英本國に於ける煙草専門家の稱讚する所となつたのである。此成功はマルツ灣及ダーベル灣で農園を開始せる人々によつて繰返へされたのであるが、斯の如き黃金時代を夢見て幾多の會社設立せられブームと稱してもよい位な發展を遂げた。各河灣に於ける一萬乃至四萬英反の地は煙草栽培に利用せらるゝに至り、一時はデリに對する有力なる競争者となつ

たのである。

不幸にも、總べてのブームに共通な特徴は直ちに現はれた。煙草の栽培には多數の管理者を是非必要とせらるるに掲はらず、之が充分ではなかつた。又此地方に於ての煙草栽培業は新らしく未經験のものであり、又土地の事情も充分に研究されてゐなかつたから、全然不向な地が撰ばれたのである。採事業を開始する段になつて彼等は巨大なる利益を夢見て、非常なる失費をしたのである。斯の如き有様であつたから、煙草栽培を目的とせる數多の會社が短命に終つたと云ふ事は驚くに足らぬ事であつた。

護謨農園の管理をしてゐるものは稀にしか受けない事であるが、煙草栽培の先驅者が當面せる困難に際し示した精力忍耐を彼等が忘れたのは狭量と云ふべきである。先驅者の意氣を挫くが如き物は全然なかつた。彼等は白人來踏の地を求めて同國の端から端迄踏破し、一度土地を發見したる際は、文化の域を距る等或は交通方法が全然ない或は幼稚であるなどといふ事は意に介せず、農園を開いたのである。例へば當時政府の威まだ行はれざる首狩人間にあり、收穫或は供給は二十哩の未開の山地を經なければならぬ所に、農園を設置した様な者もあつた。

上捲葉の栽培は綿密なる注意を是非必要とせられる。勿論土壤は豊饒でなければならぬが過度の肥沃は葉の成育が粗雑となり悪組織を生ずるから注意を必要とされる。又砂質ロームは其栽培上最

適であることされてゐるが、唯一度栽培しただけで地味を薄瘠させるから、次の植付迄は七年間を経なければならぬ。良質土は河岸附近で発見される。然しながら鹽質土は葉に採つては致命的なものであるから此亦注意せねばならぬ。例へば實際に於て數多の會社が、海岸近くの植付をなしたるため悲境に陥つた事がある。一定の理想的な土地があつても雨がなければ收穫に影響する。又土地及水二様の條件が具備してゐても専門家の間斷なき注意の缺けたる場合は市場に賣出されるに先達つて惡質化するのである。毛蟲の被害を受ける事もある。此の被害は過去に於て屢々惹起したが科學的方法の採用せられるに當つて漸減した。葉は綿密に摘み取られ、一定の日迄に成熟させなければならぬ。乾燥、酸酵は緻密なる注意の必要とせられる工程であつて、其の市價を高かゝらしめるためには形色及栽培草の状況によつて選別をしなければならぬ。途中の困難は實に大きいが、成功の曉には莫大な利益が得られる。經驗的な管理さへ行へば煙草栽培業が先例のあつた様な投機的な性質を帯びてゐない事は、北ボルネオの一煙草會社が十一年間も其事業を經營してゐるに據らず唯一期だけ損失を見た事によつても證せられるのである。現在北ボルネオで事業を經營してゐる煙草會社は三にして、一九一九年に於ける栽培地域は九九〇、面積一、三九九英反を占め全收穫は一、八五七、三八〇封度であつた。

將來に於て煙草業の競争者の現はれるのは確なる事實であらう。何となれば、現在に於て知り得

る範圍では、北ボルネオは英領に於ての唯一の煙草栽培地であり、又事實最良なる上捲葉の生産せらるゝ國としては蘭領のスマトラと共に世界有數の地位を占めてゐる。加之、スマトラに於ては種種な原因からして煙草栽培面積は漸次減少するの有様である。然るに一方北ボルネオの大河流域の土地は優秀な色及組織を有する葉の生産をなし得るのである。先驅をなせし會社の遭遇した困難は種種あらうが、其中或る物は交通通信の發達と共に除去せられ、長期に至る經驗は土地の状態をよく承知せしむるに至つたから、將來の栽培者は先人のなした蹉跌を免ぬかれる事が出来るのである。北ボルネオ土人の大部分は因襲久しき葉巻吸飲者であつて、上捲葉として使用せられる特種なものが歐洲の手に依つて輸入せらるゝ迄、自家用に供する煙草を栽培してゐた。奥地民族は其必要なものを充分に生産した。最も人口の稠密な沿岸地方の需要は中部ラナオ郡の土人が之を充たしてゐる。ラナオ郡の煙草栽培は其地方での重要な産業なのである。彼等の行ふ煙草仕上行程は頗る單純なものである。即ち酸酵などの行程を経ず直ちに太陽に照し次で竹の小刀で寸斷するのみである。消費者は普通椰子の葉から製造した紙を使用する。同國に於ける煙草栽培業は其需要増加に比例して増加を見ないのは歐洲品其他の廉價なる物が多量輸入されるからである。北ボルネオの生産を奨励するために、七人煙草を輸入された物と同様な葉巻にする試験的製造が行はれたが其結果非常に有望な事が立證されたのである。

古々椰子

古々椰子は久しき以前より北ボルネオ土人の栽培する所であるが、東洋各地に於けるが如く歐洲人が其栽培を初めたのは比較的近年に屬するのである。此の栽培の安全さに對する世間の考へは此が東洋に於けるコンソル公債と稱せられて居る此の一句の中に包括されてゐる。斯の考は皆一樣に有してゐた事であつたが、護謨に熱中してゐたため閣却され勝であつたのである。然しながら二兎を追ふ事は賢明なるやり方ではなかつたから、北ボルネオの將來を刮目して見てゐた者は古々椰子が此の兩者の中將來に於ては利益であるとしてゐた人をば歓迎しなかつた。

植物油が常に世界最要のもの、一つであると云ふ事は確實であつて、同時に古々椰子が此の供給の根源をなす事も明確なる事實である。大戰の終了と同時に、識者によつて久しく叫ばれてゐた事であるが脂の缺乏は直ちに感せらるゝに至つた。古々椰子油の需要は驚くべき速度で増加を見たのである。故に價格は本質的に上昇し、戦時中船艙の都合が付かないために悲觀時代を経験した古々椰子園の所有者は豊富なる收穫をなすに至つた。バター代用品が戦時中使用せられ、動物性油は次第に不足を告げたがため、古々椰子油は多大なる需要があり依然として同産業は繁榮を續けたのである。

北ボルネオに於ける古々椰子栽培は近年長足の進歩をしたのである。一九一四年の栽培面積一一、

七〇〇英反に比すれば一九一九年の其は二四、九四六英反となり多大の發展を示した事が明瞭となる。一九一九年の輸出はコブラ一、五七九噸及椰子果約五十萬箇に及んだ。此の數は近き將來に於て、最近植付けた木が結實期に達したら、増加するものだと思はれる。

農務局の官吏は土人栽培園を歴訪して古々椰子甲蟲其他の害蟲驅逐を強制し、又處理に對して適當な注意を與へるのである。巡視官の任命後土人の栽培は明らかに進歩を遂げた。

政府は古々椰子栽培を非常に奨励し、椰子栽培に使用せらるゝ資本金運轉上に殆ど困難を感せしめない様に、土地の讓與に關して或る特惠的な條件を許可してゐる。即ちプレミアムは必要とせられず又最初五年間は英反當五十仙其後は土地の位置及地味を參酌して二弗五十仙乃至三弗の地代を課して居るのみである。古々椰子は普通程度以上の肥沃さを必要とする。適當なる地は北ボルネオ全體に亘つて發見せられるが、栽培を志す人は最初マルツ灣及東海岸地方を着目する必要がある。又パンギール島には廣汎なる範圍に亘つて椰子栽培に非常に適合した所がある。

阿弗利加油椰子

中央亞細亞に於て漸次栽培せられんとする古々椰子の競争對手は阿弗利加油椰子である。後者が結實期の早いといふのは非常なる得點であり、一方此の油に對する需要は増加しつつある状態である。現在西部阿弗利加に於ける土人は油を野生の状態なる椰子より採取してゐるが、護謨に於て其

例を見るが如く、若し適當なる管理をなし、最新式の機械設備及交通の便を整へる時は經濟的になし得ざる理由はないのである。

油椰子の北ボルネオに輸入されたのは一八八三年である。當時同椰子が商業的價値を有してゐる事は疑もなかつたが、此は歐洲人の注意を引かず、支那人及土人の小栽培にも適してゐない觀賞樹としてのみ廣く北ボルネオに分布せられたのである。依是觀是、同國の各地は此の繁殖に適してゐると云ふ證據となるのである。

纖維

繩索製作用に供せられる重なる纖維である馬尼刺麻及サイザル麻は共に北ボルネオに於て栽培せられてゐるが、未だ試験的栽培の範圍を出でない。

馬尼刺麻は優秀なる強力及光澤を有するため繩索製作用には最も適當して居り、又海水に因つて惡質化する事がないから特に海上繩索に使用せられる。近年に至つて其最良品質を有する物は婦人用帽子製作に供せらるゝに至り、其需要は頗る増加し市場品薄を來したため價格益々昇騰を見る様になつた。穀物の東は馬尼刺麻絲で結ばなければならぬから穀物收穫機の輸入は馬尼刺麻栽培に大刺戟を與へた。又サイザル麻は大部分此の目的に使用せられ、一方馬尼刺麻の中心に屬するものも頗る多く使用せらるゝ。米國に於ける穀物栽培の異常なる發達及歐洲諸國が農業上に新式方法を

採用した事は馬尼刺麻の需要をして益々増加せしむるものである。

現在墨西哥はサイザル麻生産の點に於ては世界各國を嶄然凌駕してゐるが、比律賓は馬尼刺麻の獨占權を有してゐる。然しながら兩國共政治的に安定を缺いてゐるから、麻栽培に投資せんとする資本家は勢ひ他に其投資地を選ばなければならなくなる。

疑もなく北ボルネオの或る地はサイザル麻の栽培に非常に適合してゐる。サイザル麻は過度の降雨を好まないと云はれてゐるから、鐵道終點迄の奥地の比較的乾燥地が栽培上完璧に近いと思はれる。同所の地味は頗る肥沃である。土人の住んでゐる地方では何の栽培も出來ない土地に、サイザル麻を栽培して利益を得てゐるが、然し地味のよい所は矢張り物が得られた。一九二〇年四月十六日の北ボルネオ・ヘラルドの筆者は一噸當生産貫十六磅と計算してゐる。地味の豊かな所では播種後三箇月にして收穫し得る。

野生芭蕉であるマニラ麻は栽培上頗る綿密なる注意を必要とせられ、従つて比律賓以外の熱帶地では栽培する事が出來ないのである。地味も肥沃でなければならぬが、其外に高温及湿度と適當なる降雨を具へてゐる氣候を必要とする。栽培成功上に最も必要な條件は、北ボルネオが最優良馬尼刺麻生産地たる比律賓群島の南方近くにある所からして、同國の大部分にも具備されてゐる譯である。タワオに於て試験的に栽植された馬尼刺麻は良成績を擧げ、若し馬尼刺麻が比律賓以外の地



麻ニマノ久原農園のヲマ

に栽培せられる事がある際は其は北ボルネオであらうと思はれる。馬尼刺麻栽培に適し政府より容易なる條件で譲渡を受け得る地は北ボルネオに多数残されてゐるのである。

カボック

カボックは silk-cotton 樹の樹から得られた毛であるが、將來に於ては重要さを増すものと豫期されてゐる。此は家内裝飾及蒲團、枕、蓆の填充用に使用せられる。此の目的に使用する時は他の追従を許さないのであつて屈曲性に富み、使用しても光澤がなくならない。水中に在つては其重量の三十倍のものに堪へ得る事が出来るから、救命器及短衣製造には非常に重寶なものである。之は紡ぎ難い缺點があるが、將來に於ては必ずや此の缺點を除去して織物と

れるであらうと思はれる。

カボック樹は北ボルネオの各地方に於て土人の栽培する所であるが、從來其儘海外に輸出されてゐたから何等栽培上の進歩は遂げられてゐない。クリーランドされたカボック見本は最近本國に送付されたが、最高價を稱へ、種子の見本も評判が宜かつたのである。又一倫敦會社は北ボルネオのカボック發展に深大なる注意を拂つてゐると云はれてゐる。

少量物産

珈琲は北ボルネオに歐洲人が最初に傳來した産物の一つであるが、馬來に於けると同様今日に於ては、崩落の運命に遭遇してゐるのである。然して其栽培は北ボルネオ國內の需要を充たすに過ぎず、主として支那人によつて行はれてゐる。栽培されてゐる種類はリベリヤ及ロプスターであつて双方共好成績を擧げてゐる。

藍はタワオ日本人農園に於て間作として栽培されてゐる。染料採取工場は既に設立せられ、高級な物産が得られてゐる。

胡椒は或る時は大規模に栽培されてゐて、クリアス半島ブンヅ園は此の點で有名であつた。今日に於てもサンダカン附近に於て小規模に栽培されてゐる。

ココアはサンダカン附近セガリネード (Segalind) 河沿岸の土人所有に屬する山林森の中に栽培さ

れてゐる。同地方に於けるココア樹の成育旺盛にして形大きく且多量の收穫を齎す點より見れば、適當なる管理さへ行はるれば必ず豫期の成績が擧げられるのである。茶は中部地方に於て可成の程度迄栽培されてゐるが、勞働賃銀の低廉なる所では商業的産業となり得る。

タピオカ、落花生、王蜀黍、甘藷は土人及支那人によつて栽培されてゐて國內の需要を充すに過ぎない。都會附近の良く整頓された支那人經營園に於ては各種の熱帯草木が植付けられてゐる。トマトは海岸附近の各地では完成に成長し、果實が約一封度に及ぶのも稀れでない。

北ボルネオは果實に富む。パイナップル、マンゴー、ライム及芭蕉の外に二、三種の蜜柑が得られる。

米

多くの方面から見て、米は北ボルネオに於て重要な作物である。其の米作面積は其他の作物植付面積よりも大にして、其栽培には重に土人が従事し、土人及外來者いすれを問はず同國住民の大多数に主要な食料を供給する。

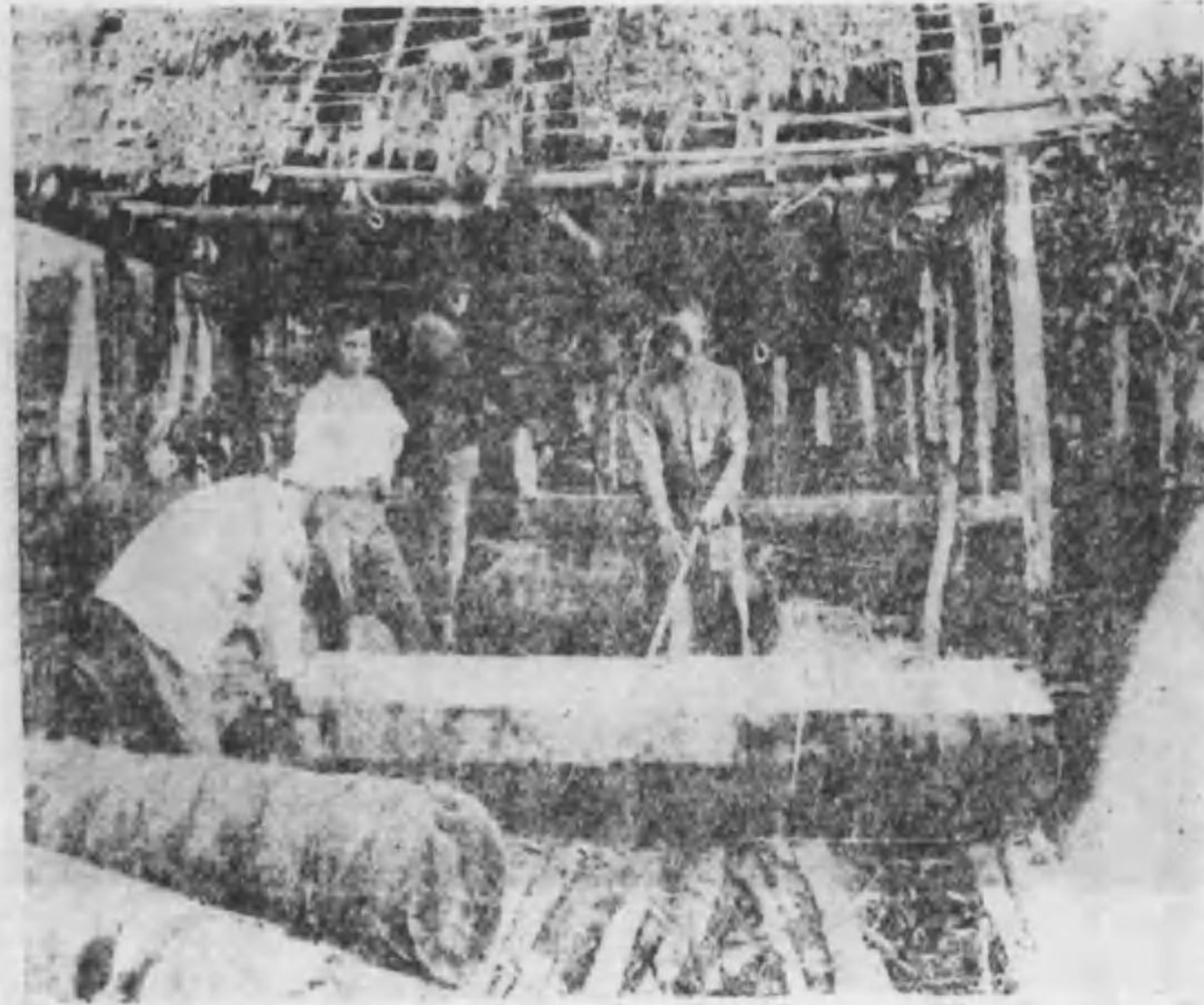
栽培せられてゐる稻の種類は二つあつて、双方共全く異なつた方法で成育せられる。平原に於て特に海岸近くに於ては水稻が採用せられる。土地は犁き返して、耙にてならさねばならず又苗代にて播種成育されたる幼芽は常に水を堪へ、豫め用意されたる地に移植される。山岳地方には陸稻が植



付 植 稻 水

付けられてゐる。最初叢林を切開いて、焼却し、地上に穴を作り、幾つかの種子を其穴に投ずる。二三次收穫を得た後土地は遺棄されて他の肥沃なる土地が選ばれる。斯の方法をラタン法(Lathing System)と稱してゐるが、斯が従來採用されてゐたため、價值ある大部分の森林は赤裸となり、漸次農業的の價值を失ふに至つたのである。即ち此の方法は同國の資源を破壊するものと云ふ事が出来る。然し殆ど最少限度勞働力しか要しないため、未開の土人間に於ては好評を博してゐる。

水稻の毎年植付面積は二六、五〇〇英反であり、陸稻のは三、二〇〇英反である。精米年平均産量は約一二、〇〇〇噸であるが、之は同國需要の半分を充たすに過ぎない。北ボルネオをして自供自足の國たらしめるは望ましい事である。戦時中米作は



西穀樹皮剥奪の光景

米價が或る一定の標準を保つてゐたため非常に生氣付けられたのである。現在は灌漑制度によつて米作振興の方法が講せられてゐる。

西穀

商業上の西穀は二種の椰子の髓から得られる。此の椰子は北ボルネオ土産であつて、其栽培は西海岸の或る地方では頗る重要な産業となつてゐるのである。北ボルネオは米の代りに西穀が主食物とされてゐる、彼等の住んでゐる家屋は全く西穀椰子の莖、葉柄及葉で作られてゐる。

西穀椰子は沼澤地に成長し、成熟期に達するには八乃至十二年を必要とせられる。成熟期に達せる西穀は莖の頂上から多くの

花序を出す。西穀椰子は一代かゝつて貯めた澱粉を果の方へ送り、果實すると共に枯死するのである。花が出来る直前に土人は木を切り、莖を適當の長さにし、鋸屑の様な髓を削り出す。此から後に水浸されて澱粉が得られるのである。削取りは沼澤の中或は附近で行はれ、次で削出物は支那人經營の工場に送られる。同所にて髓は精製されて西穀粉となるのである。眞球西穀は其の粉を湿めらして後、小粒になる迄、金巾の布上にて搖られ次で淺き鐵皿の中にて炒られる。

北ボルネオに於て西穀の成育してゐる土地は約四千英反だと計算されてゐる。年輸出平均量は三、五〇〇噸であつて、加之、頗る多量が北ボルネオで消費されてゐる。一九一九—二〇〇年に亘る米の不足の際に於て、西穀は土人のみならず農園に使用されてゐる外來苦力に行つても、最も價値ある豫備食料なる事が證明された。

北ボルネオの西穀産業は大發展をなし得る。土人の行つてゐる澱粉採取法は頗る無駄を多くするから機械の輸入された時は數倍の増産があることと思はれる。現在に於ける西穀椰子は害蟲被害のため漸次形が少さくなつて行く有様であるが若し土人が適當なる注意を拂ふときは充分に被害を免ぬかれる事が出来るのである。

此問題は同國政府當局の注意を漸次喚起せんとしてゐる。

第九章 行政

本州政府は總督の統治する所にして、總督は倫敦なる重役會 (Court of Directors) の決議に基き各種の法令を發布する。其下に總督官房及約百人の英人文官ありて總督を補佐する。

オルコック・カンリーフ・デント・デューハースト・エルフィンストーン・ケッペル・マーチン・メイ・イン・マイバーグ及クラーク (Alcock, Cunliffe, Dent, Dewhurst, Elphinstone, Keppel, Martin, Mayne, Myburg and Clark) の十地域よりなる同國は行政上五つの理事廳 (Residency) に分たれてゐて、理事廳行政は理事官 (Resident) のする所である。又理事廳の下に十八を數ふる郡 (District) ありて、地方官 (District officer) 或は地方官補 (Assistant District officer) 其行政を委任されてゐる。同國の執政は司法局 (Judicial Commissioner) の統一する所である。總督は判事長 (Chief Justice) であつて、五名の判事より成る高等法院 (High Court) を統轄する。又九名の理事廳裁判官及第一級・二級及三級の判事あり。

印度刑法・民法及施行法は殆ど全文の儘同國にも施行されてゐるが、よく其國情に適合する様である。必要とせらるゝ場合には前述法律の補足として立法審議會 (Legislative Council) の審議を経て總督令を發布する。此外に土人法の立派なものがある。初め同國がブルネイ及スールーの兩王より贈與された當時、政府は土人法及權利を尊重すべしとしたのであり、實際此約束は現在に至る迄嚴重に守られた。此に關連して、土人法及習慣上の問題を處理する土人裁判所設立された。此の裁判所の判事は政府の認めてゐる土人會長及頭目であつて、此の判決を不服とする者は地方官委任裁判所に控訴し得る。政府の認めてゐる會長は既述法上の制限司法權を有し、其統轄區域内に於ては公秩善風を維持する權限を與へられてゐる。

總督は九名の官吏及四名の非官吏よりなる立法審議會に依つて補佐される。又外に土人の重なる會長よりなる土人諮問會議 (Native Advisory Council) 及土人民法を討論する地方審議會 (District Council) がある。

五名の英人、七名の土人將校及七百五十名の下士より成る巡憲隊ありて、駐在所は各所に散在す。其主勢力は印度、シーク及バサン人であつて、一部同國土人を採用してゐる。土人の巡憲兵たらんとするものは自由に申込み事が出来、或る期間の訓練の後適當なりと認められたる者は採用せられる。巡憲隊は機關砲及小砲を以て武装されてゐる。本部はジャセルトンのパツライガ (Batu Tiga) に在る。

歳入の財源は主に認可料、關稅及消費稅、土地代、森林收入其他である。重要なる都市の衛生部によつて地方稅が賦課されて居る。或る地方では人頭稅が存在して居り此の稅はサルタン統治時代の遺物である。此外歳入の根源をなす各種の項がある。

先に例べた五理事廳はサンダカン・西海岸・中部・クダット・東海岸理事廳であつて、其州廳所在地は各々サンダカン・ジエセルトン・テノム・クダット及タワオである。

行政を委任されてゐる政府官吏駐在所は次の通りである。

サンダカン理事廳—サンダカン・ラマツグ(キナバタン)・クラガン(ラブック及スグット)。

西海岸理事廳—チュアラン・コタベルッド・ジエセルトン・ブタタン・ババー・ブユーフォート・ムバクル・シビタン。

中部理事廳—テノム・ケニンガオ・タムブナン・ラナオ・ペンシアンガン(蘭領境界附近)。

西海岸理事廳—タワオ・シムボルナ・ラハッド・ダツ。

クダツ理事廳—クダット・タイムバン・バツ。

加之、多數の準駐在所(Sub-District office)あつて其處には少數の巡憲及土人書記が駐在してゐる。以上に依つて明なる如く、行政官吏は同國の各部分に駐在してゐて、土人のみならず歐洲人と常に接觸を保つてゐる。總督はジエセルトン及サンダカンに交互に駐在する。此兩市は亦各局長官の駐

在する所である。...

...

第十章 狩獵及動物

猛獸狩獵

世界中何れの地を問はず、猛獸狩の困難は漸次増加しつつある。狩場は漸次文明の影響を蒙つて減少を見てゐるが、北ボルネオに於ては然らず、まだ猶好良なる狩場を發見し得るのである。

北ボルネオで猛獸狩と稱せらるゝものは象・犀・野牛・鹿及豚である。

象

象は北ボルネオ南東の大部分及東部の奥地に亘つて發見せられ、總督官房の特可を得て狩獵する事が出来る。象は北ボルネオ在來のものでなくて、英國東印度會社時代に、ジ・ホール王からスールー王へ送つて來たものの後繼であるといふ。此説に付て、スールーは斯の如き大きな動物を飼つて置く餘地がないので、ボルネオ沿岸地方の其所有林中に放飼し、同所に於て野生倍加したものであると云はれる。之の説が正しいか正しくないかと云ふ事は議論の餘地があるが然し實際ボルネオ島北部の東岸に多數の象が存在してゐるのである。

タスカール象は大部分を占め又牙も相當の大いのを有し、印度のものと同様なる質を有してゐるが

阿弗利加のものよりも劣る。故に相當な費用で此を得様と欲する者は面白い狩獵が出来る。普通の場合象は三十頭或は此の以上の大群をなし、土人の栽培物に大害を與へるのである。彼等は大旅行者であり、場所から場所へさまりよく旅行する。象狩遠征は充分に報酬のあるものであり、頗る多數の歐洲人は何れの場合に於ても愉快なスポーツをする。最も面白いのは叢林の中に踏込んで遠征をする事であるが、充分な時間のない人はジندگان・タワオ或はキナバタンガン河附近に於てすべきである。然し當國の象は如何な努力をなしても馴れないといふ。

犀

犀は北ボルネオ大叢林の大部分に亘つて發見せられ或る所では非常に多い。ボルネオの犀は阿弗利加のものよりも少さいが、其狩獵は非常に興味あるものがある。此を狩獵する際には總督官房の許可を必要とされる。角のみならず其の内臓に至る迄大部分は支那人間に於て藥用に用ひられるため非常なる需要がある。

野牛

野牛は形體が大きく、總べてのものを考慮に入れる時は最も興味ある狩獵である。其種類に二ありと云はれよく問題になつてゐるが、肉の點から見ると西海岸に居るものと東海岸に居るものとは種類が異なつてゐるらしく、前者は若き時には風味があるが、後者は不味である。

此動物は北ボルネオに於ては Tembuluhun, Izinging, Seladang 等稱せられ、暗褐色の毛を有し、馴致性を有してゐない。然しながら大きな形に成長し、非常に格好の良い角を有してゐる、時々其基部に於ては非常なる厚みを有してゐるものもあるが、普通廣がつてはゐない。其の發見せらるゝ時は重に小群集をなしてゐる。雄は傷付いた場合には特に危険であつて、何等の刺戟を受けなくつても人に襲ひかゝるのである。然し此んな事は至極稀であると云つてよ。Tembuluhun は草地を好み、土人の清野せる跡に於て屢々發見せられる。然して野牛の狩獵は容易ではない。即ち野牛は臭覺力が非常に發達してゐるから成功をするためには熟練を必要とせらるゝ。

鹿

北ボルネオに於ける鹿はサムボー(頭に鬣のあるもの)キャン(一名バーキング・デーヤ)及マウスデーヤの三種である。が然しながら最後の鹿は餘り少形である、猛獸狩の中には入れられない。サムボー鹿一名ルサ鹿は頗る大きな鹿であるが其角は印度に於ける同種の角の様に大きな廣がりをも有してゐない。サムボー鹿狩は銃銃所有の歐人及槍、犬を有する土人に非常なる興味を有せしむる。此は全國を通じて發見せらるゝ所であり。又黄昏時には草を食むために森林中を出づる事あり或は海濱近くに現はるゝ事がある。

最も興味ある狩獵場はラブアン島の對岸メムバクルである。メンバクルは所々に綴在せる叢林を

有する草地であり無數の鹿同所に棲息する。又北ボルネオでは至極稀な事であるが、此處で長距離射撃をなし得る。

又テムバスタク地方に於けるサムボーは山岳バジャオ人の槍によつて狩取られる。屢々土人は犬を逐使して鹿を罫に陥れて捕獲する。

野豚は無數であつて、形色ともに種類多く、其多くは巨大なる牙を有する。常に彼等は垣のない土人所有園に莫大なる損害を及ぼすから、土人は槍及犬を使用して彼等を狩るのである。ムルツト族の大部分は熟練せる狩獵者である。

土人犬の一團を使用して、徒歩で野豚を刺し止めるのは、頗る面白い遊戯であつて、印度の小馬に來つて狩獵するよりも數等細心の注意を必要とせらるゝ。土人犬は鋭敏な臭覺を有し賢明なるものであつて、大きな豚を押し込めて行く其方法は實に巧砂なのである。

奥地地方の土人は豚及鹿を捕へる際には竹のバネ仕掛になつた陷阱を用ふる事が屢々ある。

狸々

普通 Orang Utan 等稱せらるゝ Mains は巨大なる似人猿である。其種類に二あり。一は非常なる身長を有し恐るべき力を有するものである。然しながら其分布は狭く大森林に於て發見せられるのみである。外形は頗る獍猛であるが、此方から攻撃をしなければ何等手出をしないと云はれてゐる。

若い猩々は屢々窩中に發見せられ馴される事があるが、然し長ずるに従ひ其本性に立歸る傾向がある。或る場合には體軀が大きく且強力であるため愛飼用には適しないのである。

此は同種族に對する結合の念強く叢林中に一家族を作り巨木の梢に巨大なる巢を作つて生息する。

熊

熊は極稀である。北ボルネオに於て發見せられるのは馬來熊に屬する物の中二種であつて、人に襲ひかゝらない點では頗る安心であるが陰險なる動物である。形も少く、最も大きいのもレトリパー種の犬程である。然し其長爪は土人間に非常に珍重せられる。若き熊は屢々窩の中に發見せられるが、長ずるに従ひ漸次獍猛となり、適當なる愛玩物にはならない。

豹・豹

豹はボルネオに存在すると云はれてゐるが同島の北部に於て實存するか否やと云ふ事はまだ疑問の範圍を脱しない。又同國にある木登り豹或は虎 (Tree Leopard, Tiger) は二種あつて美麗なる斑紋を有してゐるが、形に少く又至極稀にしが發見されないのである。

小動物

上述せる以外に森林中には、スポーツマンより自然博物學者に採つて興味ある幾多の小動物がある。

る。

猿は北ボルネオの各所で發見せられ、時には歐洲人の臺所に迄侵入するのである。長鼻猿は各地に見られる所であり、東海岸には特に多い。然して之はボルネオ島特有のものどされてゐる。又手長猿にも種々あつて、愛好する人には、非常に良い愛玩物である。未だ此外に麝香猫・ムユースン (麝香猫の一般的名稱) 川獺・鏡鼠・豪猪・各種の栗鼠・狐蝙蝠・各種の蝙蝠・狐猿及其他のものがある。

爬蟲類

鱷魚は野生動物の中最も危険であつて、満干の差ある河川に棲息し巨大なる形に達するのである。彼等が水浴中の人間に襲ひかゝるのはよくある事であつて時には小さな土人丸木舟を顛覆する事もある。或る種族は鱷魚に特別な尊敬を拂ひ、普通の場合には、鱷魚が人間を運び去つた時を除いては何等彼等を騒がす様な事をしない。然しながら若し人間を運び去つた場合には面白い勝負が始まる即ち土人は棒で鱷魚の咽喉をしめる様な仕掛のしてゐる固有な方法を用ひる。

蛇の種類も多く或るものは有害であり、或は無害である。然し、蛇の咬傷を受けたり、死亡したりする様な事件は滅多に起らない。一體蛇は何等此方から危害を加へなければ害をしないものどされてゐるが眼鏡蛇の一屬或はキング・コブラは例外である。

大なるにしきへびは森林中に發見せられ或るものは三十呎に及ぶものがあると云はれる。大蜥蜴は外見は恐ろしいが、誰に加害をするのみである。

小狩獵

北ボルネオに於ては小狩獵の目的物となるものは少ない。雉とかスマトラ雉は叢林中に發見せられるが小狩獵の目的物とならず一般に土人は毘を用ひる。就中、此の點に於てカダヤン人は最も巧妙であると云はれる。

或る季節になると多くの場所であをばど・鷓鴣・むなぐろしぎ等が發見せられる又西海岸の沼澤地では鴨の押寄せてくる所もある。トールス海峽の鳩及ハーガム狩獵は或る此方で行はれてゐる。ハーガムは英國の野鳩に似てゐるが、すつと形の大きなものである。

兎狩の如き狩獵については何等記述するに足るべきものがない。

魚

北ボルネオの河は魚族で充たされてゐるが、歐洲人は此をフライにする様な事は殆どない。又遊獵として此の方面に面白い物が得られるか否やと云ふ事も疑問である。河魚は不味にして到底口に合はないのである。

家畜

犬は普通によく見られる所であり、狩獵に使用せられる。又豚も支那人及非回々教徒によつて飼養せられ、一方西海岸に於ては牛及水牛が養はれる。山羊も亦多くの村落で發見せられ、小馬はラムバスタク及ババー地方に於ては大規模に飼はれてゐる。

第十一章 主要都市

ジェセルトン

ジェセルトンは海に臨み、北ボルネオ官有鐵道の終點である。同市はガヤ灣に面しガヤ及セパンガ島によつて護られ、海陸共に雄大なる眺望を有してゐる。

ジェセルトンは新嘉坡航路船の寄港地であり、サンダカンと共に政府廳舎の所在地として知られてゐる。即ち大部分の局及警務局の所在地なのである。

同市は公共營造物・商館及支那人店舗よりなり、道路又整然としてゐる。同市背後の山陵には歐洲人住宅あり。同地には現代式にして良く設備の整つてゐるホテル、テニスコート附の歐洲人俱樂部及クリケット・フットボール用の遊園地がある。然してフットボールは各階級を通じて非常に興味がられてゐるのである。

道路及建築物の大部分には電燈點せられ又製氷工場もある。供水設備としては、最近同市を距る四哩の地點に、貯水池が設けられた。

ジェセルトンは設備萬全せる病院及歐洲人患者用の病室あり別に駐在の醫師及看護婦が居る。

同市を貫通し土人村を経て英國及羅馬長老教會に至る道路はゴルフ・リンクのあるパツ・タイガの政府官吏宿舎を通り更にタンジョン・アルの競馬場及絶好なる海水浴場なる海濱に至る。タンジョン・アルには主要鐵道工場及無線電信局あり。

他の道路は同市背後なる小山を迂回して、支那人所有園及小護謨園を通り、パツ・タイガに於て本道と合する。

規模の大きかつたジェセルトン海岸埋立工事は數年前既に完成し、税關附近には同市膨脹上に充分なる餘地がある。

ババー

ジェセルトンより一時間餘、鐵道に乗つて行けばババーに至る。此は繁榮なる小都市であつて、同名河の河畔にあり、河口より二哩の地に位す。支那人店舗及市場を有し、南ケツベル地方の行政を掌る地方官の駐在所である。ババーの附近にベノニと云ふ所があるが、同地には、二つの臨海休息所があり休日には千客殺到する。

フューフォート

更に鐵道に乗りジェセルトンより五十六哩の地に至れば重要な護謨生産地にして西穀栽培地たるフューフォートがある。同地はウェストンに走る支線鐵道の分岐點である。

同市には休息所及歐人倶楽部があり、又ゴルフ・リンクは最近設けられ、又外に立派な遊園地及庭球コートがある。

ブニューフォートはブニューフォート郡廳の所在地であり、別に駐在醫師のゐる官立病院を有する。同地は降雨多けれども、北ボルネオ屈指の健康地であつて、支那人店舗あり、市場ある小繁榮村であるが時々バダス河の汎濫を受ける不幸がある。

テノム

テノムはブニューフォートより分岐しバダス河に沿ひて走る鐵道にて二時間半を要する所にある。此はよく整頓された美しい小都市であり中部理事廳々所在地である。

同市には普通の支那人店舗あり又其周圍には市場向菜園がある。且此の外に官立休息所がある。ゴルフ・リンクは近年設けられた所であつて、又遊園地の設備もある。テノムは海拔六百呎の所に位し、夜中は稍寒さを感じる位である。其附近にメララップ及サボンなる二重要護謨園がある。

ブニューフォートよりテノムに至る鐵道旅行中經過するバダス河の峽各は森林及河川の勇大なる景色を展開する。

クダツ

ボルネオ島の北邊にあるクダツは同名理事廳の廳所在地である。同市はマルヅ灣に面する良港で

あり、北ボルネオ、新嘉坡間貿易船の寄港地である。

其附近には繁榮なる業務を經營してゐる幾多の護謨園及煙草がある。又クダツ市にはゴルフ・リンク及競馬倶楽部がある。

官立無線電信局の一つが同市より程遠からざる所にある。

サンダカン

東海岸サンダカン灣に位するサンダカンは北ボルネオ最大の都市である。支那人店舗は無數にあつて、香港、新嘉坡及濠洲と莫大なる貿易を行ふのである。其附近には幾多の護謨園及古々椰子園あり又現在作業中の製材工場もある。

サンダカンには非常に宏壯な歐州人倶楽部及立派に經營されてゐるホテルがある。又香港及濠洲間の貿易船寄港地であつて、サバ汽船會社(Saba Steam Ship Company)活動の根據地である。製氷工場の設備もあり、且石炭は船舶によつて充分得られる。

ゴルフ・リンクは最近設けられた所であつて、同市の近くには競馬場がある。又無線電信局もあり、電燈も點せられてゐる。

ラハッド・ダツ

ラハッド・ダツはセガマ煙草農園用の港であつて、農園とは輕便鐵道によつて連絡されてゐる。又

サンダカンとは電信線及數次の定期船によつて連結せられてゐる。其附近には盛大なる古々椰子栽培業が行はれてゐる。

タワオ

東海岸理事廳所在地であるタワオはカウイ灣に面し、非常に重要な都市である。其所有權に關しては從來長く英蘭國に係争のあつた所であるが終に北ボルネオに屬するものと承認されるに至り一八九二年より英國の所有に歸したのである。

其附近の廣汎なる地域は護謨及古々椰子栽培のため日本人所有會社の租借する所であり、又カウイ灣石炭會社 (Cowie Harbour Coal Company) はカウイ灣岬シリムボボンに其鑛山を有してゐる。世界各地よりの船舶はセバチツクに寄港する。同港の入口チナガットには有力なる燈臺がある。タワオには官立無線電信局がある。

第十二章 資本家の知り置くべき事項

北ボルネオは其他の熱帯諸國と同じく歐洲人移民に對しては殆ど機會を與へてゐないと云つて差支へない。移民とは赤手空拳で渡來し、家族を持ち且其の手で勞働をなし生計を營む者を指すのである。

資本は成功に不可缺の要件である。白人は次の二つの理由があるため其所有地で勞働する事は出來ない。即ち(一)熱帯地方に於ける繼續的な肉體勞働は歐洲人に採つて堪へられざる所である。(二)白人は他の勞働者を指揮する上に於て經濟的に使用されない。

上述の如き理由あるため吾人は資本を有せざる移民を問題外としなければならず、唯資本を有する移民のみを考慮に入れる必要がある。二千磅の資本が必要なる最少限度とされてゐる。又開拓者は幾分の熱帯農園に關する經驗を必要とされる。何となれば上に述べた資本だけでは熱帯農業上の經驗を得る事は困難とされてゐるからだ。

其外に亞細亞勞働者を御する才能を必要とされる。然して此必要なる經驗は護謨或は煙草農園に助手として一、二年働けば得られる。

茲に一定なる資本及經驗があれば土地の選定は困難な問題ではない。

土地局及地方官は出来得る限り土地租借者を採用するが、土地の選定は租借者自身行ふべきであつて、選定前には一片の地域さへも測量されない。西海岸に於て道路及鐵道附近には容易に二百英反以上の地域を得る事が出来ない。又東海岸及クダツ方面に於ても大體同様なる有様である。

運送に就いては、最近馬道及砂礫道の建設あつて、大いに改善せられた。が然し山岳あり、森あり、沼澤あるために同國を横斷する事は困難なのである。土人村落間には狭い道がついてゐるが、鬱蒼たる叢林の生長により屢々妨害せられ農産物運搬用には凡て使用されてゐない。

車輛に依る運搬は至極稀であつて、唯都市及農園の近郊に於て用ひらるのみである。河川による交通は、土人丸木船により、商品及生産品を運搬する。河川の多くは小蒸氣及モーター船によつて通航し得るのである。西海岸及中部地方の馬道には普通牛馬が使用せられる。又鐵道は百二十九哩敷設されてゐる。

土人を使用し得る技能を有してゐる人は支那人或は爪哇人を輸入して最初に金を費ひやす事を免ぬかれる。東海岸地方に於ける土人人口は少い。然し若し西海岸及クダツ附近に適當なる地を發見し得れば租借者は廉價なる勞働力を得る大利益があるばかりでなく、又人口の稠密してゐるため種々の便利がある。故に宜しく土地を選定せんとする者は西海岸或はクダツ地方を選ぶべきである。其

の租借する最少限度は二百英反程が適度であつて、六百四十英反以上を申込み時は倫敦の重役會の

指揮を受けた後決定される。然して六百英反以下の

租借條件は次の通りである。

古々椰子栽培—前金不要、最初の五年間英反當五

十仙其後二・五十弗。

護謨栽培—前金二弗他は前と同じ。

煙草、砂糖、亞麻其他—前金不要、英反當五十仙。

次の特約は二年以上五十乃至三百英反の地に居住してゐる歐洲人へのみ許與せらるゝ。

前金不要六年間英反當二十五仙以後三弗但し古々

椰子を充分に栽培せる場合は二弗五十仙。

テノム及ブエーファート間鐵道沿線の北に適用せ

らるゝ特約は次の通りである。

前金不要十年間英反當五十仙、以後二弗五十仙。

市場向菜園として使用せられる都市の附近の小地域の租借條件は一英反當前金五弗、地代二・五



運輸機關としての水牛

十弗である。六百英反を越ゆる場合は重役會の承認を経て決定せられる。

都市地域の前金は競賣に於て後續者の支拂ふ價格である。競賣に依つて賣渡さるゝ地域の競賣開始値段及競賣に依らざる地域の前金は政府によつて定められ豫め公表される。此地代は三十三呎—六十六呎或る場合には三十三呎—九十九呎の地域に於ては普通九弗である。

選擇されたる土地が商業的森林を焼拂ひしなければならぬ所にある時には、租借者をして此等を消費せしめず、賣拂はしむるために前金に加ふるに木林伐採特許料を賦課する。

木林伐採特許料は英反當三弗であつてあるが、伐採された材木の値段は特許料及労働賃銀を充分に補ふのに充分なのである。

第十三章 歐洲人の知り置くべき事項

衣服

衣服に關し、北ボルネオへの先見的來住者は、經驗により何が一番適してゐるかといふ事を知る迄は高價な物をば購はないであらう。歐羅巴人の衣服は船舶甲板上或は家屋内に於て使用されてゐるが一體に熱帯用には重過ぎるから不向である。麻布の平常者が普通用ひられてゐて、北ボルネオでも充分に作られ且價格も相當である。此等は綿布が蘇格蘭織と殆ど同じ様に高價な英國では求め得ない。大層軽い蘇格蘭織・サージ及フランネル布は午後に至つて用ひられるが此等は英國では此處より安價で得られる。一揃の衣服は是非持つて來なければならぬ。下衣は北ボルネオで容易に得られないし又新嘉坡でも高價であるから、本國で買ふ方がよい。ズツク長靴及短靴は北ボルネオで支那人靴屋にやらしても相當なものを造り、普通の場合には歐羅巴人靴屋に造くらししたものよりも餘り變らない。

夏帽は是非必要であり、フェルト帽は午後になつて用ひられる。無縁帽は餘り使用されない。鐵製一揃の箱は、皮革製カバンよりもよい。

食料

勿論必要なものは新嘉坡から得られるが、ボルネオに於ても歐洲人生活の必需品及罐詰食料品は得られる。又精肉、豚肉、鶏肉及鴨肉は自由に得られ又多くの場所に於て美味なる魚を得る事には困難を全く感じないと云つてもよい。卵も豊富にあり又各所に於て發見せられる支那人菜園は潤澤なる果實及野菜を生産する。

ジェセルトン及サンダカンには冷蔵設備があり新鮮なる牛酪、乾酪及精肉が得られるが此外の地に於ても鐵道沿線地方は注文さへすれば得られ、一方海岸地方は新嘉坡及香港の定期船より供給を受ける事が出来る。

俱樂部

ジェセルトン・サンダカン及ブネーフォートは各々社交俱樂部を有してゐる。前二者及びクダツにはゴルフ・リンクが設けられて居り、各地方官駐在所には庭球コートが設備されてゐる。然してトーナメントは定期に行はれてゐる。クリケット及フットボール戦も屢々行はれ、熱帯地なるに拘らず多くの歐洲人は規則正しくフットボールを練習してゐる。ジェセルトンにはフットボール・リーグがある。又ジェセルトン・サンダカン及クダツには競馬俱樂部及競馬場があつて、時々催しを行つてゐるが、其加入は土人及スール小馬に限られてゐる。

宗教及教育

宗教に關しては、福音教會及羅馬加特力教會の傳教所が同國の各所に散在し又主要都市には派遣牧師が駐在し農園其他に時々訪問するのである。サンダカンには宏壯なる石造の教會があるが、ジェセルトン及クダツも亦此の様な教會があつてゐるのである。

各宗教共教育に意を注ぎ、各所に學教を經營してゐる。羅馬加特力は唯にズスン人中に多くの歸依者を有し、其子弟は歐人牧師及尼の指導してゐる學校へ通學してゐる。

北ボルネオに於ける學校の多くは政府より補助を受けて居り、此の學校へ通つてゐる生徒は約千五百人居る。加之、二十二の私立學校各地に散在する。

重なる會長を教育する官立學校がある。此の學校は彼等に行政上の責任を感せしむる訓練をしてゐる。

支那人は禮拜所を有し、又如何な回々教村でも寺院及僧侶を有してゐる。

氷及電燈

製氷工場はジェセルトン及サンダカンに設立されてゐる、又兩市共發電所を有してゐる。ブネーフォートに走る列車には氷送貨車が附屬して居り、沿線附近の人民は氷の供給では不足を感じない。

通貨及金融機關

半仙、一仙、二仙半、及五仙の貨幣及二十五仙の紙幣が此の地方に通用してゐる。新嘉坡銀貨及紙幣は北ボルネオでも通貨として取扱はれてゐる。チャーター・バンク・オヴ・インデヤ・オーストラリヤ・アランド、チャイナ及香港上海銀行は代理店を設置し一方政府は最近州立銀行を開始してジェセルトン及サンダカンに支店を設けてゐる。

郵便局

郵便局はジェセルトン・パパー・ムムバクット・プューフォート・テノム・クダツ・サンダカン・ラハッドリダツ・及タワオに在る。ジェセルトン・プューフォート間の列車には移動郵便局があり、其外地方官の駐在してゐる所には郵便の便がある。護謄糊附切手及収入印紙には次の種類がある。即ち一、二、三、四、五、六、八、一〇、一二、一六、一八、二〇、二四、二五、五〇仙及一、二、五、一〇、二五弗の種類があるのである。北ボルネオは萬國郵便聯合に加入して居る。郵便爲替は本州より英領植民地及本國を通じて諸外國と連絡を付けられてゐる。又當領内及本國間に於ては郵便電信爲替をも利用が出来、小爲替も發行せられる。

郵便は新嘉坡を経由して平時は一週間毎に英本國に向け發送され或は受け取られる。而して其所要期間は一箇月乃至五週間である。東海岸タワオから石炭採掘場シリムボボンに至る間に於ては試験的に傳書場を利用して郵送をやつてゐるし、又其れに適當なる鳥が輸入され訓練されてゐる。然

して若し此結果成功すれば容易に交通の便のない所に利用せられるであらう。

電信

無線電信局はジェセルトン・サンダカン・クダツ及タワオに設置せられ、加之、ムムバクル・プューフォート・テノム・ラマツグ(キナバタンガン)及ラハッドリダツには陸上電信局がある。電報はイースタン・エタキステンション・ケイブル・カムパニーと連絡して世界各地に向つて發信せられ、此はムムバクルよりラブアンに海底電線によつて連結されてゐる。

電信局のない場所には電話で、電報が送られる。

新聞用電報はルーテルのものが利用され、之の寫は一般公衆閱覽に供せらるゝ。

ジェセルトン・プューフォード・テノム・サンダカン・クダツには電話交換局がある。

貿易

大戦は同國の貿易に打撃を與へたが、近來は漸次確實なる歩調を辿りつゝある。附録を見られると一目瞭然であるが、決して一時的な事情で進歩を遂げてゐるのではなく全く確實なる發展を示してゐる。

鐵道

鐵道は同國西海岸の發展上に重要な要素である。此は官有に屬し、ジェセルトンを起點とし

タタン・ババー・ペノニ・キマニス・パンガワン・メムバクット及ブーフオート地方及途中支那人及土人で人口稠密なる地域及多數の護謨園を通過する。

ブーフオートより支線出で、ウエストンに至る。此沿線は多少の護謨園及支那人所有地がある。一方本線はバダス河の宏壯なる溪谷を過ぎ中部理事廳所有地のテノムに至る。其全延長は百二十九哩である。而して終點はテノムの北十哩メララップである。幅員一米の鐵道は、一九〇〇年にウエストン・ブーフオート間に建設され、後一九〇二年ジェセルトン・ウエストン線に迄及んだ。最近本線の重要な部分は重軌道及永久橋梁と變更されるに至つた。ジェセルトン・ブーフオート間は一日一回の水車あり、一方ブーフオート・ウエストン間は週一回なれども、ブーフオート・テノム間は隔日毎に水車運轉さる。

此外部分的には即ちジェセルトン及タンジョン・アル間には一日數度運轉せられる。

勞 働

大體に於てボルネオの土人は繼續的に勞働しないから、大企業達成のためには大部分支那人及爪哇人の輸入に依らなければならぬ。現在勞働者の供給は充分であるが、將來の必要に就いて政府は最近次の様な聲明をしてゐる。「此の問題は深甚なる注意を必要とせらるゝ所であつて、委員會監督の下に支那勞働者輸入の計圖は勞働者供給の根源が枯竭せざるに先達つて今や實行されんとしてゐる」。

各季節に於て、政府は莫大なる費用を投じて一八八三年の古より支那人の輸入を計つてゐたのである。然して現在に於てはジェセルトン・クグツ及北ケツペル郡の各所に支那人の居留民地が發見せらるゝ。

道 路

都市の近郊は別であるが、北ボルネオは凡そ車輛を通じ得る道を有してゐないが然しサンダカンジェセルトン間の幹道工事はサンダカンの方面より開始されてゐる。

又同時に工事はジェセルトンを起點として同地から北東二十哩の北にあるチユアラランに向つて開始されてゐる。メララップの鐵道終點からケニンガオに至る道路も着手された。

西海岸及中部地方にある馬道は重に行政上の目的に使用されてゐる。延長は四百哩あつて、其走つてゐる地方の行政上に重要な役目を果し加之、土人をして必要な交通上の中心へ其生産製品を運搬せしめるのである。此の馬道は勾配少くして宏大なる地方を通過しており遠乗するには絶好の場所である。

現在駐在所或は農園間に道路鐵道の様な何等交通の設備のない所では蒸氣船の便によつてゐる。東海岸に於ては特に河川の便宜多く、交通上の公道となるのである。

定 汽 船

大戦の始まる前迄は、北ボルネオの船便は北獨逸ロイド會社の一手に收められてゐた。一九一四年以來ストレイト・ステイムシップ・カムパニーは新嘉坡よりの定期航路を經營し週一回行つてゐる。此の船は又サンダカンを経由して南比律賓へ行くのである。其北ボルネオに於ける碇泊地はジエセルトン・クダツ・サンダカン・ラハッド・ダツ・タワオ及シムボルナである。東海岸及香港間の交通は、インド・チャイナ・ナグイグイジョン・カムパニーが二隻の船舶を以て一時々一隻となるが定期航路を行つて居り、大阪商船會社は三隻を配して臺灣を起點としサンダカン經由爪哇行の定期航路を營んでゐる。此外オーストレイリアン・オリエンタル・ラインは二隻を配しサンダカンに途中寄港し、チャイナ・オーストレイリヤ・ラインも四隻にて濠洲、香港及日本間の定期航路を營んでゐる。サバ・ステイムシップ・カムパニーは政府補助の下に三隻の汽船を以て東海岸西海岸間の航路を行つてゐる。

航路の事に關連してサンダカンにチャイナ・ボルネオ・カムパニー所有の斜路の有る事を見逃してはならぬ。

度量衡

常衡重量

一マイル (tali) || 一^三/_四オンス

十六マイル || 一カチ (kati) || 一^三/_四封度

百カチ (kati) || 一擔 || 一^三/_四封度

四十擔 (pikni) || 五^三/_四封度

容量

一ギル (gill) || 一パイオ (pao)

一パイオ || 一パイント (pint)

二パイント || 一コート (quart) 或はチュバック (chupak)

四コート || 一ガロン (gallon) 或はガントアン (gantang)

十ガントアン || 一パラ (para)

八〇〇ガントアン || 一コーヤン (kovan)

新聞

本州にて發行されてゐる新聞は唯一つのみである。即ち British North Borneo Herald であつて月二回の發行である。時事はルーテルの代理店より得られ、月七弗を出して置けば電信局から其寫が貰へる。

休息所

第十三章 歐洲人の知り置くべき事項

旅行者の勞を想ひ宿泊し得る設置のしてある、政府經營の休息所はプューフォート・テノム・クダツ・ラハツドダツ及タワオに在る。官吏に非らざる者の支拂ふべき費用は一日一弗半である。然して外に食費として場所に依つて異なるが一日二弗づつ徴發される。

附 録

輸出入貿易表(一九〇〇—一九二四年)

單位磅

年次	輸 出	入	年次	輸 出	入
一九〇〇	三三三、四五三	三三七、七六一	一九〇三	八六三、二一五	六四四、五三八
一九〇一	三二七、〇九八	三〇五、八八三	一九〇四	七三〇、三六六	五五四、七八三
一九〇二	三八三、三九五	三九六、六七七	一九〇五	八六五、五六一	五三三、六四八
一九〇三	四三三、四五〇	三七六、七五三	一九〇六	一、〇一四、一四三	五〇〇、九三三
一九〇四	四九八、四七八	三三七、八九七	一九〇七	一、〇七六、〇七四	六四四、四八七
一九〇五	五二九、三七三	三三〇、九四六	一九〇八	一、〇七六、〇七四	七六一、三五八
一九〇六	五六六、七六〇	三四八、七二四	一九〇九	一、四三三、九九〇	九三三、三三五
一九〇七	五〇五、〇七	三四〇、七九三	一九一〇	一、四三三、七七一	一、二八四、三三八
一九〇八	五三三、四〇一	三三三、三六三	一九一一	九三三、六二五	九〇〇、六六八
一九〇九	五三三、八二二	三四〇、四六九	一九一二	九七三、三三三	八〇〇、九三三
一九一〇	五三七、七一九	三四三、四八六	一九一三	一、二二八、八四五	七七〇、九八七
一九一一	五三三、三九三	五三七、〇三五	一九一四	一、〇一七、二一五	八三三、六六三
一九一二	六〇六、七三二	六三八、八九二			

一九二二・二四年度輸入貿易比較表 (單位海峽殖民地幣)

品 名	單 位	數 量		價 值		額	
		一九二三年	一九二四年	一九二三年	一九二四年	增	減
炭 酸 水	ガロン	二〇八七	七三九八	二四五〇	一八一四	一八六〇	六三六
武 器 及 彈 藥	擔	三五五二	二九一〇	一七七七	一九五七	—	—
眞 鑄 器 材	擔	—	—	三〇一〇	二五〇五	—	五〇四七
建 築 材 料	擔	—	—	七四八三	六五一五〇	—	九六三
布 類	噸	—	—	九〇九七一	八九〇九四	—	一八四七
石 炭	噸	四三	九三	一三〇六	一八三	—	—
瑪 瑙	擔	—	—	四三三	四八七三	—	—
コ 子	擔	—	—	—	—	—	—
椰 子	擔	—	—	—	—	—	—
棉 花	擔	—	—	—	—	—	—
干 果	擔	—	—	—	—	—	—
魚 貝	擔	—	—	—	—	—	—
乾 果	擔	—	—	—	—	—	—
土 器 及 硝 子 器	擔	—	—	—	—	—	—
果 實 及 野 菜	擔	—	—	—	—	—	—

品 名	單 位	數 量		價 值		額	
		一九二三年	一九二四年	一九二三年	一九二四年	增	減
家 具	擔	—	—	—	—	—	—
カ ン ン ン	擔	—	—	—	—	—	—
船 舶	噸	—	—	—	—	—	—
火 藥	封 度	—	—	—	—	—	—
大 麻 及 繩 索	袋	—	—	—	—	—	—
皮 革 及 柔 皮	擔	—	—	—	—	—	—
印 度 護 謨	擔	—	—	—	—	—	—
鐵 器	擔	—	—	—	—	—	—
寶 玉	擔	—	—	—	—	—	—
燈 用 石 油	箱	—	—	—	—	—	—
家 畜 類	頭	—	—	—	—	—	—
機 械 類	箱	—	—	—	—	—	—
樂 器 類	箱	—	—	—	—	—	—
油 類	擔	—	—	—	—	—	—
阿 片	擔	—	—	—	—	—	—
麵 粉	擔	—	—	—	—	—	—
糖 類	擔	—	—	—	—	—	—
眞 珠 及 貝 類	同	—	—	—	—	—	—

品名	單位	數量		價		額	
		一九二三年	一九二四年	一九二三年	一九二四年	增	減
椰子油及製品	同	五八五九	二二六八	六六〇八四六一	七〇四四二四六	八八五五五	三三三六九
蠟	擔	七〇四八	七三六七	一一九七	一三三〇	一一三三	一一三三
絲	擔	—	—	—	—	—	—
正煙	擔	—	—	—	—	—	—
煙草	擔	二二九九五	二〇一九四	四九九九七	三五九九〇	—	—
材木	立方呎	七〇七	五六	二六	四三	一七	—
茶	封度	一六四七五	一六四二〇	五二七三	五六三九九	—	—
雜貨	擔	—	—	—	—	—	—
砂糖	擔	一九六五七〇	二一九九〇五	二七二四九	二八九六二八	一八四七九	—
文具	擔	—	—	—	—	—	—
酒房	ガロン	九一五四	八七一四	三〇一七八	二九三四八四	—	—
鹽	同	二八六八九三	二七九九八	四八六四四	四八九〇九	一三六五	—
米穀	同	二六八〇三	二八〇三	一五七六八七一	二〇九九七九九	五二一九八	—
籐	同	一六一九九	五〇〇三	八二八〇	二二四二四	一三三四	—
鐵道電信材料	同	八九二六	五〇四一〇	一〇〇四五	六四七三九	五四六六	—
食料	擔	二五三八二	三三三一九	五八九一三	五九二四八	—	—
香水	—	—	—	—	—	—	—
合計	—	—	—	—	—	—	—

一九二二・二三年輸出貿易比較表

品名	單位	數量		價		額	
		一九二三年	一九二四年	一九二三年	一九二四年	增	減
鏡鼠皮	擔	五四六二	四一五五	五四〇五	四一三五	—	—
アタプ・マツト及カジャン	擔	—	—	—	—	—	—
密葉	擔	九四四一	二六七五	四七九	七八二	—	—
燕巢	同	四六六二	四九三三	五五五六	一三四八	—	—
アラッチャン	同	三六四七	一〇七二	一九三五六	一〇八八七	—	—
樟腦	同	九六三	九三四七	三三三九	一〇九三	—	—
石炭	噸	四三八七	六二七二	四一七三	四九二二	—	—
コブラ	擔	五二二六	六五〇七	四三七八〇	六七七二五	—	—
珈琲	同	三三五六	二二九	四六九一〇九	六三一六七	—	—
棉花	同	六九七二	一八三七	一三七	一一九	—	—
カマ	噸	一四九〇	一六八四	五五六〇	一三七五	—	—
カマ	同	—	—	—	—	—	—
乾魚及甲殼類	同	二二六〇三	四三三七六	三二九九五	三二二六六	—	—
果實	同	一七六一八	二二八八八	一八四三九	二二一九二八	—	—
合計	—	—	—	—	—	—	—

繩	西	組	鮫	貝	砂	雜	木	煙	土	正	海	龜	船	椰	機
殼	製	殼	類	類	糖	貨	材	草	草	貨	參	甲	珠	油	桶
袋	擦	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
三	四八〇四五二	五〇三〇	三三二一〇	一七五七〇	五二一五	二二四三三	二二七六五五	六五二九	九六九九九	一〇〇三	一三九〇	一三三九	二三五九	八〇〇三	
四七二	五六五八八七	五五八八	二四〇一七	一三九一三	四六二	二二七二〇	二二八三三	三三三九九	八二二九九	一七二五	三三二	九二六	二五四七	二五四七	
四〇〇	一七一七四	九七	二二〇〇	二二一七六	六三	二六〇七八	一五二一〇	二二七五五	一七三〇	一七三〇	二〇五九	一五三七九	二二五三	二三四六	
二六六	二三五〇〇	一一	一七五六九	二六五〇五	五六九	三〇七〇〇	一七一三五	二〇三三七	二二二五	二四二六九	一五六五三	二五九九〇	二〇九七	五二二三	
三七八六六	二一	五三九	一〇三九九	四六六二	六四	一〇三九九	一〇三九九	三三二	三八二	五四六	八八二	八二五	八二五	八二五	
一三四	一三四	一三四	一三四	一三四	一三四	一三四	一三四	一三四	一三四	一三四	一三四	一三四	一三四	一三四	

藤	米	食	胡	阿	古	古	家	象	栽	印	角	大	皮	甘	甘	阿	薪	椰
及	及	料	椒	片	瓶	類	類	牙	護	護	製	麻	革	木	木	藥	炭	實
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
二〇六六二	五〇一五	一七五八	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二
二〇七二	五二九七	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二
五九五八	四二九四	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二
一〇九二五	五〇一五	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二
一〇九二五	五〇一五	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二
一〇九二五	五〇一五	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二	一〇二二

北ボルネオ人口表 (一九二一年四月國勢調査)

人 種	数					増 減		の 割 合	
	一八九一	一九〇一	一九一一年	一九二一	一八九一—一九〇一	一九〇一—一九一一年	一九一一年—一九二一	一八九一—一九二一	
歐 洲 人	二四五	一九五	三五五	四一五	(-) 二〇〇	四一〇	一六九〇	六九三六	
ユ ー ラ シ ャ 人	五〇	四〇	五七	二一〇	(-) 一〇	四一五〇	二八四三	二七三六	
支 那 人	七、五六	二二八二	二六〇三	三七六三	七六三	二二七〇	四四七六	四六〇三	
日 本 人	二二九	一四九	二四六	四四一	一五五〇	六五二〇	七九三六	二五七三六	
印度及錫蘭土人	三九	四四二	九〇二	一、八五	三八五五	一〇四〇七	三、七	二、七、四七	
蘭領東印度土人	二、三三	三九六〇	五五一一	二、三三	七、四二	三、八八六	一〇、三六四	四〇、二八二	
比 律 賓 人	七四	—	二九二	四四九	?	?	五、四二	五、〇六七	
馬 來 人	一、四八八	一、二三八	一、六二二	一、八七七	(-) 三三三	四、六五	三、九五	三、三九	
ス ー ル ー 人	三、七三	六、三七二	五、五〇三	六、六七	七、〇七	(-) 一、三六五	二、〇六〇	七、七九	
ボルネオ土人	二、一五〇	一〇、八八五	三、三七八	三、四八	(-) 二、二七	一〇、七五〇	三、八七四	一、八一	
パシヤオ人	—	六、七六七	六、八七	八、七二八	九、〇八三	一、六三	二、六九一	一、四、五七	
ブルネイ人	三、五四六	五、四二	五、〇五	六、五四	三、三九三	(-) 六、八三	二、九五〇	三、八四四	
ダヤツク人	—	—	—	—	—	(-) 二、八〇九	四、五八	—	
バサヤ人	—	—	—	—	—	—	—	—	
ツ ス ン 人	—	—	—	—	—	—	—	—	

イダハン人	—	八六二	九四七	一、〇一一	—	九六六	八八七	一九六〇
イラナム人	—	三、一〇	一、六四二	一、七三	—	四、二八一	四九三	四、三八二
ケダヤン人	—	二、六二	二、四九五	二、七三〇	(-) 一、〇二	六〇二	二、八三	六、〇四
クイジャオ人	—	—	—	—	—	?	?	?
ムルツト人	三、四、六六	二、二、三〇	二、五、三、四	二、八、四〇	一、三、八七	一、〇、六九八	二、二、九	一、三、二、二
オラン・スンガイ人	—	四、七、八四	九、一、六八	七、四、二	—	九、一、六三	三、三、五二	五、五、一四
タガール人	—	—	一、九、一三	一、九、五五	—	?	二、二、四	?
タムアン人	—	—	一、三、六九	三、一、一八	—	?	二、七、七五	?
チド人	—	—	一、七、七七	一、八、四七	—	?	三、九三	?
ツトン人	—	—	二、〇、四	二、五、五	—	七、八九	二、五、〇〇	三、四、二二
テンガラ人	—	—	—	—	—	?	?	?
其 他	三、九	四、二	二、九	二、四七	七、六九	一、八、三三	一、〇、七、六六	五、三、三三
調査に漏れたる者	二、五、六	—	—	—	?	—	—	?
全州人口	六、七、〇、二一	一〇、四、五、二七	二〇、八、一、八三	二、五、七、三、四四	五、五、八、六	九、九、二、六	二、三、八、一	二、八、三、七、四

索 引

Alcock,	オルコック(人名)	27.
Amboug,	アムボン	34.
Api Api,	アピ・アピ	13.
Bajan,	バジャカ	8, 51, 65.
Balambangan,	バラムバンガン	5, 6, 14.
Balanini,	バラニニ	8.
Bangawan,	バングワン	13, 35, 132.
Bangi,	バンギー	35, 97.
Banguey,	バングエイ	14.
Batu Tiga,	バツ・ティガ	107, 119.
Batu Tinagat,	バツ・ティナガット	14.
Bawry,	バウリー(人名)	4.
Baufort,	ブーフォート	44, 45, 108, 119, 120, 125, 128, 130, 131, 132, 136.
Bengkoka,	ベンガコカ	43.
Bengkulit,	ベンガクリット	30.
Benoni,	ベノニ	132.
Pesahya,	ピサヤ	52.
Blackman,	ブラックマン(人名)	6.
Bongong,	ボンゴン	43.
Bongaya,	ボンガヤ	89.
Brook,	ブルック(人名)	7, 29.
Bugi,	ブギ	13.
Bukit Apas,	ブキット・アパス	46.
Bundu,	ブンヅ	49, 101.
Carnarvon,	カーナボン(人名)	20.

Cowie,	カワイ	37, 40, 46, 71, 75, 84, 85, 122.
Cowie,	カワイ(人名)	11.
Cowley,	カウレイ(人名)	4.
Crocker,	クロッカ	44
Dampier,	ダムピヤ(人名)	4, 7.
Darvel,	ダーベル	36, 71, 86, 92.
Datu Tingat,	ダツ・テインガット	37.
Dent,	デント(人名)	12, 19.
Dent Harven,	デント・ハーベン	36.
Dewhurst Gay,	デュール・ハースト	41.
Dinawan,	ディナワン	34.
Dusun,	ズスン	48.
Dyak,	ダヤック	53.
Gaya,	ガヤ	34, 18.
Gladstone,	グラッドストーン(人名)	17, 28.
Gomanton,	ゴマントン	41.
Granville,	グランヴィール	16.
Hatton,	ハットン(人名)	39.
Hog,	ホツク	32.
Hunt,	ハント(人名)	6.
Ilanun,	イラヌン	5, 8, 35.
Inanam,	イナナム	13, 52.
Jesselton,	ジュセルトン	34, 44, 107, 108, 118, 128, 129, 130, 131, 132, 133, 134.

Kabibagang,	カピバガン	42
Kalabakang,	カラバカン	46.
Kawang,	クワン	13.
Kedayan,	ケダヤン	52.
Keningau,	ケニンガウ	40, 45, 108, 133.
Kimanis,	キマニス	12, 41, 85, 132.
Kinabalu,	キナバル	37, 38, 39.
Kinabatangan,	キナバタンガン	1, 2, 40, 42, 111.
Klagan,	クラガン	108.
Klias,	クリアス	13, 32, 45, 49, 71, 85, 101.
Kota,	コタ	45.
Kotabe'ud,	コタベルド	108.
Kuala Penyu,	クワラ・ペンユ	45.
Kndat,	クダツ	85, 108, 120, 124, 128, 130, 131, 133, 134, 136.
Kwala lama,	クワラ・ラマ	13.
Labuan,	ラブアン	5, 10, 19.
Labuk,	ラブック	36, 39, 41, 42, 43, 71, 86, 89.
Lahad Datu,	ラハッド・ダツ	36, 108, 121, 130, 131, 134, 136.
Lamag,	ラマック	42, 108, 131.
Limbakauh,	リムバカウ	39.
Lokan,	ローカシ	41, 42.
Madai,	マダイ	39.
Magdalena,	マグダレナ	40.
Malawali,	マラワリ	14, 35.
Mantanani,	マンタナニ	13.
Marchesa,	マ・チュエサ	36.
Marudu,	マルズ	5, 9, 10, 11, 35, 37, 43, 84, 92, 97.
Matanini,	マタニニ	34.

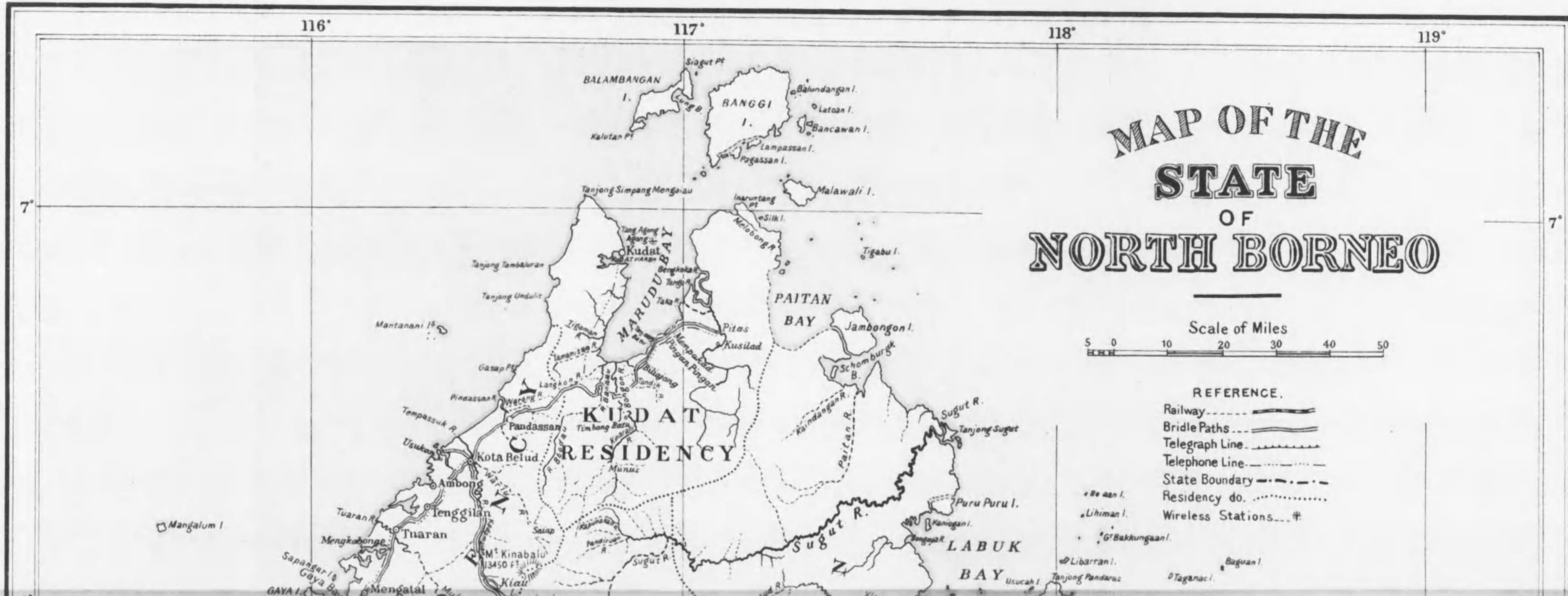
Melalap,	メララップ	102.
Melian	メリアン	42.
Melicup,	メリカップ	42.
Membakut,	メムバクット	9, 13, 130, 132.
Menangkabau,	メナンカバウ	2.
Menggatal,	メンガタル	13.
Mengkabong,	メンカボン	13, 41.
Menpakul,	メンパクル	45, 108, 112, 131.
Mentapok,	メンタポック	31.
Menunbuk,	メナムブック	45.
Mitford,	ミットフォード	35.
Moses,	モーゼズ(人名)	11, 12.
Mud ¹ Hasim,	ムダ・ハシム(人)	7, 8.
Mungkwago,	ムンクワゴ	42.
Murut,	ムルット	49.
Nosong,	ノソン	33.
Overbeck,	オ-バーベック(人名)	12, 15.
Orang Sungei,	オラン・スンゲイ	52.
Padas,	パダス	13, 44, 41, 71, 120.
Pagalan,	パガラ	39, 44.
Paitan,	パイト	35.
Paliu,	パリュ	39.
Papar,	パパー	12, 44, 108, 117, 119, 130, 132.
Pematang,	パマタン	44.
Penangah,	ペナンガ	42.
Pendasan,	ペンドサン	9, 44.
Penotal,	ペノタル	44, 45.

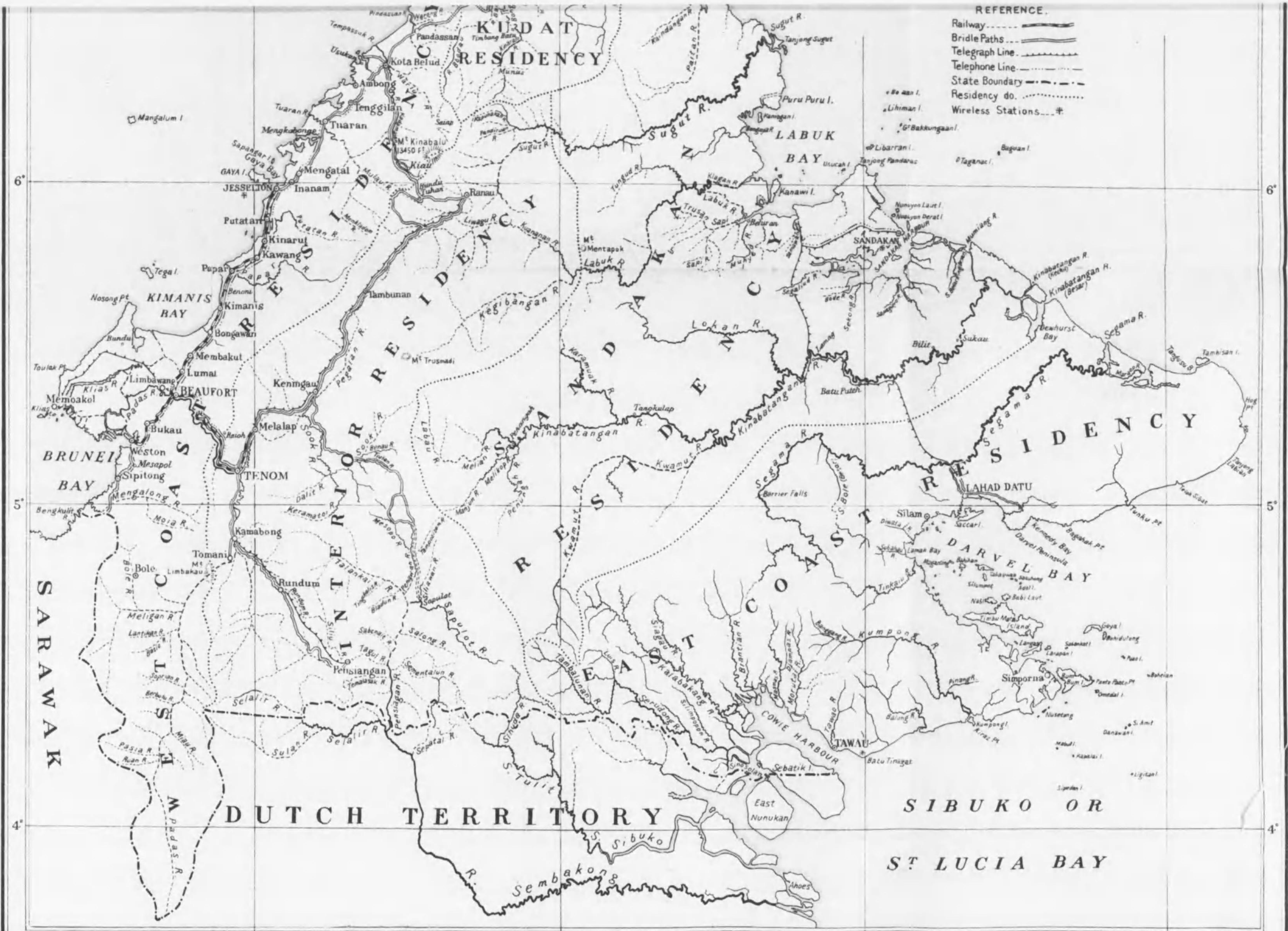
Pensiangan,	ペンシアンガン	108.
Pigaffeta,	ピガフェッタ	3.
Pulau, Tega,	プラウ・テガ	33.
Putatan,	プタタン	13, 44, 108, 132.
Raffles,	ラフルーズ	6.
Ranau,	ラナウ	41, 42, 95, 108.
Saint Lucia,	セイント・ルシヤ	40.
Sakar,	サッカー	36.
Sandakan,	サンダカン	12, 17, 36, 65, 71, 84, 85, 92, 101, 108, 111, 118, 121, 128, 129, 130, 131, 133, 134.
Saundal,	サウダール	34.
Sebatik,	セバティック	37, 84, 85, 122.
Segama,	セガマ	46, 86.
Segaluid	セガリュード	101.
Sembakong,	セムバコン	46.
Sepangar,	セパンガー	34, 118.
Sibuku	シブク	11, 46.
Siam,	シラム	36, 39, 40, 87.
Silimpopon,	シリムポボン	84, 85, 122, 130.
Simangaris,	シマンカリス	31.
Simporna,	シムボルナ	37, 108, 134.
Sipitang,	シピタン	108.
Soedang,	スーダン	31.
Sugut,	スグット	39, 43.
Suk,	スグ	40.
Sukan,	スカシ	41.
Sulu,	スールー	53.
Surudong,	スルドン	46, 75, 84, 85.

Tambisan,	タムピサン	71.
Tambunan,	タムブナン	40, 45, 108
Tambuyukan,	タムブユカン	38.
Tampias,	タムピヤス	42
Tandu Batu,	タンヅー・バツ	42.
Tanjong Aru,	タンザヨ・アル	119.
Tanjong Datu,	タンザヨン・ダツ	31, 108.
Tanjong Usang,	タンヂヨン・ウサン	36.
Tankulap,	タンクラップ	41.
Tawau,	タロカ	37, 99, 108, 111, 122, 130, 131, 134, 136.
Tawi Tawi,	タキ・タキ	9.
Tempasuk,	テムパスック	9, 12, 37, 38, 41, 43, 113, 117.
Tenom,	テノム	87, 89, 108, 120, 125, 130, 131, 132, 136.
Tidong,	チドン	53.
Timbang Batu,	チムバン・バツ	43, 108.
Timbu Mata,	チムブー・マタ	36.
Tinagat,	ティナガット	122.
Tomani,	トマニ	44.
Trusan, Treacher,	トルーサン・ トリッチャー	37.
Trusmadi,	トルースマディ	40.
Tuaran,	チュアラン	13, 43, 108, 133.
Tungud,	ツングッド	42.
Tungultian,	ツングリヤン	45.
Tunk,	ツング	9.
Usan,	ウスガン	34.
Weston,	ウェストン	84, 119, 132
Witt,	キット	39.



5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20





REFERENCE.

- Railway.....
- Bridge Paths.....
- Telegraph Line.....
- Telephone Line.....
- State Boundary.....
- Residency do.....
- Wireless Stations...#

116° 117° Longitude East of Greenwich. 118° 119°

9880
4

4680

不許複製

大正十五年五月二十二日印刷
大正十五年五月二十五日發行

以印刷代贈寫

譯者 戶田龍雄

發行者 伊藤憐之助
臺北市新榮町一丁目十一番地

印刷人 小高育太郎
臺北市京町三丁目十一番地

印刷所 合資臺北活版社
臺北市京町三丁目十一番地

發行所 臺灣總督府構內
南洋協會臺灣支店
構內電話九番

大木操氏 寄贈



南洋協會臺灣支部出版
南洋叢書

卷	頁	價
1	比律賓群島に於ける蔬蕪栽培	15
2	蘭領スマトラ島の蔬蕪園	20
3	比律賓群島の開發	15
4	暹羅國の稻作及糯米業	45
5	緬甸事情	1.00
6	マロ地方に於ける開墾事業	50
7	比律賓群島に於ける古々椰子	75
8	蘭領東印度に於ける灌溉大要	1.15
9	比律賓群島に於ける農業の發達と對米貿易の關係	30
10	海峽殖民地に於ける蔗麻栽培	35
11	蘭領東印度の教育制度	1.00
12	新西蘭の羊業概況	1.20
13	労働者の理想郷たる遠洲	30
14	蘭領東印度に於ける實業教育	45
15	比律賓と棉作	50
16	比島ダバオの富源と其開發	35
17	ブートン島農業經營論	80
18	比律賓の椰子	25
19	蘭領東印度の經濟	80
20	比律賓群島の米作	80
21	キャツラダの栽培	50
22	石油生産地としての東方諸國	30
23	ウッド種樹の教育	55
24	サイザル及龍舌草	1.50
25	布哇に於ける木瓜	50
26	蘭領東印度の産業	1.20
27	布哇の鳳梨事業	1.50
28	一九二一年度蘭印貿易大觀	1.80
29	佛領印度支那	1.50
30	瓜哇及マドワラ	1.00
31	世界咖啡大觀	30
32	スマトラ	1.00
33	セレベス	.80
34	蘭領ボルネオ	1.00
35	蘭領ニウ・ギニア及モルツカス諸島	1.00
36	蘭領東印度に於ける石油の生産取引状況	1.10
37	英領ニウ・ギニア	1.10
38	南洋各植民地立法制度	1.00
39	英領北ボルネオ・マロ地方に於ける椰子の栽培	.80
40	英帝國領土内に於けるバナナの生産状況	.80
41	英帝國領土内に於ける落花生の生産状況	.80
42	マンゴ	1.20
43	英領北ボルネオ要覽	1.50

越村長次編
越智有編
櫻井芳次郎譯
鈴木進一郎譯
村社新譯
岩木龜彦著
小森德治著
越村長次譯
安重龜三郎著
加藤清之助著
越智有著
櫻井芳次郎著
櫻井芳次郎著
安藤信成譯
林學博士 金平亮三著

南洋渡航須知
馬來語讀本
世界的食糧の給源
大戦後甘蔗甜菜兩糖の競爭
英國穀物生産條例解説
最近三十年間に於ける日本の砂糖及其製品に關する調査
比律賓商史
世界市場に於ける羊毛
南支汕頭商埠
馬日辭典
改訂インアツブル
增補インアツブル
布哇大學に於けるインアツブル
熱帯有用植物法

特價 貳圓 (送料八錢)
定價 壹圓貳拾錢 (送料共)
實費 參拾五錢 (同)
實費 壹圓貳拾錢 (同)
實費 六拾錢 (同)
定價 壹圓八拾錢 (同)
特價 壹圓五拾錢 (同)
實費 八拾錢 (同)
定價 八拾錢 (同)
定價 貳圓 (同)
定價 四圓 (同)
定價 壹圓八拾錢 (同)
定價 貳圓五拾錢 (同)
實費 壹圓五拾錢 (同)
定價 八圓 (送料別)

發行所
臺灣總督府構内
南洋協會臺灣支部

終

